

2025(令和7年度)

松本市 教育要覧

松本市教育委員会

松本市子どもの権利に関する条例（平成25年3月制定）

前文

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

まつもと し こ

けんり かん

じょうれい

松本市子どもの権利に関する条例

松本市子どもの権利に関する条例を守ろう。

松本市は、子どもの健やかな成長を支えるために、松本市子どもの権利に関する条例を定めて、子どもの権利を守り、いく事を決めました。

4つの大事な権利

- ① 主体的に成長する権利
自分が大切だし感じながら、自分の力で成長する権利。
- ② 安心して生きる権利
いじめなどを受けずに、安心して生きる権利。
- ③ 自分らしく生きる権利
自分の考えが受け止められ、自分らしく生きる権利。
- ④ 社会に参加する権利
遊びや学びを通して仲間をつくり、必要な情報を得て、社会に参加する権利。

松本市が目指す「すべての子どもにやさしいまち」

- ① どの子どもいのちと健康が守られ、社会の一員として成長できるまち
- ② どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、安心して生きることができるまち
- ③ どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化の中で、のびのびと育つまち。
- ④ どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動するまち
- ⑤ どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- ⑥ どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても、再挑戦できるまち

・条例があると、子どもはどうなるの？

- ・社会に参加できる。自立しやすい
- ・安心して生きられる
- ・困ったとき相談しやすい
- ・自分らしく生きられる

このポスターは、まつもと子ども未来委員会が、条例をたくさんの人に知ってもらいたいという思いをこめてつくりました。

▲まつもと子ども未来委員会

★まつもと子ども未来委員会とは…

子どもたちの意見を大切にするための委員会です。子どもたちが、まちの問題を学び、話し合いをすることで、松本のまちづくりを自分から考えています。

問い合わせ：松本市 こども育成課（Tel: 0263-34-3291）

～子どもたちに笑顔を 子どもたちから笑顔を そして子どもたちと笑顔に～

松本市市民憲章

昭和52年10月24日 議決
昭和53年やまびこ国体と市制施行
70周年を記念して制定しました

松本市は、北アルプスの山なみと城の風姿に象徴される美しいまちです。
私たちは、このふるさとに誇りをもち、幸せで豊かなまちづくりをめざして、つぎの三つの願いを貫きます。

- 1 松本市民は、おたがいの連帯感をつよめ、自由と自治を尊重しましょう。
- 1 松本市民は、人間性をつちかう教育を重んじ、文化をたいせつにしましょう。
- 1 松本市民は、自然を愛し、まちの緑とすんだ川を守りましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・

都 市 宣 言

安全都市宣言	昭和37年3月29日宣言
公明選挙都市宣言	昭和38年3月 7日宣言
心身障害者福祉都市宣言	昭和49年6月28日宣言
部落解放都市宣言	昭和51年9月28日宣言
音楽とスポーツ都市宣言	昭和60年9月26日宣言
平和都市宣言	昭和61年9月25日宣言
暴力追放都市宣言	昭和63年2月24日宣言
〈献血・献眼・献腎〉三献運動推進都市宣言	平成 9年3月13日宣言
健康寿命延伸都市宣言	平成25年3月14日宣言

姉 妹 都 市

アメリカ合衆国ユタ州ソルトレークシティ	昭和33年11月提携
神奈川県藤沢市	昭和36年 7月提携
兵庫県姫路市	昭和41年11月提携
岐阜県高山市	昭和46年11月提携
ネパール連邦民主共和国カトマンズ市	平成 元年11月提携
スイス連邦ベルン州グリンデルワルト村	昭和47年 4月提携（旧安曇村）
	平成17年 5月姉妹都市交流継続に合意

文化・観光交流都市

石川県金沢市	平成20年 7月締結
北海道札幌市	平成22年 9月締結
鹿児島県鹿児島市	平成24年 9月締結

友 好 都 市

中華人民共和国河北省廊坊市	平成 7年 3月提携
---------------	------------

姉妹館（国宝旧開智学校）

愛媛県西予市開明学校	昭和62年10月提携
静岡県松崎町旧岩科学校	平成17年11月提携

松 本 市 の 概 要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は美ヶ原高原に続く地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた『和名類聚抄』には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進め、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積（基準 松本市役所）

位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口 (人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成22年3月波田町との合併による
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	中核市に移行する
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	
令和5年	978.47	109,006	235,933	115,691	120,242	241	
令和6年	978.47	109,886	234,740	115,088	119,652	240	
令和7年	978.47	110,327	233,100	114,244	118,856	238	

資料：DX推進本部

目 次

松本市の概要

第1編 松本市の教育

I 教育委員会

- 1 教育長・教育委員 3
- 2 教育委員会実施状況（令和6年度） 4
- 3 総合教育会議の実施状況（令和6年度） 7
- 4 教育委員会組織図 8
- 5 教育委員会職員数 10

II 教育の基本計画

- 1 第3次松本市教育振興基本計画 11
- 2 松本市教育大綱 13
- 3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 13
- 4 学都松本推進事業 14
- 5 令和7年度 教育委員会各課概要及び重点目標 16

III 教育財政

- 1 教育関係予算の概要 21

第2編 子どもの教育の充実（学校教育）

I 学校教育の充実

- 1 概要 25
- 2 重点施策 25
- 3 市立学校一覧 34
- 4 学校教職員数 36
- 5 学校基本調査児童・生徒数 38
- 6 特色ある学校行事と学年行事 40
- 7 各校の研究テーマ 46
- 8 中学校卒業者の進路状況 48
- 9 学校保健 48
- 10 特別支援教育 49
- 11 学校施設 50
- 12 市立外の学校等 57

II 学校給食と食育の推進（学校給食）

- 1 概要 61
- 2 重点施策 61
- 3 学校給食の実施状況 62
- 4 施設設備の概要 65
- 5 栄養摂取基準 66
- 6 学校給食センター再整備事業 66

第3編 生涯学習の推進（社会教育）

I 生涯学習の推進

- 1 概要 71
- 2 重点施策 71
- 3 事業の内容 71
- 4 社会教育施設 75

II 公民館の学びを通じた地域づくり

- 1 概要 83
- 2 重点施策 83
- 3 公民館事業の概要 83
- 4 公民館施設一覧 86
- 5 利用状況並びに活動状況 90

Ⅲ 図書館運営の充実	
1 概要	・ ・ ・ ・ 9 4
2 沿革	・ ・ ・ ・ 9 4
3 重点施策	・ ・ ・ ・ 9 6
4 事業の内容	・ ・ ・ ・ 9 8
5 施設の概要	・ ・ ・ 1 0 0
6 松本市図書館利用状況	・ ・ ・ 1 0 4
7 団体貸出等利用状況（中央図書館）	・ ・ ・ 1 0 6
第4編 歴史・文化資産の保護と活用（文化財、博物館、松本城）	
Ⅰ 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進	
1 概要	・ ・ ・ 1 0 9
2 沿革	・ ・ ・ 1 0 9
3 事業の内容	・ ・ ・ 1 0 9
4 松本市内の指定・登録等文化財	・ ・ ・ 1 1 4
Ⅱ 博物館事業の推進	
1 概要	・ ・ ・ 1 1 5
2 沿革	・ ・ ・ 1 1 5
3 事業の内容	・ ・ ・ 1 1 7
4 活動の状況	・ ・ ・ 1 1 7
5 松本市立博物館（本館）	・ ・ ・ 1 1 9
6 松本市立博物館（分館）	・ ・ ・ 1 2 0
7 施設利用案内	・ ・ ・ 1 2 6
8 施設観覧者数等	・ ・ ・ 1 2 7
Ⅲ 松本城の保存・整備と活用	
1 概要	・ ・ ・ 1 2 8
2 沿革	・ ・ ・ 1 2 8
3 事業の内容	・ ・ ・ 1 2 9
4 指定	・ ・ ・ 1 3 3
5 観覧料	・ ・ ・ 1 3 3
6 観覧状況等	・ ・ ・ 1 3 4
資料編	
Ⅰ 教育委員会関係委員名簿	・ ・ ・ 1 3 7
Ⅱ ホームページ・SNS	・ ・ ・ 1 4 3
Ⅲ 定期刊行物	・ ・ ・ 1 4 5

第1編

松本市の教育



サイエンスカレッジ
「宇宙地図をつくろう ～天体データ解析にチャレンジ～」
(教育文化センター)



学都松本推進事業
「図書館・博物館お仕事探検ツアー」
(中央図書館・博物館)

I 教育委員会

1 教育長・教育委員

(1) 教育長



曾根原 好彦

就任 令和7年4月1日

任期 令和9年3月31日（1期目）

(2) 教育委員



教育長職務代理者

宮下 昌史

就任 令和7年4月1日

任期 令和11年3月31日（1期目）



委員

佐藤 佳子

就任 令和6年12月25日

任期 令和10年12月24日（2期目）



委員

春原 啓子

就任 令和3年12月26日

任期 令和7年12月25日（1期目）



委員

福澤 崇浩

就任 令和4年12月26日

任期 令和8年12月25日（1期目）

2 教育委員会実施状況（令和6年度）

(1) 教育委員会の開催

- ア 定例教育委員会 毎月1回開催
- イ 臨時教育委員会 不定期開催 4回

(2) 教育委員会の開催経過

第1回定例教育委員会

令和6年4月26日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市教育長の職務に専念する義務の免除について
- 第2号 松本市社会教育委員の委嘱について【非公開】
- 第3号 松本市教育文化センター専門委員の委嘱について【非公開】
- 第4号 令和6年度教育委員会各課重点目標について
- 第5号 松本市学校給食センター再整備基本計画(案)の策定について【非公開】

〔報告〕 9 〔周知事項〕 1

第2回定例教育委員会

令和6年5月23日 教育委員室

- 第1号 松本市教育支援委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第2号 松本市教育委員会個人番号の利用に関する条例施行規則の改正及び特定個人情報等取扱に係る要領等の制定について
- 第3号 指導上の措置について【非公開】
- 第4号 松本市青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第5号 教育委員会の権限に属する事務の一部の補助執行に関する規則の一部改正について
- 第6号 史跡小笠原氏城跡整備委員会の設置について
- 第7号 松本市博物館協議会への諮問について【非公開】

〔報告〕 5

第3回定例教育委員会

令和6年6月28日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 長野県教育委員会及び松本市教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて
- 第2号 松本市立小・中学校職員自家用車の公務使用取扱要綱の一部改正について
- 第3号 松本市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第4号 松本市公民館条例施行規則の一部改正について
- 第5号 松本市Mウイング文化センター条例施行規則の一部改正について
- 第6号 松本市指定文化財の指定について
- 第7号 松本市文化財審議委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第8号 博物館分館観覧料の見直し及び休館日の変更について【非公開】
- 第9号 松本市立博物館本館・分館の臨時開館について

〔報告〕 10 〔周知事項〕 2

第4回定例教育委員会

令和6年7月26日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- 第2号 中学校教科用図書の採択について
- 第3号 松本市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第4号 松本市図書館条例の一部改正について

〔報告〕 1

第1回臨時教育委員会

令和6年8月22日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市立博物館条例の一部改正について【非公開】

第5回定例教育委員会

令和6年8月29日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市文化芸術推進基本計画の改訂に伴う計画案に対する教育委員会の意見について【非公開】
- 第2号 松本市美術館条例の一部を改正する条例の制定に伴う条例案及び松本市美術館条例施行規則の一部を改正する規則の制定に伴う規則案に対する教育委員会の意見について【非公開】
- 第3号 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第4号 松本市青少年ホーム条例施行規則の一部改正について
- 第5号 松本市図書館条例施行規則の一部改正について
- 第6号 松本市はかり資料館の無料開館について
- 第7号 指導上の措置について【非公開】

〔報告〕 1 〔周知事項〕 1

第6回定例教育委員会

令和6年9月26日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市教育委員会組織規則の一部改正について
- 第2号 地区公民館長の任命について【非公開】
- 第3号 松本市図書館条例施行規則の一部改正について
- 第4号 松本市図書館協議会規則の一部改正について
- 第5号 松本市特別名勝及び特別天然記念物上

高地保存管理協議会設置要綱の廃止について

- 第6号 松本民芸館の臨時休館について

- 第7号 令和6年度まつもと子ども権利ウィーク実施期間中の18歳以下観覧料無料化について

〔報告〕 3

第7回定例教育委員会

令和6年10月24日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市立博物館条例施行規則の一部改正について
- 第2号 松本市博物館協議会委員の委嘱について【非公開】
- 第3号 池上百竹亭利用料金の見直しについて【非公開】

〔報告〕 1

第8回定例教育委員会

令和6年11月21日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市教育長の職務に専念する義務の免除について
- 第2号 松本市育英資金の管理及び処分に関する条例の一部改正について
- 第3号 松本市学校給食の提供について【非公開】
- 第4号 池上百竹亭条例の一部改正について【非公開】
- 第5号 松本市立博物館の臨時開館について

〔報告〕 2 〔周知事項〕 1

第9回定例教育委員会

令和6年12月26日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定に伴う条例案に対する教育委員会の意見について【非公開】
- 第2号 令和7年度以降の松本市立小学校、中学

- 校結核対策委員会の設置方針と結核健康診断の進め方について
- 第 3 号 松本市学校給食センター運営委員会への諮問について
- 第 4 号 令和 6 年度松本市公民館活動推進功労者について
- 第 5 号 松本市公民館条例の一部改正について【非公開】
- [報告] 6 [周知事項] 1
- 第 2 回臨時教育委員会
- 令和 7 年 1 月 23 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 令和 7 年度市立小中学校の授業日数について
- 第 2 号 松本市学校給食費の改定について
- [報告] 1
- 第 10 回定例教育委員会
- 令和 7 年 1 月 30 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 松本市梓川生涯学習事業基金条例の廃止について
- 第 2 号 指導上の措置について【非公開】
- [報告] 1 [周知事項] 2
- 第 3 回臨時教育委員会
- 令和 7 年 1 月 30 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 教育長の辞職に対する同意について【非公開】
- 第 11 回定例教育委員会
- 令和 7 年 2 月 21 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 松本市教育委員会と松本市・山形村・朝日村中学校組合教育委員会との教職員研修に関する連携協定の締結について
- 第 2 号 信州大学全学教育センターと松本市教育委員会との連携協力に関する覚書の締結について
- 第 3 号 松本市立学校体育施設の開放に関する規則の一部改正について
- 第 4 号 松本市教育長の職務に専念する義務の免除について【非公開】
- 第 5 号 令和 7 年度版松本市教職員研修計画について
- [報告] 1 [周知事項] 1
- 第 4 回臨時教育委員会
- 令和 7 年 3 月 14 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 指導上の措置について【非公開】
- 第 12 回定例教育委員会
- 令和 7 年 3 月 21 日 教育委員室
- [議案]
- 第 1 号 松本市教育委員会組織規則の一部改正について
- 第 2 号 松本市教育委員会事務委任、専決、代決規則の一部改正について
- 第 3 号 教育委員会の権限に属する事務の一部の補助執行に関する規則の一部改正について
- 第 4 号 松本市教育次長及び教育監事務分担等規則の一部改正について
- 第 5 号 松本市教育委員会公印規則の一部改正について
- 第 6 号 松本市教育委員会職員の職及び職種名に関する規則の一部改正について
- 第 7 号 松本市教育委員会職員の職の兼務に関する規程の一部改正について
- 第 8 号 松本市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部改正について
- 第 9 号 松本市教育委員会の所管に係る松本市公共施設案内・予約システムの利用等に関する規則の一部改正について
- 第 10 号 学都松本推進協議会設置要綱の廃止について
- 第 11 号 松本市立小中学校小規模特認校制度実施要綱の一部改正について
- 第 12 号 松本市立小学校及び中学校の通学区域

	外就学に関する事務取扱要綱の一部改正について		定について
第13号	松本市立学校の学校医等の委嘱及び報酬に関する規則の一部改正について	第19号	松本市青少年ホーム条例施行規則の廃止について
第14号	松本市教育委員会と長野県教育委員会との教員出向に関する協定の締結について	第20号	まつもと文化遺産の認定について
第15号	松本市学校給食実施規則の一部改正について	第21号	松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則等の廃止について
第16号	地区公民館長の任命について【非公開】	第22号	松本市立博物館条例施行規則の制定について
第17号	松本市学校運営協議会委員及び地域学校協働活動推進員の委嘱について【非公開】	第23号	松本市立博物館条例施行規則等の廃止について
第18号	松本市青少年ホーム条例施行規則の制	第24号	松本市立小学校、中学校及び幼稚園職員等の勤務時間等に関する規程の一部改正について
		[報告]	7

(3) 関係団体との意見公開会の開催（令和6年度）

ア	子どもの権利擁護委員との意見交換会	9月19日
イ	市PTA連合会との意見交換会	1月23日
ウ	インクルーシブ教育推進員との意見交換会	1月30日
エ	スクールソーシャルワーカーとの意見交換会	2月13日

3 総合教育会議の実施状況（令和6年度）

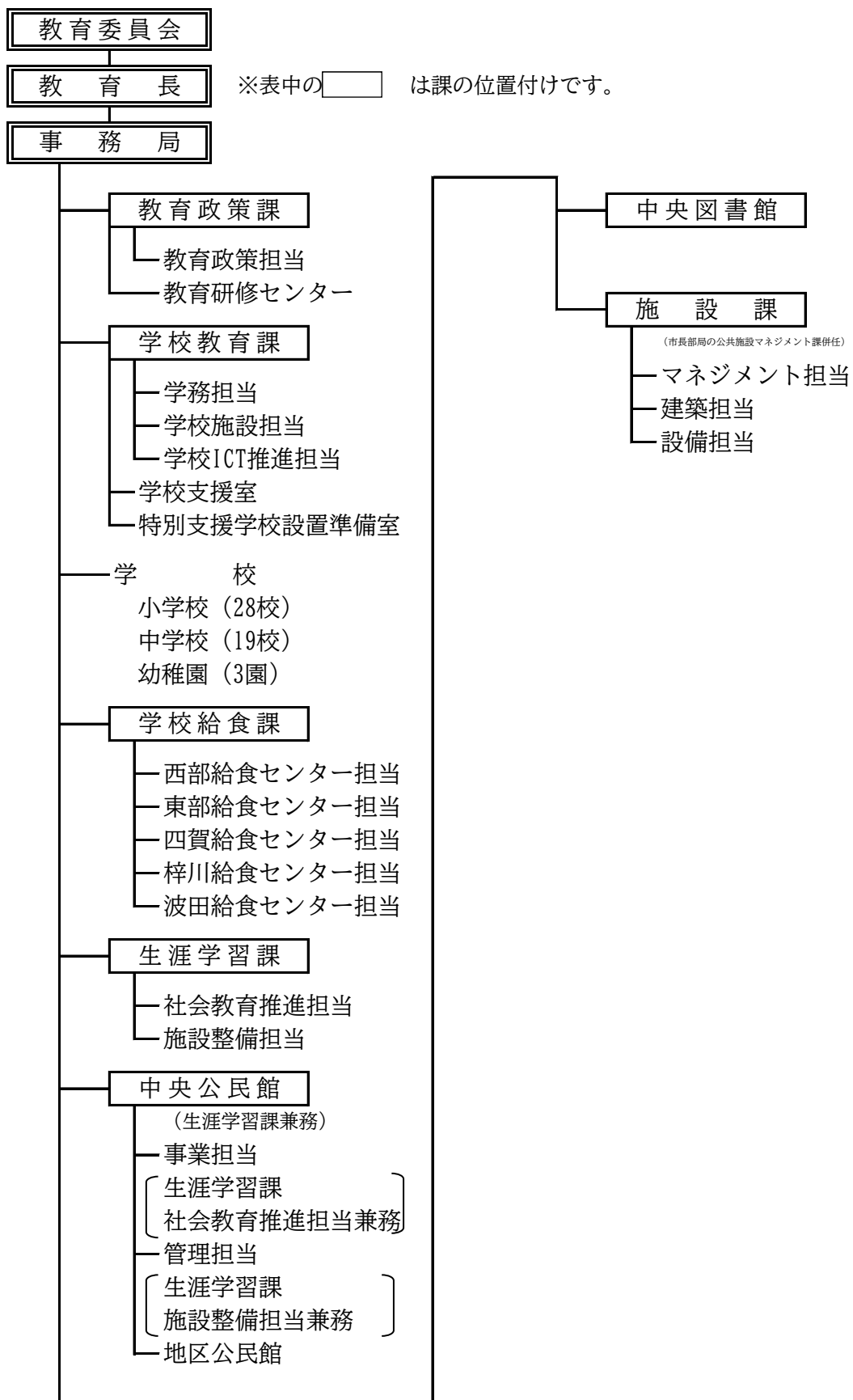
(1) 趣旨

市長と教育委員会が、教育に関する重点施策等について協議を行うものです。

(2) 実施状況

日 程	懇 談 内 容
5月30日	子どもたちの多様な学びを保障するために
11月21日	高校改革への期待 ～夢に挑戦する学び～

4 教育委員会組織図 (R 7 年 4 月 1 日)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育研修センター	
教育文化センター	
学校教育課	
学校支援室	
美ヶ原少年自然の家	
山辺教育支援センター	
鎌田教育支援センター	
波田教育支援センター	
寿教育支援センター	
オンライン教育支援センター	
特別支援学校設置準備室	
学校給食課	
西部学校給食センター	
東部学校給食センター	
四賀学校給食センター	
梓川学校給食センター	
波田学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館	
同和教育集会所	
池上百竹亭	
ふれあいパーク乗鞍	
奈川文化センター夢の森	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館

5 教育委員会職員数 (R 7 年 5 月 1 日) () 内は市長部局との併任

区 分		教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考
教 育 長		1									1	
教 育 次 長		1 (1)									1 (1)	()内 総務部長
教 育 監		1									1	
事 務 局	教育政策課		2	2		4		2		8	18	主査2名は指導主事
	学校教育課		1	3	2	2		7	3	5	23	
	特別支援学校 設置準備室		(1)	1		1					2	室長は学校教育課長事務取扱 課長補佐1名（主任指導主事） 県教委派遣
	学校支援室		(1)	2		4				9	15	課長補佐2名は主任指導主事、 主査は指導主事、 室長は教育監事務取扱
	学校給食課		1	6	4	1		3	54	107	176	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	2	1	3	1	4		11	23	課長は中央公民館長兼務
	施 設 課		(1)	(3)	(2)			(10)	(4)	(2)	(22)	()内 公共施設マネジ メント課
	小 計	3 (1)	5 (2)	16 (3)	7 (2)	15 0	1 0	16 (10)	57 (4)	140 (2)	260 (24)	
教 育 機 関	小 学 校						1		7	77	85	職名栄養士、調理員は 技術系
	中 学 校					2	1		3	68	74	小中併設校は全て小学 校に含む
	幼 稚 園			1		3		5	3	13	25	幼稚園教諭は事務系に 含む
	中央公民館		(35)		1			34		38	73 (35)	会計年度任用職員35名 は地区公民館長。併任 は地域づくりセンター 長（館課長）
	中央図書館		1	1	4	2		8		44	60	会計年度任用職員10名 は分館長 係長1名は県立長野図書 館から派遣
	小 計		1 (35)	2	5	7	2	47	13	240	317 (35)	
合 計		3 (1)	6 (37)	18 (3)	12 (2)	22 0	3 0	63 (10)	70 (4)	380 (2)	577 (59)	

派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合		1				1		2	
長野県(県立長野図書館)						1		1	
合 計		1				2		3	

Ⅱ 教育の基本計画

1 第3次松本市教育振興基本計画

(1) 「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア 策定の趣旨

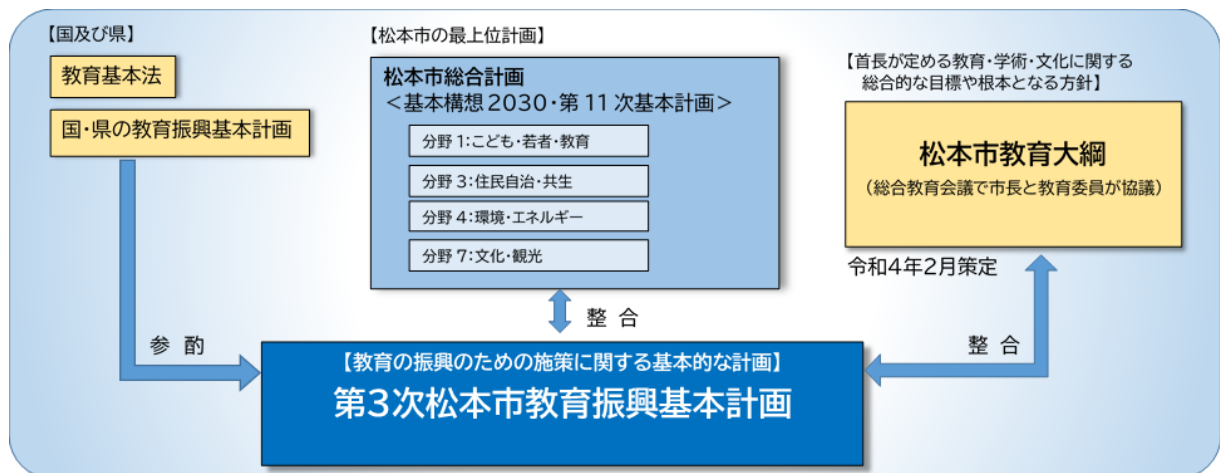
令和4年6月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 位置付け

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、松本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に市長が新たに教育大綱を策定しました。この教育大綱と整合を図り、市民アンケート等を基にして、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。



(2) 基本的理念 ～子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本～

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。

自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。

そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。

すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。

すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしています。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

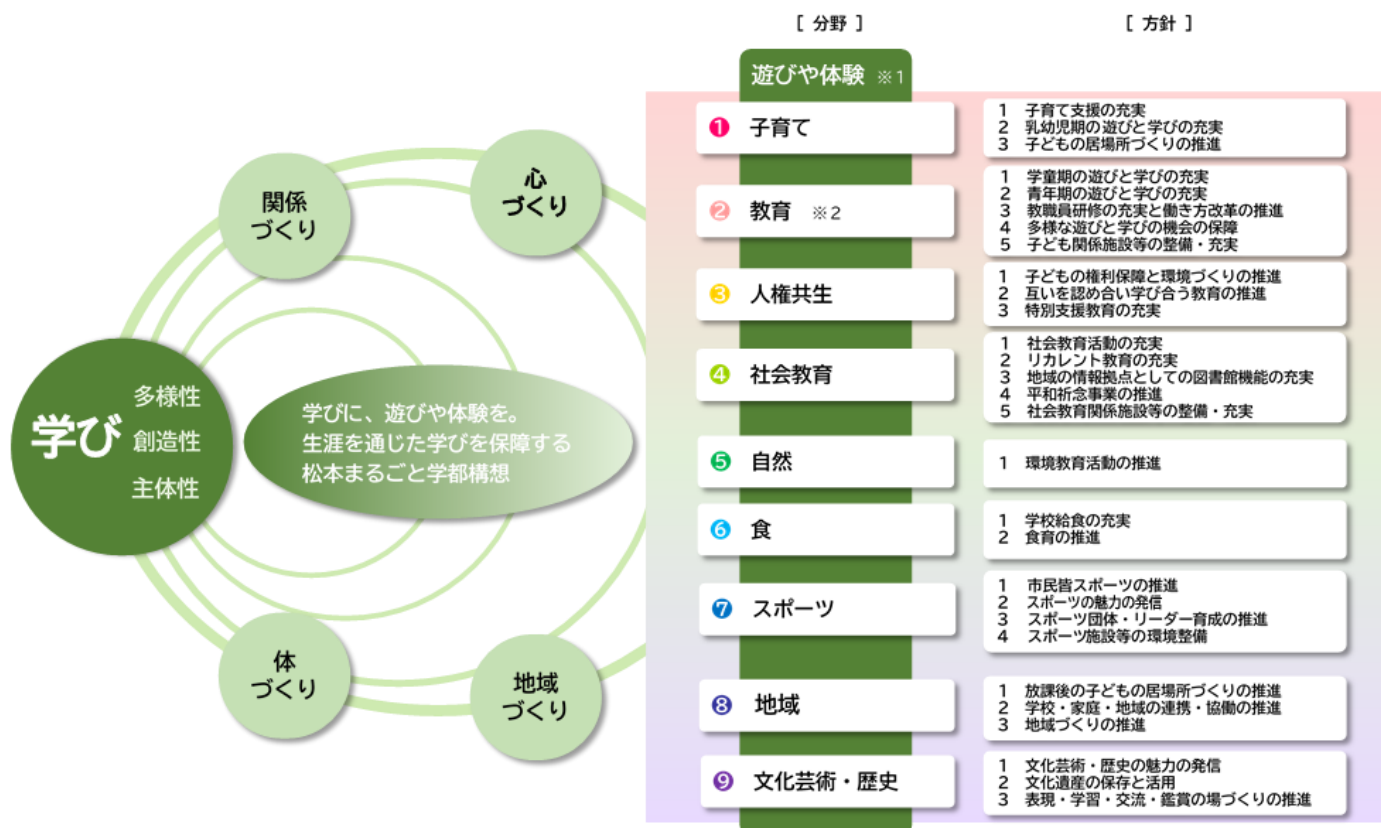
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりの中かで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

(1) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(2) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

(3) 学びの3つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この3つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

4 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、令和6年度までは学都松本推進協議会、令和7年度からは社会教育委員等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。あらゆる機会を捉えて「学都松本」を市民に周知し、生涯にわたる市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 学都松本推進事業

平成24年度からメイン事業として学都松本フォーラムを開催してきましたが、令和5年度に、市民の日常の学びの充実を目指して「多様な連携」や「遊びや体験」による多彩な事業を通年で開催する形態に改めました。

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2 (日)	第1回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学都松本をめざして (2)予算 350 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (13)、催事 (9) など (4)参加者 1,730 人
H25.9.7 (土) 9.8 (日)	第2回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学びでつながる わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2)予算 780 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (12)、催事 (18)、同時開催イベント (子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4)参加者 1,180 人
H26.9.6 (土) 9.7 (日)	第3回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 日々の学びへの気づき (2)予算 1,020 千円 (3)内容 全体会 (委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事 (19)、同時開催イベント (4)参加者 1,943 人
H27.9.5 (土) 9.6 (日)	第4回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ “ひとり” から “みんな” の学びへ (2)予算 1,450 千円 (3)内容 基調講演会：池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント (4)参加者 2,703 人
H28.9.3 (土) 9.4 (日)	第5回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ ～ふくらむ つながる ひろがる～ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：高橋源一郎氏 (100 年後の14 歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント (4)参加者 2,577 人

H29.9.2 (土) 9.3 (日)	第 6 回 学 都 松 本 フ ォーラム	あがた の森文 化会館 など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,270 千円 (3)内容 基調講演会：天達武史氏（天気の達人が語る 学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由）、分 科会(4)、催事展示（21）、同時開催イベント (4)参加者 2,041 人
H30.9.22 (土) 9.23 (日)	第 7 回 学 都 松 本 フ ォーラム	Mウイ ング・ 中央体 育館	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：柳田理科雄氏（考えることは楽 しい、だから科学はおもしろい）、催事展示 (22)、同時開催イベント (4)参加者 1,036 人
R 元 9.21 (土) 9.22 (日)	第 8 回 学 都 松 本 フ ォーラム	Mウイ ング・ 中央体 育館	(1)テーマ どこにでも学びはある。 (2)予算 1,230 千円 (3)内容 基調講演会：今泉忠明氏（愛すべき“ぎんね んないきもの”と進化）、催事展示（18）、同時 開催イベント、第 1 回具だくさんみそ汁コンテ スト） (4)参加者 1,042 人
R2. 9.19(土) 9.20 (日)	第 9 回 学 都 松 本 フ ォーラム	あがた の森文 化会館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中 止。「学都松本・教育 100 年を語る会」を 3 回開催（オ ンライン、動画配信によるもの）
R4. 2.12(土) ～2.20(日)の 休日	学 都 松 本 フ ォ ー ラ ム 2022	勤労者 福祉セ ン タ ー ・ オ ン ラ イ ン	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大 人誰でも参加できるミニ講演会を開催。
R5. 2.19 (土) ～3.5(日)の休 日	学 都 松 本 フ ォ ー ラ ム 2023	勤労者 福祉セ ン タ ー ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 映画観賞会「夢みる小学校」、まち歩き（レト ロな建物、城下町、古写真）、ワークショップ（フ ラワーアレンジメント、毛糸ボンボン、紙ひこ うき、木の花、七夕人形） (3)参加者 268 人
R5.11.18(土) ～R6.3.2(土) までの 9 日間	令 和 5 年 度 学 都 松 本 推 進 事 業	博物 館 ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 まち歩き、施設見学、食育体験、映画観賞会、 講演会など 9 事業 (3)参加者 271 人
R6.5.18(土)～ R7.3.20(木)ま での 30 日間	令 和 6 年 度 学 都 松 本 推 進 事 業	博物 館 ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 文化財・施設見学、食育体験、映画観賞会、 講演会など 15 事業 (3)参加者 590 人

5 令和7年度 教育委員会各課概要及び重点目標

(1) 教育政策課

ア 概要

教育行政の総合的な企画・調整を行い、第3次教育振興基本計画の施策の方向性に沿った事業を部局横断的に関係各課と連携を図りながら進めます。多様な教育的ニーズに応えるべく、社会の変化に対応したこれからの教育のあり方を見定め、「子どもが主人公 学都松本のシンカ」の実現に繋がります。また、庁内関係課との連携のみならず、広く市民と協働しながら事業を実施し、その成果を広く発信していきます。

イ 重点目標の内容

- (ア) リーディングスクール Matsumoto サポート事業、山間地の新たな学びづくりプロジェクト（県 TOCO-TON 事業参加）

「子どもが主人公」の学校づくりに向けたシステム改革や授業改革に挑戦する小中学校をリーディングスクール（LS）として、学校の主体的な取組みを支援し、松本市における学校改革・授業改善への機運の拡大を図ります。

- (イ) 教職員研修の充実

令和4年度に策定した教職員研修計画に基づき構築した松本市独自の教職員研修を実施するとともに、令和8年度に向けて研修計画の一層の充実を図ることを通して、教職員の職能の向上を図り、「子どもが主人公の学び・学校づくり」の実現を支えます。

- (ウ) 人口定常化につなげる教育施策の推進

豊かな自然や少人数学級など各校の特徴を活かした魅力ある教育の展開により、特色ある学びの環境を維持し人口の定常化につなげます。

- (エ) 学都松本寺子屋事業の推進

地域の多様な人が関わり、学校や家庭以外の居場所で子どもに豊かな学びの機会を提供することにより、子どもたちの学習習慣の定着や、基礎学力及び自己肯定感の向上を図ります。

- (オ) 部活動の地域移行の統括管理

令和6年2月に策定した地域移行推進計画に基づき、令和7年度末までに中学校の休日部活動を、令和8年度末までに平日の部活動を、それぞれ地域の活動に移行します。部局横断的な取組みを円滑に進めるために、事業全体の制度設計や進捗管理を行います。

- (カ) 教育文化センター再整備事業

教育文化センターを見直し、不思議を探り、持続可能な未来を切り拓く、子どもと大人、教職員が共に育つ人材育成の拠点「(仮称)学都ラボ」を目指して、再整備を進めます。新たな施設は人と人、人と学びをつなぐハブとなる事業を実施します。また、ICTを活用した学びの発信、既存施設を活用した学びや展示、連携機関や地域及び市民と連携した事業・運営を展開します。

(2) 学校教育課

ア 概要

「子どもが主人公・学都松本のシンカ」に向け、「絆の深化」、「学びの進化」を目指して、学校・教職員、児童生徒への支援に取り組みます。前年度から引き続き、学びにおけるICT活用を推進し、特にいじめ防止対策や不登校・引きこもり児童生徒に係る支援の充実

を図ります。

児童生徒がより良い環境の中で学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設の長寿命化事業や改築事業を計画的に進めるとともに、設備の改修、校用・教材備品の購入等、学校環境の充実を進めます。市立特別支援学校の設立について検討を進めます。

イ 重点目標の内容

(ア) いじめ防止対策、不登校・引きこもり児童生徒への支援の促進

教職員及び児童生徒の人権感覚の醸成、いじめ（SNS、スマホトラブルを含む。）や体罰のない学校づくりを進めます。また、令和4年度から5年度にかけて、不登校児童生徒が増加していることから不登校児童生徒に対する支援の骨太の方針を策定し、包括的な支援に取り組みます。

(イ) 特別支援教育推進事業（インクルーシブ教育推進事業）

特別支援学校から小中学校特別支援学級へ、特別支援学級から通常学級へと、適切な学びの場の見直しを進め、インクルーシブ教育を推進するとともに、特別支援教育の充実を図ります。令和6年4月に開設した、部局横断事業である松本市インクルーシブセンターが児童生徒に対する適切な支援ができるよう、他職種との効果的な連携を図ります。市立特別支援学校設立に向けて、設立の理念を共有し、必要性を市民、学校現場と共有しながら、具体的な検討を進めます。

(ウ) 部活動の地域クラブ活動への移行

子どもたちが自分のやりたいスポーツや文化活動を楽しめる環境を構築するため、土日と平日も含めた中学校部活動の地域クラブ活動への段階的な移行に取り組みます。

(エ) 学校教育情報化推進事業

児童生徒の1人1台端末や学習用クラウドサービス等の基盤整備など、学校内外における学びのICT活用を進めるとともに、人的支援（ICT支援員の配置等）や教職員の校務の情報化など、国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づく教育の情報化やICT活用能力の向上に取り組みます。

(オ) 小中学校施設整備事業

教育環境の改善を図る長寿命化改良事業、改築事業、学校トイレ整備事業、学校照明整備事業などを計画的に進めます。また、学校・保育園・児童センター等の施設整備について、こども部との連携を図り、余裕教室等の施設や学校敷地を有効活用し、施設の複合化・併設化を進めます。

(カ) 学校における働き方改革

部活動の地域クラブ活動への移行をはじめ、ICTの活用や支援員の配置など、保護者や地域の理解と協力を得ながら教職員の働き方改革を進めます。

(キ) 山間地の新たな学びの場の検討

山間地（安曇、大野川、奈川）の小規模な環境を生かした新たな学びのあり方の検討を、庁内関係課と連携しながら進めます。

(3) 学校給食課

ア 概要

学校給食法に基づき、地産地消や季節を大切に食材の使用を進め、より安全で安心な給食の提供を目指すとともに、健康な体をつくるために大切な「食」について考える機

会を設ける等、正しい食習慣が身につくように給食を通した食育に取り組みます。また、老朽化した施設・設備について早急に解消できるよう、再整備に向けた取組みを進めます。

イ 重点目標の内容

(ア) 学校給食センターの再整備事業

波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターをはじめとした施設の老朽化に対応するため、5つの給食センターのうち四賀を除く4つのセンターを3つのセンターに再編していきます。

(イ) 食育の推進

学校給食を生きた教材として活用し、給食を食べる体験を通して松本市の郷土食および地域食材について学び、児童・生徒の健やかな心と体を育む取組みを学校と連携して進めていきます。

(ウ) 地産地消の推進

関係各所と連携を図り、主要野菜15品目の長野県産食材使用割合を上げるため、「松本の日」や「環境にやさしい給食の日」の取組みを推進します。

(エ) 食物アレルギー対応食提供事業

「アレルギー対応食提供事業実施要綱」及び「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って安全にアレルギー対応食を提供するとともに、アレルギー対応食解除の取組みとして、児童生徒及び保護者に対し正しい知識の普及を進めていきます。

(オ) 学校給食費滞納整理

令和2年度から公会計化した学校給食費の収納業務について、滞納整理を強化します。具体的には、滞納繰越分を中心に、文書・電話・臨戸による催告を実施し、過年度滞納繰越の収納率18%以上を目標とします。また、新規滞納者を増やさないように、就学援助費や児童手当からの直接収納や、コンビニ納付・電子決済（スマホアプリ、クレジットカード、インターネットバンキング）での納付対応を引き続き行います。

(4) 生涯学習課・中央公民館

ア 概要

地域住民・民間組織・行政等の「多様な主体」が、お互いを尊重しながら学び合い、「自分たちの地域は自分たちで創る」という自治意識を育んでいくため、地域課題を解決するための場づくりや幅広い世代・立場の住民の主体的な地域参画、住民ニーズを反映した事業の推進などに取り組みます。

イ 重点目標の内容

(ア) コミュニティ・スクール事業の質の向上

地域・保護者・学校等が子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働する「コミュニティ・スクール事業」を推進します。また、学校の負担軽減、関係者の連携強化、事業内容の充実をさらに進めるため、国型制度のコミュニティ・スクール導入校の他地域への横展開を検討します。

(イ) 子ども・若者に身近な公民館の推進

子ども・若者が、公民館をより身近に感じ、公民館や地域との顔の見える関係を構築していくため、放課後や休日に自由に集える居場所づくりを進めます。また、多様な人々

との交流を通じて主体的に学んでいくため、ニーズを反映したイベントや学習の場を、子ども・若者との協働により企画します。

(ウ) 公民館活動への多様な住民参加

様々な考えを持った多様な人や団体が、学びや地域づくりの場として公民館を活用するために、義務感や負担感でなく、やりがいや楽しみを感じながら事業を進めるよう、公民館活動の内容や手法を見直します。また、多様な学びを支え、誰もがデジタル社会で活躍できる社会へつなげるために、インターネットを活用した情報発信やＩＣＴの活用支援を進めます。

(エ) 池上百竹亭の在り方検討

日本の伝統を伝える和室や茶室を有し、松本城近傍の立地条件から観光施設としての需要も見込まれる池上百竹亭について、観光施設等の生涯学習施設以外の用途での活用を検討します。

(オ) あがたの森文化会館運営体制の見直し

あがたの森文化会館として活用している重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂を適切管理していくための体制を見直します。併せて、生涯学習施設としてのあがたの森文化会館の管理運営業務に指定管理者制度を導入することを検討します。

(5) 中央図書館

ア 概要

図書館は、市民にとって単に本を借りるという場所だけでなく、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心を支え、多種多様な情報や学習機会を提供する生涯学習の拠点施設です。社会の変化や市民ニーズを踏まえ、地域が抱える様々な課題の解決や暮らしに役立つ資料・情報の収集に努めるとともに、図書館自らが積極的に情報発信・提供を行い、新しいつながりや交流の拠点となるべく、市民の生涯を通じた学びを支える地域の情報拠点を目指します。

イ 重点目標の内容

(ア) 松本市図書館未来プランに基づく事業の推進

令和４年に策定した「松本市図書館未来プラン」に位置付けられた「施策の柱」及び「具体的な取組み」に沿って事業を推進し、基本理念「出会う つながる ガク都の広場」を具現化するために、人と情報、情報と情報、人と人をつなぎイベントや市民の生活に根差した講座の開催、MLA連携※の強化、ビジネス支援関連コーナーの積極的な広報などの取組みを推進します。

※ 博物館（Museum）、図書館（Library）、文書館（Archives）の間で行われる種々の連携や協力活動

(イ) 中央図書館の大規模改修

中央図書館は平成３年の開館から３３年が経過し、施設の老朽化や電気・機械設備等の不具合が課題となっています。多くの市民が利用する図書館の快適な環境整備のため、施設の維持管理に必要な機能回復を目的とした大規模改修を進めます。

(ウ) 電子図書館の導入とＩＣＴの利活用

ＩＣＴを活用し、利用者カードのオンライン申請や、様々な状況により来館が困難な人への「電子書籍」を用いた電子図書館サービスのほか、視覚的に障がいがある人も読

むことができる読上機能のある書籍など、時間や空間の制約を受けず、誰でも気軽に情報にアクセスできる図書館サービスの充実を図ります。また、所蔵資料のＩＣタグによる管理や、ＬＩＮＥ連携サービスを実施することで、利便性の向上を図ります。

(エ) 子どもの読書活動の推進

子どもが読書に親しめる環境づくり、子ども読書活動の普及・啓発及び子どもと本をつなぐ人材の育成、家庭・地域・団体・学校・施設等の連携体制づくりを進めます。

Ⅲ 教 育 財 政

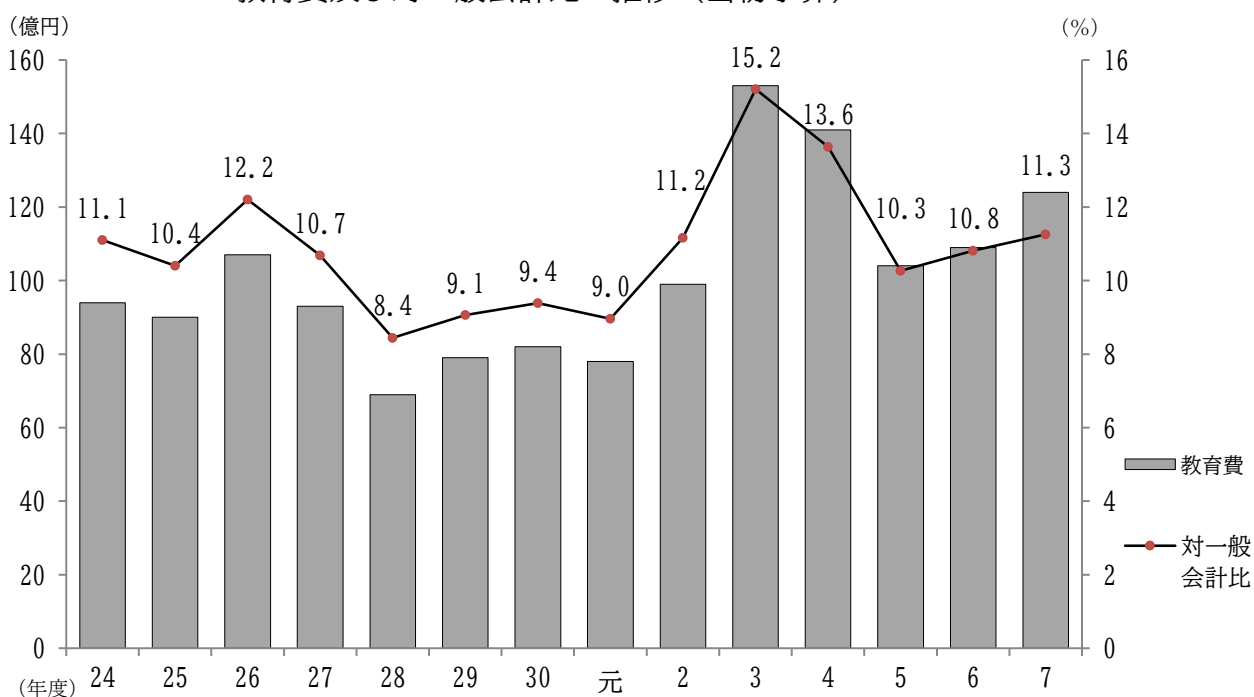
1 教育関係予算の概要（令和7年度 当初予算）

(1) 予算と決算の推移 ー歳 出ー

年度	当初予算額			決 算 額		
	一般会計	教育費	対一般 会計比	一般会計	教育費	対一般 会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2	110,611,019	16,254,810	14.7
R4	103,389,240	14,102,840	13.6	111,903,295	14,957,000	13.4
R5	102,100,000	10,483,720	10.3	110,388,716	13,216,000	12.0
R6	101,290,000	10,952,660	10.8	113,406,567	13,117,271	11.6
R7	110,360,000	12,423,560	11.3			

※ H24、H28、R2、R6の当初予算は骨格予算編成

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



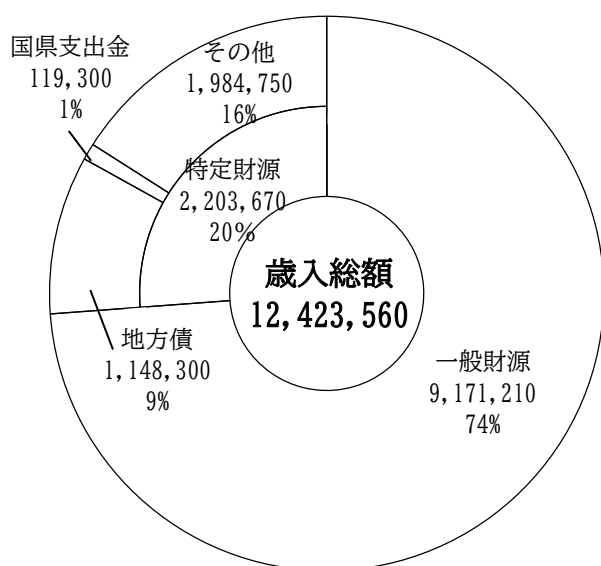
(2) 令和6年度教育費項目別の予算額（令和7年5月1日）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当たり	備考
	千円	%	円	
総 額	12,423,560	100.0	-	市民一人当たり53,297円
教育総務	1,689,810	13.6	-	教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 （報酬、事務局職員給与を含む）
小 学 校	2,422,570	19.5	221,522	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係（市費学校 職員給与を含む）
中 学 校	1,293,200	10.4	233,177	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係（市費学校 職員給与を含む）
幼 稚 園	230,720	1.9	-	幼稚園費（職員給与を含む）
社会教育	3,891,650	31.3	-	社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、教育文化センター費（教育機関職員給与を含 む）
保健体育	2,895,610	23.3	-	保健体育総務費、学校給食センター費（給食センター 職員給与を含む）

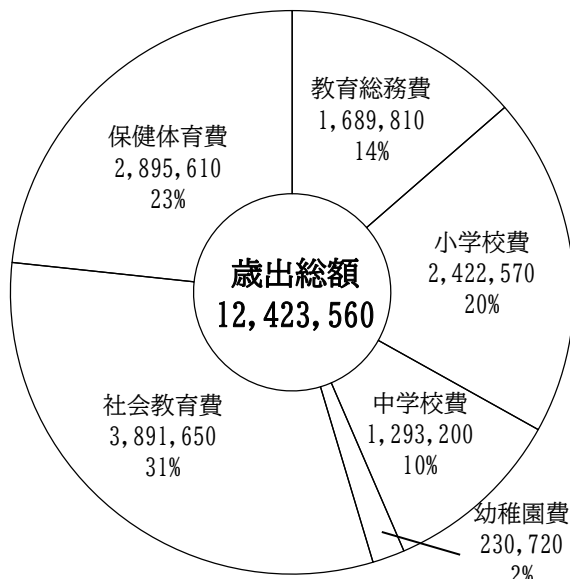
（注）市人口及び児童生徒数は、令和7年5月1日現在の数による。

市人口 233,100 人
小学生 10,936 人
中学生 5,546 人

歳入（単位 千円）



歳出（単位 千円）



第2編

子どもの教育の充実 (学校教育)



グリンデルワルト村への中学生派遣事業
(学校教育課)

I 学校教育の充実

1 概要

本市の学校教育は、明治6年の開智学校の開校に端を発し、以来150余年の歴史を刻んでいます。現在幼稚園10（うち国立1、私立6）、認定こども園15（私立）、小学校31（うち国立1、私立2）、中学校23（うち国立1、組合立1、私立2）、中等教育学校1（私立）、高等学校12（県立7、私立5）、大学5（国立1、私立2、私立短大2）、盲学校1（県立）、ろう学校1（県立）、養護学校2（県立）、その他多くの各種学校があり、学校施設及び設備の充実、教職員の資質向上等に積極的に取り組むことで、伝統ある教育尊重の気風の上に立って、個性を尊重し、人間性豊かな児童生徒の育成を図っています。

2 重点施策

(1) 教職員研修の実施

令和3年の中核市移行に伴い、市の教育課題に即した教職員研修計画を策定し、令和7年度は、職務別研修、専門研修など約70講座を市独自で開催します。

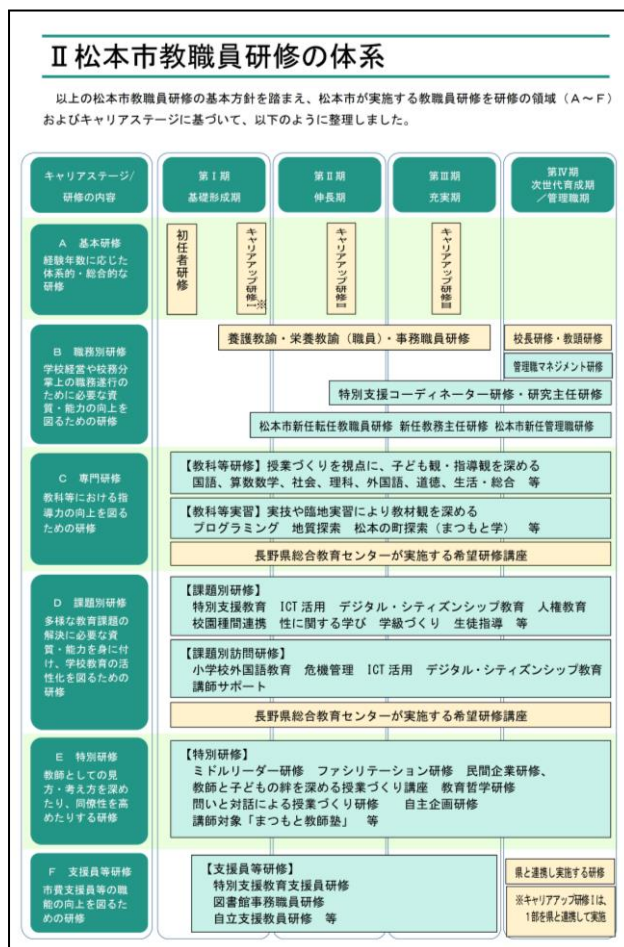
I 松本市の教職員研修の基本方針	
01 願う教師像 「子どもの「すがた」と「学び」を問い続ける教師」 ○ 子どもの尊厳と人権を尊重する教師 ○ 子どもの多様性・創造性・主体性を引き出す「学びの伴走者」としての教師 ○ 子どもとともに成長の喜びを感じ、仲間とともに学び続ける教師	04 松本市が独自に行う教職員研修の重点 松本市が独自に行う教職員研修では、これまで述べた通り「子ども観」「授業観・指導観」「教師像」「学校像」の4つの観点から実践を問い直し、教職員がそれぞれの「観・像」を深めていくことを重視しています。実際の研修の構想に当たっては、下記のように、各観点に関わる具体的な内容を重点的に扱っていきます。 (1)「子ども観」の問い直し ○ 多様な子どもの自分らしさを尊重した学びのあり方に関する研修 ・ 子どもの見方、子ども理解を深めるために専門家から知見を学ぶ研修 ・ インクルーシブな教室環境・授業づくりに関する研修 ・ 子ども理解を深め、特別支援教育における学校全体の指導力・チーム力を高める研修 ・ すべての子どものありようを受けとめ認め、はぐくむ子ども観を深める研修 等 (2)「授業観・指導観」の問い直し ○ すべての子どもの資質・能力を育む授業づくりのあり方に関する研修 ・ 一人ひとりの人格を尊重し互いを認め合うインクルーシブな教育の推進に関する研修 ・ SDGsとつともと学（地域素材の教材化）の推進に関する研修 ・ テーマ別授業づくり研修 主目的・対話的で深い学びの実現/ 個別最適な学びと協働的な学びの実現/ 子どもの「問い」を生かした授業づくり/ 非認知的能力を重視した授業づくり/ 教具・文具としてのICTを活用した授業づくり/ デジタル・シティズンシップ教育/ 「遊び」「体験」をベースに置いたカリキュラムづくり 等 (3)「教師像」の問い直し ○ 「学びの伴走者」としての教師のあり方に関する研修 ・ 人権感覚を磨く研修 ・ 先哲に学ぶ研修 ・ 危機管理研修、学校における働き方改革に関する研修 ・ ファシリテーションおよびコーチング研修 講師サポート研修 等 (4)「学校像」の問い直し ○ 子どもにとって魅力ある学校づくりとマネジメントのあり方に関する研修 ・ 学校教育目標具現のための教育課程編成（カリキュラムマネジメント）に関する研修 ・ 指導力・チーム力を高める校内研修・校内研究推進研修（主に教務主任・研究主任対象） ・ リーダーシップ・フォロアシップ研修（主に管理職対象） ・ ミドルリーダー研修（主に中堅教員対象） ・ 幼保小中連携のあり方に関する研修 等
02 教職員研修の目的 「子ども・教師の育ちと学びを支える教職員研修」 ○ 子どもの尊厳と人権を尊重しながら、子どもを主人公としていく松本市の教育の本質を追求し、参加者の子ども観の問い直しと深まりを目指す。 ○ 日々の実践や課題を持ち寄り対話することを通じて、参加者の主体性や関係性の問い直しと深まりを目指す。	
03 教職員研修の目標 松本市独自の教職員研修の実施にあたっては、次の各目標に基づき、研修を行っています。 1 キャリアステージに応じた研修と現代的な教育課題に対応した研修 キャリアステージに応じた研修のほか、授業改善や、特別支援教育など、現代的な教育課題に対応した研修を実施していきます。 2 研修ニーズの把握と研修の柔軟な企画・立案 市独自実施のメリットを生かし、教職員の研修ニーズを多様な方法によって把握し、柔軟に研修の企画・立案に反映させていきます。 3 多様な方法による研修と学びのコミュニティの形成 講義型研修のほか、参加型ワークショップや参加者自身による研修企画の創出等、教職員が主体的に参加し、学びのコミュニティを形成できるよう、研修の実施形態を工夫していきます。 4 教職員の働き方を考慮した効果的な研修 研修の方法・頻度・時間帯を工夫し教職員が参加しやすい効果的な研修を実施していきます。 5 指導主事等による学校訪問 学校のニーズに応じて指導主事等による学校訪問を行い、校内研修の充実を図っていきます。 6 長野県教育委員会との連携 研修は松本市での実施のほか長野県教育委員会実施の研修も取り入れていきます。また、研修の共同企画・開催等、県教育委員会との密接な連携を図ります。 (例：初任者研修/ キャリアアップ研修Ⅰ～Ⅲ/ 職務別研修 等)	

ア 長野県と連携して実施する研修

研修名	内容
基本研修	初任者研修、キャリアアップ研修等の法定研修
職務別研修	事務・栄養職員研修、養護教諭研修、一部の管理職研修
希望研修	長野県総合教育センターが開設する希望研修講座

イ 松本市が独自に実施した研修（令和6年度実績）

研修名	内容	研修数	参加人数
基礎研修	初任者研修	2	54
職務別研修	職務遂行上、必要な資質・能力の向上を図る研修 初任者研修、松本市新任転任教職員研修、研究主任研修など	11	666
専門研修	教科等の指導力を高める研修 対話を生かした道徳の授業づくり研修、まつもと学研修など	31	360
課題別研修	多様な教育課題に対応する力を高める研修 デジタル・シティズンシップ教育研修、訪問型特別支援教育研修など	12	517
特別研修	教師としての見方・考え方を深める研修 全教職員研修「結まつもと学びの日」、ミドルリーダー研修など	11	1,728
市費教職員研修	市費支援員等の職能向上を図る研修 自立支援教員研修、特別支援教育支援員研修など	5	219
合 計		72	3,544



(2) リーディングスクール Matsumoto サポート事業

「子どもの多様性・創造性・主体性」を育み、子ども主体の授業づくりを目指して大胆かつ柔軟な取組みにチャレンジする先進的な小中学校をリーディングスクールとして、人的・財政的に支援します。また、その取組みを市内の全学校に広げることで、学びの改革や子ども中心の授業づくり・学校づくりへの気風があふれる教育を実現し、新たな学びに向けた学校づくりを進めます。令和6年度は、前年度と同じ学校が継続して先進的な取組みを進めました。

ア リーディング校の取組み

実践校	取組みのテーマ	支援内容
中山小	【地域に根差した探究的な学びを中核とした学校づくり】 コミュニティスクールとの連携、異学年学習の推進等実現のための取組みを具体化。	外部講師謝礼 視察研修旅費 教員加配
寿小	【学校づくりのコンセプトを全職員で共有した踏み出し】 教科担任制、自由進度学習、探究的な学びづくり等への挑戦的な取組みにより、学校の前向きな気風を醸成。	
明善小	【幼児期（園児～小2）の学びへの深い理解による園小の学びの視点の全校展開】 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの開発と学びの視点の全校展開。	
清水中	【中学校の探究的な学びを中核とした学校づくり】 高校生、大学生との交流を軸に、課題設定、資料収集、考察、表現のプロセスによる探究的な学びを全校展開。	
筑摩小	【自らの学びをデザインする力の具現】 全教職員が自由進度学習の実践に挑戦するなど、狙いを絞り込んだシャープな取組みと、研修・研究体制の工夫。	外部講師謝礼 視察研修旅費
鎌田中	【教科における学習者主体の授業実践への挑戦】 全ての生徒が安心して授業に参加し、主体的に学ぶための、授業のUD化や個別最適な学びの実践。	
筑摩野中	【不登校生徒の学習保障と評価の研究】 生徒に学習の主導権を委ねる取組みを全校展開し、すべての生徒が気持ちよく学ぶ学校づくりを実践。	
開成中	【生徒が学ぶ授業づくりの全教室での実践】 目的意識を共有しつつ、教師の子ども観・指導観の改革を計画的に推進。	

イ リーディングスクール・アドバイザーの設置

学校づくりに関する豊かな知見を有し支援実績を持つ有識者4名をアドバイザーに迎え、リーディング校への直接的・継続的なアドバイスのほか、研修会等を通じた全学校への支援も実施します。

- ・ 奈須正裕氏（上智大学教授）
- ・ 木村泰子氏（大阪市立大空小学校初代校長）
- ・ 岩川直樹氏（埼玉大学教育学部教授）
- ・ 岩瀬直樹氏（軽井沢風越学園校長）

ウ 全学校への展開

(ア) リーディングスクールラボ、フェス

アドバイザー等の有識者を招いた実践発表会や情報交換会を定期的に行い、リーディング校の取組みを全学校で共有します。

(イ) リーディングスクール通信「学びの風便り」

リーディング校の取組みやトピックのほか、授業公開や研究会の開催情報について、毎月、市ホームページなどで発信しています。

(3) 学校施設及び設備の充実

ア 主な工事内容

事業名	工事内容	R7事業費(予算額、千円)
学校施設整備事業	受水槽更新工事：中1校 防火設備改修工事：小3校、中4校 地下燃料貯蔵タンク内面工事：中1校 受水槽送水ポンプ改修工事：小1校 自動火災報知設備更新工事：小1校 空調設置工事：小2校、中2校	195,830
学校トイレ整備事業	洋式化・乾式化工事：中1校 多目的トイレ整備：小6校、中2校	102,290
屋外運動場整備事業	グラウンド整備工事：中1校	96,350

イ 長寿命化改修事業

令和2年度に劣化状況調査を基に事業着手の順位付けを行い、また、改築計画も考慮した「松本市学校施設長寿命化計画（個別施設計画）」を策定しました。

令和7年度は、長寿命化改修事業で工事（4校）、実施設計（2校）、改築事業で基本設計（1校）を行います。

事業名	R7事業費(予算額、千円)
長寿命化改修事業	2,917,770
改築事業	30,160

ウ 学校教育情報化推進事業

国や県の計画0及び松本市教育大綱や松本市学校教育情報化推進計画等に基づき、学校の学習や校務のICT環境を整備し、教育の情報化の推進を図ります。

事 業 名		R 7 事業費（予算額、千円）
学校教育情報化推進事業	小学校費	527,610
	中学校費	336,030
	合 計	863,640

(4) 通学区の弾力化（開始年度 平成13年度）

（各年度5月1日）

	区分	R3	R4	R5	R6	R7
指定校変更申請者 (人)	小学校	60	57	56	56	50
	中学校	28	40	22	20	37
	合計	88	97	78	76	87

(5) 小規模特認校制度（対象校：安曇小中学校、中山小学校）（各年度5月1日）

制度申請者（人）	区 分	R 5	R 6	R 7
	安曇小中学校	7	8	20
	中山小学校	－	3	11
	合 計	7	11	31

(6) 松本デュアルスクール

区域外就学制度を活用し、住民票を県外自治体に置いたまま学籍だけを異動し、市内滞在先の学校への通学を可能とする制度を、令和5年5月から導入しています。

制度申請者（人）	区 分	R 5	R 6
	大野川小中学校	5	8
	奈川小中学校	－	3
	田川小学校	1	0
	合 計	6	11



（上：松本市ホームページ「松本デュアルスクール」から引用）

（下：松本デュアルスクール リーフレットから引用（大野川小中学校、奈川小中学校））

松本市立大野川小中学校

松本デュアルスクール

大野川小中学校の児童生徒と一緒に学校で生活してみませんか？

松本市立大野川小中学校
大野川小中学校は、長野県松本市の西側、北アルプスの麓に位置する。農産物のふもと標高1,200mにある学校です。

「松本デュアルスクール（短期就学制度）」は、地方移住等に伴う区域外就学制度で、住民票を移住先自治体に置いたまま、滞在先の学校に通学することができる制度です。そのまま自然環境や地域特色をいかした松本市独自の多様な学習を体験し、地方の暮らしや文化を体験することができます。

利用者の声
・少人数のクラスで自分のペースで学習を進めることができました。友達と教え合いながら授業に励めました。

・子どもが学校でも専任先生でも、生き生きと楽しくて、先生も子どもに目を注いでくださることができました。親も自然環境や生活環境に恵まれ、気持ちよく生活できました。

見学歓迎 松本市立大野川小中学校 ホームページ

詳細・お申し込みは「松本市ホームページ」またはお電話から
松本市教育委員会教育政策課 Tel. 0263-33-3980

大自然と歴史街道の足跡残る松本奈川で学校生活を送りませんか？

松本DUAL SCHOOL

少人数 × 探究 = 奈川スタイル

松本市立奈川小中学校 [小・中併設校]

〒390-1611 長野県松本市奈川2281番地 TEL: 0263-79-2002
https://www.fureai-cloud.jp/e_nagawa

(7) 令和6年度就学援助費支給状況

(令和7年5月31日)

区 分		小学校		中学校	
		人 数	金 額	人 数	金 額
学用品費 通学用品費 校外活動費 (宿泊無)	1 年	149 人	1,922,748 円	264 人	6,502,048 円
	その他	1,035 人	15,604,318 円	514 人	13,855,272 円
新入学用品費	小学校 入学予定者	24 人	1,297,440 円	—	—
	小 1	123 人	6,677,695 円	—	—
	小 6	228 人	14,364,000 円	—	—
	中 1	—	—	37 人	2,220,000 円
校外活動費(小 4～5、中 1～2)		371 人	2,630,691 円	457 人	4,558,393 円
修学旅行費		224 人	7,359,858 円	240 人	12,464,215 円
学校給食費		1,166 人	59,358,218 円	747 人	43,736,118 円
合 計			109,214,968 円		83,336,046 円

(8) トライやるエコスクール事業(開始年度 平成11年度)

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史・文化・自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すとともに、環境教育の充実を図るものです。

令和7年度事業費(予算額)

区 分	事業費(千円)	1校平均事業費(千円)
小 学 校	7,230	278
中 学 校	8,460	445
合 計	15,690	

(9) 学校人権教育の推進(人権教育研究)

ブロック	ブ ロ ッ ク 推 進 委 員		
	授業公開校	ブロック推進委員長	ブロック推進副委員長
A	旭町小	鎌田中	並柳小
B	山辺中	開智小	奈川小中

(10) 教育相談の充実及び不登校児童生徒支援

ア 心身障がい児の教育相談の充実

(ア) 指導体制

区分	設置年月	相談員
教育相談室	H6年11月～	教育相談員 5名

(イ) 教育相談件数

年度	R 4	R 5	R 6
件数	395件	487件	505件

イ 教育支援センターの充実

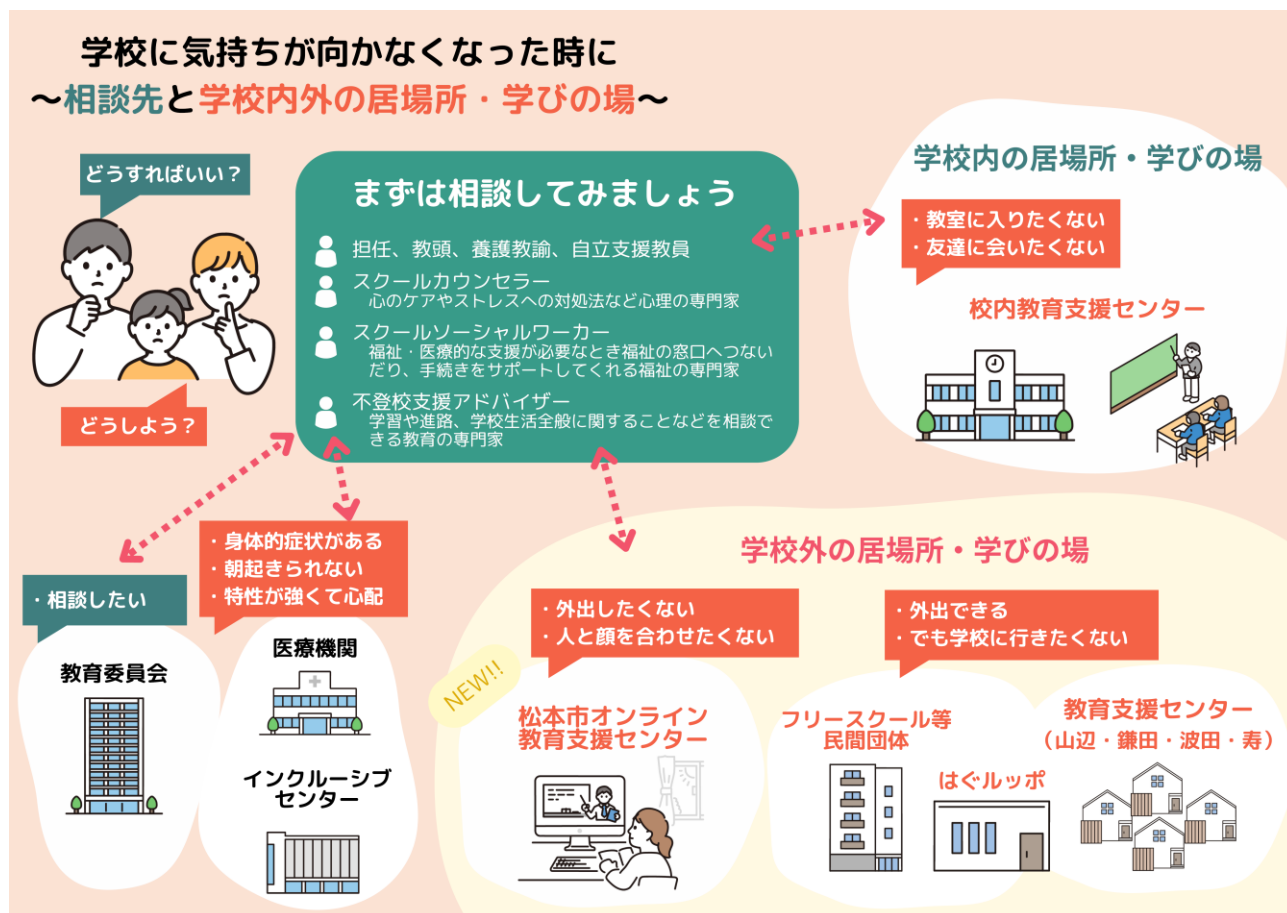
山辺教育支援センター	教育文化センター内	TEL 33-1845	Fax 33-1845
鎌田教育支援センター	鎌田中学校南別棟	TEL 29-1275	Fax 29-1276
波田教育支援センター	波田体育館	TEL 92-4932	Fax 92-4932
寿教育支援センター	教職員寿豊丘住宅	TEL 50-4480	Fax 50-4480
オンライン教育支援センター	教育文化センター内	TEL 33-1000	Fax 33-1000

(ア) 支援体制

区 分	設置年月	指 導 員
山辺教育支援センター（愛称 どうぐり）	H 4年 4月～	3名
鎌田教育支援センター（愛称 みらい）	H 10年 10月～	3名
波田教育支援センター（愛称 あかり）	H 7年 12月～	3名
寿教育支援センター（愛称 よつば）	R 5年 8月～	3名
オンライン教育支援センター（愛称 まつとも）	R 6年 10月～	5名

(イ) 在籍状況等

区 分		R 4	R 5	R 6
4 教育支援センター 在籍数	小学生	63人	123人	104人
	中学生	53人	88人	86人
オンライン教育支援センター 利用者数	小学生	—	—	14人
	中学生	—	—	27人



（松本市の不登校支援の概要【保護者用】から引用）

(11) 児童生徒へのきめ細やかな支援の充実

平成29年度から、これまでの「小学校適応指導・学習指導改善教員」「中学校適応指導教員」に代え、「自立支援教員」を配置しています。

ア 小・中学校別「自立支援教員」の配置

令和7年度 配置体制 (小学校)	開智小	源池小	筑摩小	旭町小	田川小
	鎌田小	清水小	島内小	中山小	島立小
	芝沢小	菅野小	芳川小	寿小	岡田小
	山辺小	今井小	◇開明小	明善小	本郷小
	二子小	並柳小	四賀小	梓川小	波田小
令和7年度 配置体制 (中学校)	清水中	鎌田中	丸ノ内中	旭町中	松島中
	高綱中	菅野中	筑摩野中	山辺中	開成中
	女鳥羽中	明善中	◇信明中	会田中	梓川中
	波田中	鉢盛中	◇複数配置校		

イ 改変・配置の経過

年度	人数	改 変 内 容
H14	11名	小学校心のケア支援指導員を適応指導・学習指導改善教員へ名称変更
H17	14名	四賀・安曇・奈川・梓川合併により30校に14名を配置
H18	14名	中学校にも適応指導教員を配置
H19	13名	
H20	15名	小学校30校に対して2校に1名の15名配置とする。
H22～	16名	波田地区合併により、小学校(含分室)32校に対して2校に1名の16名配置
H25	16名	四賀4校閉校と四賀小開校に伴う統合ギャップ対応のための特別措置による配置(四賀小2名)
H26～	15名	小学校(含分室)30校に対して2校に1名の15名配置
H28～	13名	小学校(含分室)30校に対して2校に1名の13名配置
H29～	30名	「自立支援教員」を小学校13名、中学校17名配置(鉢盛中含む)
R元	30名	「自立支援教員」を小学校16校に13名配置(うち3名2校兼務)、中学校16校に17名配置
R2～	39名	小学校23校に22名配置(うち3名2校兼務)、中学校17校に18名配置(うち1名2校兼務)※1名は小中兼務
R4～	43名	小学校25校に26名配置、中学校16校に18名配置(鉢盛中含む)

ウ 学力向上推進教員の配置(鉢盛中配置分、山間小規模校4類も含む)

学力向上 推進教員	数学	4名	理科	4名	数学・理科	2名
	英語	4名	社会	1名	美術	2名
	国語	1名	(未定)	1名)		

エ 改編の経過（鉢盛中配置分も含む）

年度	H 2 2 ～	H 2 8	H 2 9 ～	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5 ～
適応指導 推進教員	1 1 名	2 4 名						
自立支援 教員	—	—	3 0 名	3 0 名	3 9 名	3 9 名	4 4 名	4 4 名
学力向上 推進教員	1 7 名	1 7 名	1 7 名	1 7 名	1 7 名	1 7 名	1 7 名	1 9 名

(12) 中学校 3 5 人学級編制事業（開始年度 平成 2 3 年度）

少人数授業の実施について、国の学級編制基準を弾力化し、1 学級を 3 5 人とする県の施策を導入しています。（各年度 5 月 1 日）

年度	対象学年(年生)	通常学級数(学級)	影響学級数(学級)
R 3	1 ～ 3	1 9 4	2 5
R 4	1 ～ 3	1 9 4	2 7
R 5	1 ～ 3	1 8 6	2 1
R 6	1 ～ 3	1 8 3	1 8
R 7	1 ～ 3	1 7 6	1 3

※ 義務教育基準法の改正により平成 2 4 年度から小学校 1 年生、令和 3 年度からは小学校 2 年生から 1 年毎、学年進行により学級編成の標準が引き下げられ、令和 7 年度は小学校全学年で 3 5 人学級編制となりました。

(13) 特別支援教育支援員の配置（開始年度 平成 1 9 年度）

①医療的ケアが必要な児童生徒、②介護的ケア（歩行補助、トイレ介助等）が必要な児童生徒、③意思疎通が困難で安全確保が必要な児童生徒、④自閉症・情緒障害等の児童生徒への学習指導や生活指導のうち、①～③に該当する児童生徒への支援を行います。①～③の児童生徒への支援を行いながら④の児童生徒への支援も行っています。

年度		H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
小学校	校数	2 2	2 3	2 3	2 2	2 1	2 6	2 6	2 6
中学校	校数	8	8	8	9	1 1	1 3	1 2	1 3

(14) 市立特別支援学校設置検討事業（開始年度 令和 6 年度）

市立特別支援学校設置について、令和 5 年度から研究を開始し、令和 6 年度に市民対象の「特別支援教育フォーラム」を開催し、理解促進を図りました。

令和 7 年度には、教育委員会に特別支援学校設置準備室を設置し、有識者や市民の意見聴取を行いながら、令和 1 1 年度の市立特別支援学校開校に向け、設置方針や施設整備等の検討を進めています。

3 市立学校一覧

(1) 小学校

校 名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
開 智	開智 2-4-51	明治 6 年 5 月	玉水 智香子	宮 坂 到	32-0006
源 池	県 3-5-1	明治 37 年 5 月	田 原 和 幸	北 澤 千 枝	32-0207
筑 摩	筑摩 1-8-1	大正 7 年 5 月	五 明 佳 代	安 藤 幸 彦	25-0090
旭 町	旭 2-4-4	大正 12 年 6 月	高 野 毅	斉 藤 優 一	32-1124
田 川	渚 1-5-34	大正 14 年 4 月	木 船 暁 美	三 澤 千 明	26-1377
鎌 田	鎌田 1-8-1	昭和 8 年 4 月	山 崎 啓	原 田 実 合 内 誠 宣	25-0835
清 水	清水 2-8-18	昭和 3 年 4 月	渡 辺 玲 子	大 日 方 守	32-1210
島 内	島内 5323	明治 19 年 4 月	小 松 幹	金 井 貴 之	47-1150
中 山	中山 3517	明治 22 年 4 月	宮 田 恭 子	大 王 雅 喜	58-5823
島 立	島立 3298	明治 19 年 4 月	山 口 弘 子	林 美 保 子	47-2159
芝 沢	和田 1118	昭和 46 年 4 月	伊 藤 政 子	山 本 朗 士	47-0154
菅 野	笹賀 3460	昭和 43 年 4 月	梅 田 久 仁	中 林 文 広	58-2482
芳 川	小屋北 2-5-1	明治 42 年 4 月	中 山 靖 隆	赤 羽 洋 一 郎	58-2030
寿	寿豊丘 1004	明治 33 年 4 月	倉 澤 啓	磯 尾 智 子	58-2106
岡 田	岡田松岡 519	明治 22 年 4 月	染 川 あ ゆ み	小 松 尚 志	46-0589
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	〃	谷 口 竜 介	38-0883
山 辺	入山辺 34	昭和 46 年 4 月	中 山 由 加 里	三 木 雅 博	32-2619
(美ヶ原)	入山辺 8961-1356	昭和 24 年 4 月	(休校中)		
今 井	今井 1616	明治 22 年 12 月	安 藤 隆 子	河 西 茂 信	59-2003
開 明	宮田 11-41	昭和 45 年 4 月	百 瀬 顕 正	佐々木美紀子	25-0485
明 善	寿豊丘 813-7	昭和 49 年 4 月	林 淳 子	土 屋 明 子	58-3244
本 郷	浅間温泉 2-9-5	明治 45 年 4 月	高 坂 秀 樹	大 池 あ ゆ み	46-0495
二 子	笹賀 5921	昭和 54 年 4 月	五 味 誠	山 本 諭	27-1648
並 柳	並柳 4-9-1	昭和 58 年 4 月	山 本 純 子	金 子 恵 介	29-0869
四 賀	会田 1113	平成 25 年 4 月	苅 部 あ ゆ み	西 村 香 織	64-1070
安 曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	降 簾 敏 昭	西 村 浩	94-2234
大 野 川	安曇 3886-1	昭和 22 年 4 月	馬 場 英 晃	百 瀬 稔	93-2224
奈 川	奈川 2281	明治 30 年 4 月	青 森 隆 俊	小 川 文 徳	79-2002
梓 川	梓川梓 755	昭和 48 年 4 月	藤 升 覚	松 尾 直 敬	78-2035
波 田	波田 10286-1	明治 19 年 4 月	平 林 明 彦	石 井 信 好 田 上 達 人	92-2044

(2) 中学校

校 名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
清 水	清水 2-7-12	昭和 22 年 4 月	武井 利博	内川 啓	32-2078
鎌 田	鎌田 2-3-56	昭和 22 年 4 月	手塚 直樹	菊池 泰弘	25-1088
丸 ノ 内	宮渕 3-6-1	昭和 23 年 4 月	坂口 俊樹	古旗 明	32-1962
旭 町	旭 3-7-1	昭和 23 年 4 月	小松 伸行	棚橋 秀光	32-2048
桐 分 校	桐 3-9-4	昭和 30 年 4 月	//	//	32-3091
松 島	島内 3986	昭和 33 年 4 月	油井 桐子	下里 貴志	40-1367
高 綱	島立 4416	昭和 28 年 4 月	濱中 浩	赤羽 康隆	47-3929
菅 野	笹賀 3475	昭和 24 年 4 月	渡邊 享秀	西村 良幸	58-2056
筑 摩 野	村井町北 2-11-1	昭和 25 年 4 月	美斎津 昭博	大久保 礼子	58-2071
山 辺	里山辺 3326	昭和 30 年 4 月	河西 哲也	堀田 茂樹	32-0267
開 成	神田 2-7-1	昭和 36 年 9 月	近藤 達也	小泉 豊土	26-1852
女 鳥 羽	原 1085-2	昭和 26 年 4 月	普明 秀幸	佐藤 正志	46-0285
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	//	谷口 竜介	38-0883
明 善	寿豊丘 812-1	昭和 54 年 4 月	小野沢 健	山田 綾子	86-0044
信 明	石芝 3-3-20	昭和 60 年 4 月	丸山 剛生	富田 美咲	25-3848
会 田	会田 8923	昭和 30 年 4 月	重盛 究	小林 里美	64-2020
安 曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	降旗 敏昭	清都 しのぶ	94-2234
大 野 川	安曇 3886-1	昭和 23 年 4 月	馬場 英晃	百瀬 稔	93-2224
奈 川	奈川 2281	昭和 22 年 4 月	青森 隆俊	小川 文徳	79-2002
梓 川	梓川梓 800-2	昭和 28 年 4 月	中川 満英	中村 功	78-2024
波 田	波田 10145-1	昭和 22 年 4 月	三澤 豊	三村 徹	92-2034
松原分校	波田 4417-5	平成 12 年 4 月	//	柳澤 修	91-2202

(3) 組合立

校 名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
(組)鉢盛	東筑摩郡朝日村 3332-5	昭和 40 年 4 月	藤松 隆雄	小岩井 高德	99-2501

(4) 幼稚園

園 名	所在地	創立年月	園長名		電話番号
松 本	蟻ヶ崎 2-4-50	明治 20 年 4 月	井坪 秀明		32-0904
本 郷	浅間温泉 2-12-15	昭和 42 年 4 月	滝澤 美和子		46-1876
本 郷 南	横田 4-25-2	昭和 50 年 4 月	宮澤 かつ恵		35-5165

4 学校教職員数（令和7年5月1日）

区分	校名	校長		教頭		教諭		養護教諭		養護助教諭		講師		（含再任用H） 非常勤		事務		栄養職員		その他県費		休職教員数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学校	小学校計	13	13	23	7	198	309	0	27	0	10	33	87	17	45	8	28	1	10	6	28	32
	開智	1	1	1		9	14		1					3	3		1			1	1	1
	源池				1	4	8		1					5	2					1	1	1
	筑摩		1	1		8	7		1					4	2		1				1	1
	旭町	1		1		7	13		1					4	1		1				1	1
	田川		1	1		5	10		1			2	2	1			1				1	1
	鎌田	1		2		13	16		1		1	2	6		3	1	1			2	1	1
	清水		1	1		9	18		1		1	2	4	2	2		2			1	3	3
	島内	1		1		9	21		1		1	1	5	1	4		2		1	1	1	1
	中山		1	1		3	6		1				2		1		2			1	1	1
	島立		1		1	5	8		1			2	2		1		1			1	2	2
	芝野		1	1		7	10		1				2		3		1			1	1	1
	菅芳	1		1		6	15		1			1	5	2			1			2	1	1
	川	1		1		14	17		1		1	3	4		2		2		3	1	2	2
	寿	1			1	10	13		1		1	2	7	1	1	1			1	1	1	1
	岡田		1	1		7	14		1			2	2		4		1		2	1	3	3
	あさひ分校					1							1									
	山辺		1	1		8	12		1			3	3		4		1			1	2	2
	美ヶ原																					
	今井		1	1		5	3		1				1	1	2	1			1		4	4
	開明	1			1	12	17		1		1	3	3	1	1		2			2		
	本善		1		1	9	10		1			1	1		2		1			2	1	1
	二郷	1			1	7	8		1		1	2	1	1			1		1	1	1	1
	並柳		1	1		2	6		1				3			1				1	1	1
	四賀		1			5	12		1				4		1		1			1	1	1
	安曇	1			1	3	4		1				3	1			1		1		1	1
	大野川			1		2	3				1	1	1				1					
	奈川			1		1	2		1			1				1						
	梓川	1		1		12	18		1		1	1	4	2		1		2		1	3	3
	波田	1		2		14	23		1		1	2	5		7		2		1	1	2	2
中学校	中学校計	17	1	14	5	207	152	0	16	0	6	28	39	8	4	6	12	0	0	5	12	15
	清水	1		1		12	10		1			5	2			1				1	1	1
	鎌田	1		1		17	10		1		1	2	2	1		1				1	1	1
	丸ノ内	1		1		9	8					1	2				1				1	1
	旭町	1		1		12	8		1			1	4				1			1	1	1
	桐分校					1																
	松島		1	1		14	9		1			2	4				1		1		1	1
	高網	1		1		9	9		1			1			1		1			1	1	1
	菅野	1		1		14	9		1			1	3				2			1	1	1
	筑摩	1			1	21	13		1		1	1	3	2			2			2	1	1
	山辺	1		1		10	8		1			4					1			1	1	1
	開成	1		1		11	11		1			1	1		1		1			1	2	2
	女鳥羽	1		1		11	9		1		1	3	4			1				1	1	1
	あさひ分校			1		1	3				1		1									
	明善	1			1	10	6		1				2			1				1		
	信明	1			1	11	7		1		1	2	2			1				1		
	会田	1			1	3	3		1		1	1	1		1				1			
	安曇				1	3	2					1	1	1	1							
	大野川	1				3	2															
	奈川	1				2	3						1	2							1	1
	梓川	1		1		13	15		1			2	3	1		1				1	3	3
	波田	1		1		16	7		1				3	1	1		1			1		
	松原分校			1		4						1										
	鉢盛	1		1		16	7		1			4	2			1				1		

区分	園名	園長		教諭		事務職員		給食調理員		会計年度教員		特別加配		休職職員数							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
幼稚園	幼稚園計	1	2	0	9	0	3	0	6	0	3	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0
	松本	1			4		1		2				5								
	本郷南		1		2		1		2		2		1								

(注) 1 「休職教員数」は正規教員の内数です（休職教員数には育児休業者を含む）

(注) 2 中学校計には鉢盛中学校は含まない

(注) 3 部は市費で対応するもの

5 学校基本調査児童・生徒数（令和7年5月1日）

令和7年度学級編成

区分	学校名	6.5.1		7.5.1		増減		1年		2年		3年		4年	
		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小学校	小学校計	519	11,172	511	10,936	-8	-236	59	1,594	60	1,521	64	1,711	61	1,701
	開智	24	571	23	541	-1	-30	2	70	3	77	3	82	3	97
	源池	14	235	12	223	-2	-12	1	32	2	42	1	24	1	35
	筑摩	15	355	16	371	1	16	2	55	2	57	2	54	2	59
	旭町	18	340	19	339	1	-1	2	51	2	54	2	44	2	46
	田川	16	265	16	265	0	0	2	42	2	41	2	40	2	43
	鎌田	33	823	33	819	0	-4	4	131	4	110	4	117	5	142
	清水	26	600	27	592	1	-8	3	92	3	71	3	88	4	108
	島内	30	736	28	719	-2	-17	3	105	3	92	4	124	3	103
	中山	8	95	9	102	1	7	1	17	1	12	1	15	1	17
	島立	14	272	13	256	-1	-16	2	41	1	29	2	49	1	31
	芝沢	17	403	17	391	0	-12	2	56	2	62	2	62	2	67
	菅野	24	554	24	546	0	-8	3	83	3	73	3	77	3	89
	芳川	31	758	30	757	-1	-1	3	105	4	107	4	121	4	133
	寿	27	627	27	612	0	-15	3	82	3	82	4	107	3	89
	岡田	18	364	18	359	0	-5	2	52	2	44	2	47	2	51
	あさひ分校	2	9	1	4	-1	-5	0	0	0	0	0	0	0	0
	山辺	23	569	23	552	0	-17	2	69	3	71	3	103	3	76
	美ヶ原	0	0												
	今井	8	152	8	159	0	7	1	29	1	17	1	30	1	33
	開明	27	562	26	564	-1	2	3	81	3	82	3	88	3	86
	明善	17	387	17	377	0	-10	2	52	2	67	2	53	2	53
	本郷	16	346	16	339	0	-7	2	58	2	42	2	59	2	50
	二子	11	189	11	183	0	-6	2	36	1	19	1	28	1	25
	並柳	15	295	15	276	0	-19	2	43	2	54	2	41	2	40
	四賀	8	117	8	112	0	-5	1	14	1	12	1	17	1	12
	安曇	6	32	6	44	0	12	1	12	1	4	1	8	1	8
	大野川	4	22	4	22	0	0	1	3		2	1	2		6
	奈川	2	6	2	4	0	-2	1	1		1	0	0	0	0
	梓川	29	660	26	582	-3	-78	2	59	3	76	3	80	3	93
	波田	36	828	36	826	0	-2	4	123	4	121	5	151	4	109
中学校	中学校計	251	5,645	248	5,546	-3	-99	57	1,675	59	1,761	61	1,695		
	清水	15	345	17	368	2	23	4	125	4	123	3	90		
	鎌田	20	486	19	459	-1	-27	4	133	5	145	5	153		
	丸ノ内	11	230	10	220	-1	-10	2	69	2	65	2	61		
	旭町	13	317	14	311	1	-6	3	95	3	103	3	89		
	桐分校	1	5	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5		
	松島	17	464	17	461	0	-3	4	140	5	161	4	138		
	高綱	13	291	13	311	0	20	3	94	3	90	4	108		
	菅野	17	416	17	409	0	-7	4	118	4	129	4	132		
	筑摩野	25	672	24	667	-1	-5	6	199	7	221	7	219		
	山辺	13	287	13	294	0	7	3	97	3	79	3	93		
	開成	14	322	12	295	-2	-27	3	91	3	94	3	90		
	女鳥羽	16	320	16	321	0	1	4	108	4	107	3	74		
	あさひ分校	2	9	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0		
	明善	11	215	11	222	0	7	2	59	2	58	3	79		
	信明	14	301	13	260	-1	-41	2	61	3	92	3	78		
	会田	5	59	5	61	0	2	1	18	1	20	1	15		
	安曇	3	20	3	17	0	-3	1	4	1	6	1	7		
	大野川	2	8	2	7	0	-1	1	3		2	1	2		
	奈川	2	5	2	7	0	2	1	3		2	1	2		
幼稚園	梓川	18	437	18	423	0	-14	4	133	4	130	4	122		
	波田	17	433	16	412	-1	-21	4	124	4	130	4	136		
	松原分校	2	3	3	7	1	4	1	1	1	4	1	2		
	鉢盛	16	376	17	395	1	19	4	129	3	99	4	132		
	幼稚園計	9	118	9	93	0	-25	3	25	3	28	3	40		
幼稚園	松本	3	45	3	30	0	-15	1	6	1	9	1	15		
	本郷	3	36	3	31	0	-5	1	9	1	7	1	15		
	本郷南	3	37	3	32	0	-5	1	10	1	12	1	10		

は複式学級対応

(注) 1 幼稚園については、1年を3歳児、2年を4歳児、3年を5歳児に読み替える。

(注) 2 桐分校は本科生

5 年		6 年		通常学級計		特別支援計		学 年 別 総 数								学校名
学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数									
								1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計		
64	1,750	65	1,767	373	10,044	138	892	1,714	1,665	1,859	1,852	1,926	1,920	10,936	小学校計	
3	88	3	88	17	502	6	39	74	81	91	103	95	97	541	開智	
1	30	2	41	8	204	4	19	35	46	29	35	36	42	223	源池	
2	60	2	60	12	345	4	26	62	61	58	65	63	62	371	筑摩	
2	52	2	50	12	297	7	42	58	61	52	52	58	58	339	旭町	
2	38	2	41	12	245	4	20	43	42	44	47	43	46	265	田川	
4	123	5	141	26	764	7	55	141	117	126	154	131	150	819	鎌田	
3	99	3	87	19	545	8	47	97	84	93	115	109	94	592	清水	
4	126	4	121	21	671	7	48	111	101	133	110	137	127	719	島内	
1	13	1	13	6	87	3	15	19	15	17	20	17	14	102	中山	
2	45	2	43	10	238	3	18	42	32	51	35	49	47	256	中島	
2	57	2	54	12	358	5	33	58	65	67	71	67	63	391	芝沢	
3	88	3	95	18	505	6	41	88	81	83	95	97	102	546	菅野	
4	109	4	135	23	710	7	47	113	112	126	143	119	144	757	芳川	
4	109	3	96	20	565	7	47	87	89	114	99	120	103	612	寿	
2	61	2	60	12	315	6	44	63	53	53	58	66	66	359	岡田	
0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	2	1	4	あさひ分校	
3	91	3	101	17	511	6	41	76	77	107	82	97	113	552	山辺	
				0		0									美ヶ原	
1	24	1	19	6	152	2	7	31	17	32	34	25	20	159	今井	
3	90	3	77	18	504	8	60	90	93	92	97	101	91	564	開明	
2	57	2	64	12	346	5	31	55	76	58	58	63	67	377	明善	
2	58	2	47	12	314	4	25	62	49	59	56	60	53	339	本郷	
1	23	1	29	7	160	4	23	37	20	35	28	28	35	183	二子	
2	45	2	38	12	261	3	15	46	56	44	42	47	41	276	並柳	
1	27	1	21	6	103	2	9	15	15	19	14	28	21	112	四賀	
1	7	1	5	6	44	0	0	12	4	8	8	7	5	44	安曇	
1	4	1	5	4	22	0	0	3	2	2	6	4	5	22	大野川	
1	1	1	1	2	4	0	0	1	1	0	0	1	1	4	奈川	
3	103	3	105	17	516	9	66	67	85	94	104	120	112	582	梓川	
4	122	5	130	26	756	10	70	128	130	172	120	136	140	826	波田	
				177	5,131	71	415	1,813	1,921	1,812				5,546	中学校計	
				11	338	6	30	136	133	99				368	清水	
				14	431	5	28	142	153	164				459	鎌田	
				6	195	4	25	76	74	70				220	丸ノ内	
				9	287	5	24	102	113	96				311	旭町	
				1	5	0	0	0	0	5				5	桐分校	
				13	439	4	22	148	170	143				461	松島	
				10	292	3	19	103	97	111				311	高綱	
				12	379	5	30	126	141	142				409	菅野	
				20	639	4	28	206	230	231				667	筑摩野	
				9	269	4	25	104	94	96				294	山辺	
				9	275	3	20	94	103	98				295	開成	
				11	289	5	32	122	120	79				321	女鳥羽	
				0	0	2	9	2	7	0				9	あさひ分校	
				7	196	4	26	71	66	85				222	明善	
				8	231	5	29	68	103	89				260	信明	
				3	53	2	8	20	23	18				61	会田	
				3	17	0	0	4	6	7				17	安曇	
				2	7	0	0	3	2	2				7	大野川	
				2	7	0	0	3	2	2				7	奈川	
				12	385	6	38	148	144	131				423	梓川	
				12	390	4	22	134	136	142				412	波田	
				3	7	0	0	1	4	2				7	松原分校	
				11	360	6	35	140	114	141				395	鉢盛	
				9	93			25	28	40				93	幼稚園計	
				3	30			6	9	15				30	松本	
				3	31			9	7	15				31	本郷	
				3	32			10	12	10				32	本郷南	

6 特色ある学校行事と学年行事

(1) 小学校

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
開 智	開智探究の日（全クラスでの総合的な学習の時間、生活科の授業公開）、児童会開智まつり、「礎タイム」（朝読書・ドリル・体力づくり、全校集会、児童会発表）、開智読書の日（地域ボランティアによる読み聞かせ）、学校周回マラソン大会、旧開智学校校舎清掃、公民館・福祉施設等との交流（学級・学年単位、金管バンド演奏）	東京	美ヶ原
源 池	「みどり教育」の充実、ノーチャイム、マラソンタイム、ドリルタイム、大相撲源池場所、源池子ども大学（昔の遊び体験、地域の方に学ぶ等）、マラソン記録会、源池の森コンサート（子ども会）、源池祭（子ども会）、縦割り班による活動（子ども会、縦割り清掃）、読書ボランティアによる読み聞かせ、	東京	美ヶ原
筑 摩	「かえで祭」（児童委員会ごとの企画 年1回）、フリースタイルプロジェクト（自分の興味・関心を追究するクラブ活動）、「かえでの会」による読み聞かせ、「ECメイプル」による外国語活動、地域の方の指導によるお米・松本一本ねぎ等の栽培活動や書写等の教科活動、自主活動（朝の時間を中心にして、合唱団・金管バンド・陸上クラブ）	東京	美ヶ原
旭 町	松本盲学校・院内学級との交流、地域の方を講師にお願いする「とことん講座（クラブ活動）」、縦割り清掃、全校で取り組む花壇づくり、児童会を中心にしたあいさつ運動、朝のあいさつマラソン、保護者や地域の方を講師に招いての「お仕事講座（キャリア教育）」、学校と地域の交流拠点「あさひカフェ」、地域行事への参加（プラスバンド）	東京	美ヶ原
田 川	8の字跳び、全校マラソン、全校読書、児童会主催行事（ドッジボール大会ほか）、読み聞かせボランティア、地域の方を講師に招いてのクラブ活動（2講座）・見守り隊・福祉ひろばとの交流・焼いも会など地域の方とのつながり、田川夏まつり（PTA・地域とともに）、ニコワクデー（1年生の子ども・他学年・地域住民・職員が月1回水曜日の放課後に一緒に遊ぶ）	東京	美ヶ原
鎌 田	姉妹学級による交流活動を各学年・学級で実施、地域の縦割り班による集団登校実施、「はげもう」（ドリル学習等）と「よもう」（読書）を朝実施、運動時間の確保と基礎的な体力向上を目指したランラン（マラソン）や縄跳び検定等の実施、毎月「2」のつく日は「あいさつーの日」として挨拶向上の取組を実施、読書ボランティアによる読み聞かせ、地域講師による鎌田お宝探検活動やクラブ活動の実施、金管バンド部・合唱部・陸上部の活動	東京	高遠
清 水	「せせらぎ（学校ビオトープ）」を中心とした総合的な学習の時間や観察会・栽培活動の実施、全校縄跳びやマラソンなどによる体力づくり、読書ボランティアによる読み聞かせ、金管バンド部の活動	東京	美ヶ原
島 内	静の時間（清掃開始前）、PTA親子作業（6年生参加）、朝の島内タイム（授業カウント）、読書ボランティアによる読み聞かせ、島内っ子応援団地域ボランティア運営委員会（学習、読み聞かせ、生活、安全、環境）による学校支援の充実、お年寄りとの交流体験、幼稚園・保育園との交流、金管部・合唱部（通年）・陸上部（大会前）の活動	東京	美ヶ原
中 山	中山っ子（生活、総合）の時間（地域を知る・地域に働きかける・地域に発信する、中山っ子フェス）、アルミ缶集め、縦割り班活動（ニコニコタイムで班毎に計画・ニコニコミーティングにて実行する遊び、地域や文化を知る連学年遠足、薬草採り、集会等）、手づくり教室（地域の方としめ縄作りや縄ない）、児童が主体的に行うクラブ活動（地域の方の見守り）（4講座）、地域の方による読み聞かせ	東京	南知多 名古屋

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
島立	米作り・「島立キュウリ」の栽培体験を含めた学習、福祉ひろばとの交流、地域の伝統行事の学習、島立っ子応援団の方々によるボランティア事業による広がる学習、進める学習（読み聞かせ、放課後学習教室、栽培活動、キャリア教育等）、児童会主催の「光子祭」、毎朝帯の時間で「島立体操」、週1回の「島リンピック」（持久走・なわとび・一輪車・竹馬など）	東京	美ヶ原
芝沢	児童会「児童会祭り（たてわり活動）」、地域の方から学ぶ学習（米作り、茶道、書道絵画、読み聞かせ等）、公民館見学、松本大学との交流、保育園との交流、老人施設との交流、窪田空穂記念館見学・文化財の清掃活動、PTAで維持管理する芝生の上での体力作り・運動会、重点目標に迫る各種強化週間	東京	美ヶ原
菅野	姉妹学級での読み聞かせや遊び・交流清掃、児童会オリエンテーリング、元氣すがのっ子縄跳び（通年）、信州スカイパークでの秋探し、同好会「おはなしすがの」による読み聞かせ（通年）、家庭読書の日（毎週水曜日）、地域の田んぼや畑での農業体験、学校応援団（学校支援ボランティア）の方との活動	東京	美ヶ原
芳川	芳川の「人・こと・もの」との出あい・ふれあい・高めあいを通して心身共に健やかな子どもの育成を願っている。その願いを受けて食と農業の大切さや伝統産業を学ぶスクールファームの活動として、3年が加工用トマト、4年がハウキキビ、5年が米を、スクールファーム支援会の方々の指導を受けながら栽培、収穫している。4年は収穫したハウキキビで野溝地区の伝統である箒を製作している。	東京	美ヶ原
寿	地域の方々から「子どもは寿の宝」として生活科や総合的な学習の時間等の教育活動で多くのご支援をいただいている。田川学習、30aの菜園での栽培活動、とうふ作り（2年）、米作り（5年）、近隣の幼稚園・保育園との交流活動、寿財産区きずなの森での里山体験学習、福祉施設訪問、福祉ひろばとの交流、クラブ活動（4～6年、地域の方を講師に招く）、保護者・地域ボランティアによる定期的な読み聞かせ	東京	名古屋 岡崎
岡田	全校での協働交流集会「岡田タイム」、「みどりの少年団」の活動を通して学ぶ環境教育、姉妹学年での交流活動、児童会がすすめる1ヶ月に1度の児童会イベント、学年での栽培活動（1年サツマイモ、2年ポップコーン、サツマイモ、3年ジャガイモ、4年松本一本ねぎ、5年米づくり、サツマイモ、トマト）、「お話の会」による定期的な読み聞かせ、2年味噌づくりと地域の豆腐屋さん見学、2、3年地域探検、6年長野県の歴史探訪学習	東京	美ヶ原
山辺	「やまべっ子応援団」による生活科や総合的な学習の時間等の教育活動 薄川で遊ぶ・学ぶ（全学年）、わくわくクラブ活動（4～6年、地域の方を講師に招く）、山辺特産ぶどう栽培（6年、地元JAの方を講師に招いて食用ぶどうを栽培、姉妹学級の1年生と収穫）、米作り（5年、地域の方を講師に招いて栽培・収穫、お礼の収穫祭）、伝統の持久走大会（薄川に沿ってコースを走る）、PTAボランティア「ぶどうの森」による読み聞かせ	東京	美ヶ原
今井	全学年による松本養護学校との交流活動・福祉ひろばとの交流、今井四郎兼平に因んだ遠足や「兼平太鼓」の演奏、今井小学校学習公園での自然体験学習、道の駅「今井恵みの里」体験農場での5年米づくりと3年リンゴ栽培、中庭リンク（PTA作業で作成）での1・2・3年スケート学習	東京	美ヶ原

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
開 明	地域・学校の素材を生かした教育活動（大豆栽培と味噌作り体験（2年）、松本一本ねぎ栽培（4年）等の栽培活動・開明自然の森に関わる活動）、子どもたちの「やりたい」を実現する6年生プロジェクト活動、本の読み聞かせ（森のお話会）の実施、大縄跳びや校内のコースを活用したマラソンへの取り組みによる体力づくり	東京	美ヶ原
明 善	牛伏寺川自然体験、米作り・野菜作りを通した食育・体験学習、昼の一斉読書とボランティアによる読み聞かせ活動、松本ろう学校・寿台養護学校との交流活動、近隣の幼稚園・保育園との交流活動、地域講師を招いての昔の遊び等の学習、寿財産区きずな森での里山学習	東京	美ヶ原
本 郷	本郷の時間（生活科・総合的な学習の時間）、生活科遠足、福祉交流、温泉体験学習、持久走大会、女鳥羽川自然観察、野菜作り（松本一本ねぎ、さつまいもなど）、大豆栽培と味噌作り、雅楽演奏会、竹ランタンづくり、花づくり、ウサギの飼育、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、いいあいさつの日の実施、全校マラソン記録会、地域めぐり学習	東京	美ヶ原
二 子	連学年による活動（1・2年校歌を伝える会、2・3年うさぎの飼育、3・4年太鼓の引き継ぎ会、5・6年児童会活動の引き継ぎ会）、栽培活動（全学年）、市環境教育支援事業を活用した取組、全校による諏訪湖マラソン、児童会による各種週間活動・児童会まつり、「お話あ・ん・と」の皆さんによる読み聞かせ、地域講師を招いてのクラブ活動	東京	美ヶ原
並 柳	校内の畑での野菜作り（1～4年）、松本一本ねぎ栽培（4年）、大豆栽培と味噌作り体験（2年）、児童会主催「並柳祭」、スクールバンド・陸上クラブの活動、PTAによるボランティア読み聞かせ（おはなしなみなみ）、地域ボランティア（給食・あいさつ運動・行事引率・託児・読み聞かせなど）、地域講師を招いてのクラブ活動	東京	美ヶ原
四 賀	校地内の畑で栽培活動（1～6年）、地域の方と米づくり体験学習（3・5年）、福祉ひろば交流（3年）、小菊・大菊栽培（6年）、保育園交流（1・4・5年）、豆腐づくり体験（2年）、味噌づくり体験（2年）、地域でピザづくり体験（2年）小中全校交流、ISNとの交流、連学年遠足、全校道徳、全校縦割り活動、タイムトライアル大会、夢おはなしの会の皆さんによる読み聞かせ、全校そり・スキー教室	東京	南知多 日間賀島
安 曇	小中合同で行う運動会・音楽会・安曇タイム・走る会・安曇駅伝、ウェストン祭碑前祭参加（献花と合唱）（4～6年）、上高地学習（1～6年）、スキー教室（全校）、稲核菜栽培、養蚕体験（3年）、3校交流学习（各学年）、保育園交流（1、2年）、上高地合同学習会（全校）	東京 （3校 合同）	乗鞍ベース （3校 合同）
大野川	自然保護活動、わらびとり遠足、地域ゴミ拾い、乗鞍大野川町会合同運動会、鷹の渡り観察会、中学校文化祭「乗峰祭」・音楽会への参加、乗鞍散策、スキー教室、乗鞍まつり、信濃学園分室との交流、東京大学学生によるサマースクール、大学生の授業研究など受け入れ、アルプホルンの演奏、和太鼓の演奏、アルペンスキー大会クロスカントリースキー大会、小中合同入学式卒業式、3校交流会		
奈 川	わらび採り、ふるさと学習、地域清掃、音楽会（小中合同）、スキー学習（3回）、運動会（小中・地域合同）、ゴマシジミ観察会、ワシ・タカの渡り観察、とうもろこし栽培・販売、異年齢ホームルーム、様々な形での継続的な3校の交流学习・活動		

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
梓川	味噌づくり(2年)、りんご栽培(3年)、リバーアドベンチャー(4年)、ラフトピクニック(4年)、スノーアドベンチャー(4年)、米作り(5年)、松香寮での飯盒炊さん(5年)、メディアリテラシー講話(3～6年)、薬物乱用防止教室(6年)、梓川映画まつり(全校)	東京	梓川 (梓水苑)
波田	さつまいも栽培(1年)、大豆栽培と豆腐づくり(2年)、水の学習と上高地源流見学(3年)、信濃の国探訪(4年)、米作り(5年)、地域貢献活動(6年) スケート教室(2年)、スキー教室(4・6年)、ペア学級交流活動、信濃学園分室との交流、ボランティアの「読み聞かせ」、学びの改革リーディング校、波田アスリート(なわとび、マラソン、おにごっこなどの運動チャレンジ)、松を守る活動(松のこも巻き、松葉掃き)、体育参観、音楽参観、河川学習	東京	乗鞍

(2) 中学校

学校名	特色ある学校行事	学年行事		
		3年	2年	1年
清水	清流(総合的な学習の時間)における地域公民館との連携、松本県ヶ丘高校との学びの連携・信州大学学生による学習支援など中高大連携学習、全校奉仕活動(女鳥羽川清掃含む)、「無言・膝つき・二度がけ」の磨きあげる清掃、立志式(2年)、校歌発表会、市民芸術館での音楽祭、消防団との合同防災訓練	京都 奈良		上高地 飛騨高山
鎌田	アルミ缶回収、ペットボトルキャップ回収(通年)、職場体験学習、体験学習、KMDタイム(総合的な学習)での学年による探究活動、しらかばの日①(体育祭)、しらかばの日②(音楽会)、しらかばの日③(KMDタイム発表会)	京都 奈良	鷹山 ファミリー牧場	白馬
丸ノ内	学芸発表会、探究的な学習を軸にした学年講座別の総合的な学習の時間、丸中Jr.学会、生徒が共通の話題について意見を交換する丸中Meetイング、ペットボトルキャップ回収、クラスマッチ、通年縦割り清掃、環境整備作業、松本城城西花壇花植え	奈良 京都	飛騨高山	上高地
旭町	松本盲学校・桐分校との交流活動、三つの伝統「挨拶・歌声・清掃」の発展・伸長のために挨拶運動・学年の時間・縦割り清掃への取り組み、地域学習・東北信旅行・修学旅行と関連づけた平和学習、アルミ缶やペットボトルキャップ回収、ごみ拾い登校などのボランティア活動、3年間を見通した進路学習、職場体験学習	広島 京都 奈良	東北信旅行	上高地
松島	音楽文化ホールでの音楽会、PTA作業(1年)、つくも草コミュニティスクール運営委員・民生児童委員と中学生の語る会、地域づくりセンターと連携した防災学習、地区文化祭やお祭りへの参加、アルミ缶・ペットボトルキャップ収集(Tボラ)	奈良 京都	安曇野集 団作り学 習	高遠宿泊 学習
高綱	学校花壇(サルビア園)づくり、職業体験講座・職場体験学習(2年)、地域との交流活動・貢献活動、地区の防災訓練への参加、高綱中生と語る会(生徒と地域の方の討論会)、松本大学との連携事業	京都 奈良		市内
菅野	りんご摘果体験(2年)、職場体験学習(2年)、縦割り清掃(各学期に設定)、小運動会、全校企画、福祉施設訪問、保育実習、牛乳パック・エコキャップ収集、読み聞かせ(朝読書)、地区文化祭への参加(合唱部、吹奏楽部)、公民館行事への協力(部活動、生徒会)	奈良 京都	飛騨高山	

学校名	特色ある学校行事	学年行事		
		3年	2年	1年
筑摩野	コミュニティスクールふたむら（地域の方との活動）、ちくわの会（保護者・地域の支援者による読み聞かせ）、学舎ちくまの（地域講師による放課後学習支援）、特別支援学級畑づくり（地域の方による作物づくり支援）、筑輪祭（体育祭）筑中りんどう会（環境整備作業、制服リサイクル活動、オータムコンサート）	京都 奈良	戸狩宿泊学習	鷹山ファミリー牧場体験学習
山 辺	講師招聘山辺ドリーム大学（16学科に分かれ、講師と生徒・PTAが共に学ぶ講座型をやめ、学年毎の探究学習へ）、ぶどう栽培体験学、職場体験学習、学校花壇作り、アルミ缶・牛乳パック回収、朝読書での地域ボランティア読み聞かせ、3年朝学習に地域講師招聘	京都 奈良	飛騨高山を 本年度より とりやめ	乗鞍岳 上高地
開 成	1年生：長野県の自然を学ぶ乗鞍登山、2年生：地域の職場で実施する職場体験学習、3年生：地域をテーマとしたテーマ別探究学習）、全校：ボランティアの方による読み聞かせなど地域の方々とのかかわる学習	京都 奈良		乗鞍岳 飛騨高山
信 明	「おらがしんめい」運営委員会、地域出前講座、親子綱引き大会、歌声づくり、地域一斉清掃、こもれびの会（地域住民による読み聞かせ）、地域企業への職場体験	京都 奈良		高遠
会 田	「持続可能な四賀に」をテーマに縦割りで活動するパノラマタイム（総合的な学習の時間）、里山体験学習（学有林にかかわる活動）、デイサービスセンターとの交流、地域行事への参画・参加（四賀夏まつり・四賀コンサート等）	京都 奈良		乗鞍岳
安 曇	運動会・音楽会・安曇祭・走る会・安曇駅伝（以上、小中合同）、ウェストン山行およびウェストン祭参加、松崎町訪問・受け入れ、スキー教室、3校交流会、ごみ出しボランティア、上高地合同学習会、上高地での職場体験学習	京都 奈良	飛騨高山 （1～3年） （3校合同）	
大野川	スイスグリンデルワルト村との交流、自然保護活動、わらび採り、3校交流遠足・松崎町訪問交流（隔年実施）、運動会（小・中学校・地域合同）、卒業生の生き方に学ぶ会（キャリア講演会）、音楽会（小・中学校合同）、スキー教室（2回）、大阪教育大附属天王寺中学校との交流、小中合同入学式卒業式、3校交流	飛騨 高山 （3校 合同）		
奈 川	わらび採り、ふるさと学習、地域清掃、音楽会（小中合同）、スキー学習（2回）、運動会（小中・地域合同）、異年齢ホームルーム、様々な形で継続的な3校の交流学習・活動			
梓 川	りんごの摘果作業、梓荘訪問（各学級とボランティア委員会で奉仕作業や交流活動）、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収、学校花壇づくり、全校トイレ縦割り清掃	京都 奈良	平和学習旅行 （県内）	白馬
波 田	町キレ・あいさつ運動、谷浜水難慰霊式（7月）、HATAキャリア（企業説明会）、波田小・梓川高校との交流、ペットボトルキャップ回収	京都 奈良		松本市街
鉢 盛	自転車通学生徒9割以上のため地域の方を講師に招いて行う交通安全教室、りんごの摘果作業、地域との連携を大切にした総合的な学習の時間（1年「ネイチャーワーク」、2年「キャリアアップチャレンジ」、金融教育、3年「講座別学習」）、3市村合同防災訓練、「いじめ追放宣言」に基づくいじめ追放集会		京都 奈良	飛騨高山

(3) 幼稚園

園 名	特 別 活 動
松 本	園外保育（自然に触れ社会体験をする）、栽培活動（野菜・草花・イネ等）、染物体験、お茶会（挨拶や感謝の心を学ぶ会、年5回）、絵手紙教室、親子遠足（年1回）、誕生会、夏まつり、園まつり（学習発表会・音楽会）、サッカー教室、野球教室（あそボール）、運動会、季節の行事（七夕会、おたのしみ会、もちつき会、お別れ会等）、情操教育（観劇・音楽鑑賞・伝統の遊び）、近隣の小・中との交流、たんぼぼ広場（未就園児）、保育参加（保護者による絵本の読み聞かせ・保育体験）
本 郷	園外保育（自然に触れ社会体験をする）・野菜、花の栽培活動・調理体験・染物体験・サッカー教室・お茶会・親子遠足・誕生会・運動会・保護者のサークル活動によるお話の会・ひよこ教室（未就園児）・季節の行事（夏まつり、園まつり、お楽しみ会、鏡餅づくり、豆まき会等）・小動物の飼育・保育参加（絵本の読み聞かせ、保育体験）・情操教育（観劇、音楽鑑賞、独楽遊び）・小学校、近隣の幼稚園、保育園との交流・地域との交流活動（遊ぼーる野球教室、親子座禅教室、親子相撲教室、紙芝居の読み聞かせ、温泉体験）・運動教室
本郷南	園外保育、花・野菜の栽培、小動物飼育、収穫物の調理体験（自然に触れる・社会体験をする）、お茶会、遊ボール野球教室、サッカー教室（地域の教育力を借りて）、風の子広場（未就園児）、近隣の保育園児・小学生・福祉施設との交流（地域との交流活動）、季節の行事（七夕会、夏祭り、運動会、親子遠足、お楽しみ会、豆まき会、もちつき会、お別れ会、誕生会）、保育参加（絵本の読み聞かせ、保育体験）、情操教育（音楽鑑賞、観劇会、伝承遊び、母親コーラスコンサート）、保護者による『はじめてのおかいもの体験』

7 各校の研究テーマ

(1) 小学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
開 智	共に学び合う子どもと教師 ～わくわくする授業をつくる～
源 池	子どもが主体となり、学びを広げ深めていくことができる授業の創造
筑 摩	子どもたちの主体性を育てる授業づくり
旭 町	問い・願い・課題を大切に、対話とトライ＆エラーを重ねながら、学びとくらしをデザインする 子どもと教師 ～プロジェクト活動・授業づくり・学級学年づくりを通して～
田 川	自己肯定感のもてる子の育成 願う姿：考えをもち、探究し、表現する子ども
鎌 田	子どもたちが主体的に考え、つながり合う授業の創造 ～自ら学ぶ力を育む授業づくり～
清 水	感じ、考え、響きあい、ひとりだちに向かう子ども ～みんなで学ぼう みんなが楽しい授業作り～
島 内	自ら考え、共に認め合いながら、学びを深める子ども
中 山	自ら願いをもち、「人」「もの」「こと」との関わりを深め、主体的・対話的に学ぶ子ども ～自ら探究的に学ぶ子どもを育む授業のあり方～
島 立	自ら学び、共に学び合いながら、わかる喜びを実感できる子どもの育成
芝 沢	自分の考えを表現し、学び合う子どもの育成
菅 野	「わたしの“楽しい”をとことん追求する子ども」を育む授業
芳 川	自分の願いをもち、友とかかわりながら 学びを深める子ども
寿	願いや思いをもって「さあ、やってみよう」と自ら動き出す子ども ～子どもに委ねる授業づくりを通して～
岡 田	一人一人のやる気が生まれる支援や授業のありかた
山 辺	「自己課題をもとに、よりよい授業を目指して」 ～子どもの姿を通して語り合える職員集団～
今 井	自ら課題を持ち、豊かに表現する今井の子
開 明	「学び」を楽しむ子どもと教師
明 善	主体的に学び合う子ども
本 郷	「知りたい」「こうしたい」から人とかかわりながら、自らの力で学びを深めていく子
二 子	どの子も主体的に学びに向かい、最後まで追究する子どもの育成
並 柳	「やってみたい！」を大切に 共にチャレンジしよう！ ～探究的な学びを通して、自分を表現する子ども～
四 賀	子どもたちが問いや願いをもって、意欲的に追究する授業
安 曇	児童生徒が自ら問いを持ち、主体的・対話的に解決する授業の創造
大野川	生活科・総合的な学習の時間を中心に、探究的な学びの道すじを創りながら学ぶ児童生徒と、伴走する教師のあり方
奈 川	奈川だからこそできる 豊かな学び
梓 川	その子がその子らしく学ぶ探究的な授業の実現 ～核となる単元・題材を軸にして～
波 田	つながり合い、学び合いながら、自分の言葉や自分の方法で表す子 ～挑戦、修正、そして再挑戦～

(2) 中学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
清 水	子どもの自己決定を促す授業づくり
鎌 田	「KMD（探究）を教科に、教科を探究に」 ～学びのデザイン、評価、UD化、KMD、STEAM 教育から、「生徒の主体的な学び」を支える～
丸ノ内	予測困難な未来を生きる力を拓く ～問題解決的な学習が発展的にくり返されていく授業を通して～
旭 町	生徒が“創れる”学校を支える教師 ～生徒が主体性を育む環境づくりや条件設定に焦点を当てて～
松 島	生徒一人一人が自ら学び、対話を通して学びを深める授業のために
高 綱	生徒が自らの資質・能力を高めようとする意欲と実践力を高める教師の役割とは
菅 野	協働し主体的に学び続ける生徒の育成 ～対話を大切にした探究的な学びの創造～
筑摩野	対話を基盤とした協働の学びを通して、自己調整学習力を高め、「深く考え 遅しく生きる」生徒を育成する
山 辺	知識・技能の確かな習得につながる「わかる・できる授業」の探究 ～生徒が主体的に学ぶために～
開 成	生徒が自らの学びをデザインする学校づくり
女鳥羽	ほんとうに自由に学べる教室 ～相互承認と受容の中で私の学びを実感できる学習指導と支援～
明 善	主体的に学び共に育つ喜びがあふれる学校 ～わかる・できる・かかわる喜びが実感できる指導のあり方～
信 明	生徒同士が支えあいながら、基礎基本が「わかる・できる・活かせる・学びたくなる」授業の創造
会 田	自らに問い 共に考え 決めて 動く 生徒の育成
安 曇	児童生徒が自ら問いを持ち、主体的・対話的に解決する授業の創造
大野川	生活科・総合的な学習の時間を中心に、探究的な学びの道すじを創りながら学ぶ児童生徒と、伴走する教師のあり方
奈 川	奈川だからこそできる 豊かな学び
梓 川	主体的な学びを引き出す授業づくり ～学びの「あずきっ子サイクル」～
波 田	「やってみる」から生まれる、生徒とともに学ぶ授業づくり
鉢 盛	自らを表現できる授業づくり ～子どもを真ん中に置いた授業に向けて～

(3) 幼稚園

学校名	研究の基本方針（研究テーマ）
松 本	“わくわく”・“どきどき”・“もっと…” を支える保育
本 郷	「やってみたい」「なぜだろう」「もっとやりたい」を支えるために
本郷南	「夢中で遊ぶ姿 『やってみたいな』 を支えて」

8 中学校卒業者の進路状況（令和6年度）

校名	卒業者			進学者			就職者			就職・進学者			家居			左記以外		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,921	1,001	920	1,901	989	912	1	1	0	2	2	0	15	7	8	2	2	0
清水中	113	62	51	112	61	51	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
鎌田中	172	92	80	172	92	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丸ノ内中	88	57	31	87	56	31	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
旭町中	101	53	48	100	53	47	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
松島中	153	75	78	153	75	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高綱中	85	47	38	82	46	36	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
菅野中	134	70	64	131	68	63	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0
筑摩野中	213	111	102	210	109	101	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0
山辺中	101	51	50	101	51	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開成中	118	57	61	116	56	60	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
女鳥羽中	121	58	63	119	56	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
明善中	63	32	31	62	31	31	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
信明中	109	52	57	108	52	56	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
会田中	19	12	7	19	12	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安曇中	6	5	1	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大野川中	5	1	4	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈川中	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梓川中	162	83	79	161	82	79	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
波田中	155	81	74	154	81	73	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
鉢盛中	121	64	57	118	62	56	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0

※ 総数に鉢盛中学校は含まない

9 学校保健

(1) 児童生徒の体位（令和5年度）

区分	身長（cm）				体重（kg）			
	男		女		男		女	
	市	県	市	県	市	県	市	県
小1	116.8	116.8	115.9	115.8	21.4	21.5	20.8	21.0
小2	122.7	122.7	121.7	121.8	24.4	24.3	23.5	23.6
小3	127.6	128.3	127.5	127.5	27.0	27.6	26.8	26.8
小4	133.6	133.7	133.6	133.8	30.9	31.3	30.2	30.4
小5	139.2	139.4	140.6	140.7	34.6	35.1	34.5	34.7
小6	145.6	145.8	147.5	147.4	39.2	39.6	39.9	39.7
中1	153.7	153.6	152.0	152.0	44.6	45.4	43.9	44.3
中2	161.2	160.7	154.5	154.8	50.3	50.5	47.4	47.5
中3	166.0	165.5	156.2	156.3	54.6	54.6	49.5	49.7

※ 市は松本市、県は長野県の平均

(2) 長期欠席児童生徒数（30日以上欠席）

項 目	区 分	R2		R3		R4		R5		R6	
不 登 校	小学校	221	1.8%	224	1.9%	308	2.6%	378	3.3%	381	3.4%
	中学校	236	4.0%	304	5.2%	372	6.3%	371	6.5%	369	6.5%
病 気	小学校	28	0.2%	41	0.3%	62	0.5%	53	0.5%	49	0.4%
	中学校	71	1.2%	99	1.7%	116	2.0%	104	1.8%	91	1.6%
そ の 他 (経済的理由等)	小学校	50	0.4%	76	0.6%	114	1.0%	36	0.3%	32	0.3%
	中学校	10	0.2%	34	0.6%	41	0.7%	25	0.4%	12	0.2%
合 計	小学校	299	2.5%	341	2.9%	484	4.1%	467	4.0%	462	4.1%
	中学校	317	5.4%	437	7.4%	529	9.0%	500	8.8%	472	8.4%

※ %欄は、全児童生徒数に占める割合を小数点以下2桁で四捨五入したもの

(3) 不就学児童生徒数（令和6年度）

	就学免除	就学猶予
小学校	0	0
中学校	0	1

10 特別支援教育（令和7年5月1日）

校別		知的障害	情緒障害	難聴	肢体 不自由	病虚弱	信大院内 学級
小学校	学校数	25	26	1	1	0	1
	学級数	48	87	1	1	0	1
	児童数	276	613	2	1	0	1
中学校	学校数	16 (1)	17 (1)	1	1	0	1
	学級数	24 (3)	44 (3)	1	1	0	1
	生徒数	144 (19)	269 (16)	1	1	0	2
計	学校数	41 (1)	43 (1)	2	1	0	2
	学級数	72 (3)	131 (2)	2	1	0	2
	児童 生徒数	420 (19)	882 (9)	3	2	0	3

(注) () 内は鉢盛中学校

1 1 学 校 施 設

(1) 校地校舎保有面積（令和7年5月1日）

区 分	学 校 名	一 般 校 舎					屋 内 運 動 場				
		R	S	W	計	一人 面 積	R	S	W	計	一人 面 積
小 学 校	小学校計	141,911	5,089	166	147,166	13.46	2,710	24,468	1,050	28,228	2.58
	開智	5,858	32		5,890	10.89			1,050	1,050	1.94
	源池	4,355			4,355	19.53		1,010		1,010	4.53
	筑摩	5,634	10		5,644	15.21		1,010		1,010	2.72
	旭町	6,430			6,430	18.97		1,017		1,017	3
	田川	6,324			6,324	23.86	133	895		1,028	3.88
	鎌田	6,686	250		6,936	8.47		1,060		1,060	1.29
	清島	5,888	110		5,998	10.13		1,009		1,009	1.7
	島内	6,802	259		7,061	9.82		1,066		1,066	1.48
	中山	3,442			3,442	33.75		1,010		1,010	9.9
	島立	4,397	16		4,413	17.24		1,050		1,050	4.1
	芝沢	4,299	78	53	4,430	11.33		1,058		1,058	2.71
	菅野	6,160	263		6,423	11.76		975		975	1.79
	芳川	7,542	392		7,934	10.48		1,032		1,032	1.36
	寿	6,592	552		7,144	11.67		1,155		1,155	1.89
	岡山	3,839			3,839	10.69		1,010		1,010	2.81
	山辺	6,303	259		6,562	11.89		980		980	1.78
	(美ヶ原)		(201)		(201)			(98)		(98)	
	今井	3,174	225		3,399	20.48		1,010		1,010	6.08
	開明	6,918	17		6,935	12.3		1,008		1,008	1.79
	本善	5,741	984		6,725	17.84		1,096		1,096	2.91
	二郷	4,725	27	40	4,792	14.14		1,050		1,050	3.1
	並子	4,673	56		4,729	25.84		1,064		1,064	5.81
	四柳	4,744	335		5,079	18.4		1,010		1,010	3.66
	安賀	3,009	9		3,018	26.95		1,038		1,038	9.27
	大曇	1,948	18	73	2,039	46.34	463			463	10.52
	野川	2,125			2,125	96.59	258			258	11.73
	奈川	1,536	58		1,594	398.5	0	442		442	110.5
	梓川	6,396	902		7,298	12.54	0	1,413		1,413	2.43
	波田	6,371	237		6,608	8.02	1,856			1,856	2.25
中 学 校	中学校計	94,775	1,682	1,396	97,853	17.71	2,987	18,119		21,106	3.82
	清水	4,923	30	1,153	6,106	16.59		1,220		1,220	3.32
	鎌田	7,218			7,218	15.73		1,073		1,073	2.34
	丸ノ内	5,127	263		5,390	24.5		1,209		1,209	5.5
	旭町	5,679			5,679	18.26		1,300		1,300	4.18
	松島	5,413	51		5,464	11.85		1,220		1,220	2.65
	高綱	4,647	268		4,915	15.8		1,010		1,010	3.25
	菅野	5,872	164		6,036	14.76		1,660		1,660	4.06
	筑摩	7,395			7,395	11.09		1,498		1,498	2.25
	山辺	4,512	104		4,616	15.7		1,010		1,010	3.44
	開成	5,779	244	0	6,023	20.42		1,220		1,220	4.14
	女羽	5,290	68		5,358	16.69		1,010		1,010	3.15
	明善	4,884	237		5,121	23.07		1,010		1,010	4.55
	信明	5,366	84		5,450	20.96		1,010		1,010	3.88
	会田	4,459			4,459	73.1		1,296		1,296	21.25
	安曇	1,142			1,142	67.18	383			383	22.53
	大野	2,976	28		3,004	429.14	13	985		998	142.57
幼 稚 園	奈川	1,282	10		1,292	184.57		388		388	55.43
	梓川	6,049		243	6,292	14.87	1,219			1,219	2.88
	波田	6,762	131		6,893	16.73	1,372			1,372	3.33
	鉢盛	6,786	124		6,910	17.49	133	1,553		1,686	4.27
	幼稚園計	1,182	1,211	5	2,398	20.32					
	松本	701	328	5	1,034	22.98					
	本郷	481	195		676	18.78					

凡例：(R) 鉄筋コンクリート (S) 鉄筋その他造 (W) 木造

(注) 1 本表は公立学校施設台帳作成提要に基づき作成

(注) 2 美ヶ原分校の面積は総計に含まない

単位：㎡

校 地						学 校 名
校 舎 敷 地	屋 外 運 動 場	実 習 の 地 他	総 面 積	借 用 地	一 人 当 り 面 積	
345,478	311,689	25,524	682,691	2,805	63	小学校計
12,336	10,599		22,935		42	開智
9,458	9,061	91	18,610		83	源池
9,856	14,623	819	25,298		68	筑摩
10,480	6,399	0	16,879		50	旭町
8,395	6,435		14,830		56	田川
12,461	4,916		17,377		21	鎌田
7,876	8,624	0	16,500		28	清田
14,878	9,717		24,595		34	島内
7,520	11,064	198	18,782	2,478	208	中山
11,584	12,797	329	24,710		97	島立
13,071	18,689	1,152	32,912		84	芝沢
15,864	15,024	0	30,888		57	菅野
18,559	13,920		32,479		43	芳川
12,772	11,396	1,135	25,303		41	寿
11,831	8,617		20,448		57	岡田
15,492	12,872	2,899	31,263		57	山辺
(1,319)	(1,630)		(2,949)			(美ヶ原)
10,263	14,360	5,654	30,277		182	今井
16,965	10,868	0	27,833		49	開明
17,142	17,448		34,590		92	明善
8,911	11,210	685	20,806		61	本郷
10,102	15,920		26,022		142	二子
9,487	14,161	1,360	25,008		91	並柳
11,040	8,197		19,237		172	四賀
2,956	8,896	636	12,488		284	安曇
12,078		1,625	13,703		623	大野川
5,300	10,176	3,318	18,794	327	4,780	奈川
22,452	14,973	1,814	39,239	0	67	梓川
26,349	10,727	3,809	40,885		50	波田
220,242	253,234	51,009	524,485	7,719	96	中学校計
14,694	11,099	200	25,993		71	清水
11,387	13,294		24,681		54	鎌田
12,048	12,040	233	24,321		111	丸ノ内
20,155	23,058		43,213		139	旭町
10,950	13,259	821	25,030	2,378	59	松島
12,902	16,448		29,350		94	高綱
14,595	17,470	1,230	33,295	0	81	菅野
13,240	25,583		38,823	4,971	66	筑摩
11,479	13,489	196	25,164		86	山辺
10,407	19,385	12,503	42,295		143	開成
10,147	10,207	248	20,602		64	女鳥
17,487	12,190		29,677		134	明善
11,462	14,411	1,570	27,443		106	信明
9,365	15,440	26,395	51,200		839	会田
4,155		636	4,791		282	安曇
8,161	8,088	1,131	17,380		2,483	大野川
4,700	1,300	1,380	7,380	370	1,107	奈川
13,202	14,877		28,079		66	梓川
9,706	11,596	4,466	25,768		63	波田
24,482	20,191	4,200	48,873		124	鉢盛
3,849	2,395	0	6,244	2,509	74	幼稚園計
2,719	1,052		3,771		84	松本
1,130	1,343	0	2,473		69	本郷
				2,509	68	本郷南

(2) 教室及びその他の室数（令和7年5月1日）

区分	学校名	普通教室	教室											多目的	校長室	事務員室
			理科	音楽	図工	技術	家庭	コンピュータ	視聴覚	図書	生活科	特別活動	教育相談			
小学校	小学校計	515	42	45	25	0	34	9	23	29	9	81	28	25	27	34
	開智	24	2	2	1		2	0	1	1		2	1	3	1	1
	源池	14	1	1	1		1	1	1	1		5	1	3	1	1
	筑摩	16	2	2	1		1	1	1	1	1	3	1	1	1	1
	旭町	19	2	2	1		1	0	1	1		3	1	1	1	1
	田川	16	1	2	1		1	0	1	1	1	4	1	5	1	1
	鎌田	33	2	2	1		2	1	1	1	1	4	2	1	1	2
	清島	27	2	2	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1
	中山	28	2	2	1		2	0	1	1	1	6	1	1	1	1
	山立	9	1	1	1		1	0	1	1		4	1	2	1	1
	沢野	13	1	1	1		1	0	1	1	1	2	1	1	1	1
	菅芳	17	2	2	1		1	0	1	2		4	1	2	1	2
	寿川	24	2	2	1		1	0	1	1		5	1	1	1	2
	岡田	30	2	2	1		2	1	1	1	1	4	2	1	1	1
	あさひ	27	2	2	1		2	1	1	1	1	5	1	1	1	1
	山辺	17	1	1	1		1	0		1		1	2	1	1	1
	（美ヶ原）	23	2	2	1		1	0	1	1	1	3	1	1	1	1
	井原	1	1	1	1		1	0	1	1		1	1	1	1	1
	今開	8	2	2	1		2	0	1	1	1	4	2	1	1	2
	明善	17	2	2	1		1	1	1	2		4	1	1	1	1
	本郷	16	2	2	1		1	1	1	1		3	1	1	1	1
	二子	11	1	1	1		2	0	1	1		5	1	1	1	1
	並柳	15	2	1	1		1	1	1	1		3	1	1	1	1
	四賀	8	1	1	1		1	0	1	1		2	1	1	1	2
	安曇	6	1	1	1				1	1			1	1		
	大野	4		1	1					1		1		1		2
	奈川	2		1				1				2		x	1	1
	梓川	26	2	2	1		1	0		1		1	1	2	1	2
	波田	35	2	2			2	0		1		1	1	1	1	1
区分	学校名	普通教室	教室											多目的	校長室	事務員室
			理科	音楽	美術	技術	家庭	タコンピュ	視聴覚	図書	外国語	特別活動	教育相談			
中学校	中学校計	247	37	26	20	32	39	15	13	18	0	39	38	14	18	23
	清鎌	17	2	2	1	2	2	0		1		3	3		1	1
	丸ノ内	19	2	2	1	2	2	0		1		8	3		1	2
	旭分	10	2	1	1	1	2	0	1	1		2	2		1	1
	桐校	14	2	2	1	1	2	0	1	1		3	1	0	1	1
	松島	1						(1)		(1)					##	
	高綱	17	2	2	1	2	2	1	1	1		2	2		1	1
	菅野	13	2	1	1	1	2	1	1	1		1	2		1	1
	摩野	17	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2		1	1
	筑野	24	3	2	2	2	2	1	1	1		2	4	1	1	1
	山辺	13	2	1	1	2	2	1	1	1		1	1	0	1	1
	成羽	12	2	1	1	2	2	0	1	1		5	2	3	1	1
	女あ	16	2	2	1	2	2	1		1		2	1	1	1	1
	明善	2	1	1			1	1	1	1		1	1	1		
	信田	11	2	2	1	2	2	1	1	1		2	2	6	1	1
	会雲	13	2	2	1	2	2	1	1	1		3	2	1	1	2
	安大	5	1	1	1	1	1	1		1		1	2			
	奈川	3				1	2	1					1	1	2	
	梓川	2	2	1	1	1	2	1	1	1		1	1		1	
	波田	18	2	1	2	2	2	1	1	1			2		1	2
	松原	16	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2		1	2
	鉢盛	2	1	1	1	1	2	1	1	1		1	2		1	1
幼稚園	幼稚園計	17	2	2	2	2	2	1	1	1		3	4	1	1	2
	松本郷	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	本郷	7												1		1
	本郷	4												1		1
	本郷	4												1		1

(注) 1 中学校計には旭町中学校桐分校、鉢盛中学校は含まない

(注) 2 更衣室、便所及びコンテナ室は室数に含めない

(注) 3 幼稚園の多目的は遊戯室を示す

(注) 4 安曇・大野川・奈川の小中併設校では共用している室がある

応 会	保	放	教	資 準	学	そ	計	学
接 議	健	送	材	料 備	習	の		校
室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	他		名
20	28	28	32	105	53	14	1,206	小 学 校 計
3	1	1	1	5	1		50	開 源 智
	1	1		4	3		40	源 池
	1	1		5	5		47	筑 摩
2	1	1	1	4	4	4	49	旭 町
	1	1	1	4	1		46	田 川
	1	1		5	1		62	田 水
	1	1		3			48	鎌 清
	1	1	2	4	1		57	島 内
1	1	1	1	3	1		31	中 山
2	1	1		4			32	島 立
3	1	1	1	4			38	芝 沢
1	1	1		6			52	菅 野
	1	1		4	1		57	芳 川
1	1	1	3	4	3	3	61	岡 寿
	1		3	4			36	あ さ
	1	1				4	7	山 田
	1		1	4		1	50	あ 山 美ヶ原
	1	1			4		4	今 井
2	1	1	1	4	4	0	29	開 明
1	1	1	1	4	4		58	明 善
	1	1	2	4	7	0	49	本 郷
1	1	1		4	2		42	二 子
	1	1	1	2	4		35	並 柳
	1	1	1	4	6		41	四 賀
	1	1	1	4			26	安 曇
	1	1	2	2	2		19	大 川
	1	1	1	1	1	1	17	奈 川
1	1	1		1	1		14	梓 川
2	1	1		3	1	1	46	波 田
	1	1	7	4	1	1	63	波 田
応 会	保	放	教	資 準	学	そ	計	学 校 名
接 議	健	送	材	料 備	習	の		
室 議	室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	他		
16	18	17	3	151	22	5	810	中 学 校 計
2	1	1		10	1		50	清 水
1	1	1	1	8		1	56	鎌 田
1	1	1		9	5	0	42	丸 ノ
	1	1		8	3		43	旭 分
					(2)		(6)	桐 島
1	1	1		7	2		46	松 網
1	1	1		9	1	1	42	高 野
1	1	1		9	2		46	菅 摩
1	1	1		7			61	筑 山
1	1	1		12		1	37	開 女
1	1	1		7			50	あ 明
					1		43	信 会
	1	1		7	3		7	安 野
	1	1		8			40	明 善
2	1	1		10	3		48	信 明
1	1			2		0	36	会 田
1		1	1	4			11	安 曇
				4			20	大 川
1	1	1		10			15	奈 川
1	1	1		10	1	1	48	梓 川
1	1		1	1		1	48	波 田
							21	松 原
	1	1		9	2		54	鉢 盛
1	3	0	0	0	0	3	28	幼 稚 園 計
	1					1	11	松 本
	1					1	8	本 郷
1	1					1	9	本 郷

(3) 小・中学校水泳プール設置状況（令和7年5月1日）

区分	学 校 名	設置年月	水 槽 規 格（単位m）		付帯設備・備考 （※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯）
小 学 校	開智小学校	S40.7	0.90 25×15.4×1.10	0.60 14× 6×0.80	更衣室、便所、足洗場 R4より民間施設活用
	源池小学校	H元.11	1.15 25× 13×1.25	0.60 10× 6×0.60	
	筑摩小学校	H25.3	1.00 25× 12×1.20	0.60 10× 10×0.70	
	旭町小学校	S36.7	1.00 25× 10×1.25	0.70 10× 5×0.70	（H4本体改修）（H22本体改修） R7より民間施設活用
	田川小学校	H14.3	1.20 25× 10×1.30	0.70 8× 10×0.80	
	鎌田小学校	H27.6	0.90 25×11.6×1.10	0.60 8× 10×0.70	更衣室、便所、倉庫
	清水小学校	H13.3	1.20 25× 13×1.30	0.70 10×7.5×0.80	
	島内小学校	H2.7	1.20 25× 13×1.30	0.70 13× 7×0.80	更衣室、便所
	中山小学校	H8.1	1.20 25× 13×1.30	0.70 10×7.5×0.80	更衣室、便所
	島立小学校	H4.7	1.20 25× 13×1.30	0.65 15× 5×0.75	更衣室
	菅野小学校	H29.3	0.90 25×13.6×1.10	0.60 12× 10×0.70	更衣室、便所、倉庫
	芝沢小学校	S48.8	1.10 25×11.8×1.20	0.60 10× 8×0.70	（H2本体改修） R6より民間施設活用
	寿 小学校	H24.6	0.90 25×13.6×1.10	0.60 12× 10×0.70	
	岡田小学校	H10.7	1.20 25× 13×1.30	0.70 10×7.5×0.80	便所
	今井小学校	S52.5	1.20 25×13.5×1.25	0.70 13× 9×0.70	（H25設備改修）
	開明小学校	S46.7	0.85 25×11.8×0.95	0.50 8× 10×0.55	（H26本体改修）（H29設備改修）
	芳川小学校	S50.4	1.20 25×13.6×1.30	0.70 13.6× 5×0.80	（H27本体改修）
	山辺小学校	S50.4	1.00 25×13.6×1.15	0.65 15×4.5×0.70	更衣室、便所（H23設備改修）
	本郷小学校	H9.3	1.20 25× 13×1.30	0.70 12.5× 6×0.80	
	明善小学校	S49.7	1.25 25×13.6×1.45	0.50 14× 8×0.55	（H25本体改修）
	二子小学校	S54.7	1.10 25×13.6×1.25	0.60 12× 10×0.70	更衣室、便所 （H29設備改修）
	並柳小学校	S58.7	1.15 25× 13×1.25	0.75 13× 7×0.80	更衣室、便所
	四賀小学校	H25.4	0.90 25× 13×1.20	0.60 10×7.5×0.70	更衣室、便所
	安曇小学校	H9.8	1.10 25×10.6×1.30	0.70 25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターホン、暖房機 器 可動式上屋
	大野川小学校	H8.8	1.10 25×14.3×1.30	0.70 25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターホン、暖房機 器、可動式上屋
	奈川小学校	S60.6	1.00 25× 10×1.20	0.50 10× 6×0.65	更衣室、便所
	梓川小学校	S48.4	0.90 25×12.6×1.20	0.60 12.6×7.5×0.80	更衣室、便所（H24本体改修）
	波田小学校	S60.7	1.00 25× 14×1.20	0.60 20× 13×0.80	更衣室、便所（H24本体改修） （R4設備改修）

区分	学 校 名	設置年月	水 槽 規 格 (単位m)	付帯設備・備考 (※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯)
中 学 校	清水中学校	R元.3	25× 1.10 15×1.30	更衣室、便所、倉庫
	鎌田中学校	H15.3	25× 1.20 15×1.40	更衣室、便所
	丸ノ内中学校	H14.3	25× 1.20 15×1.40	更衣室、便所
	旭町中学校	H12.2	25× 1.20 15×1.40	更衣室、便所
	松島中学校	H9.6	25× 1.20 15×1.40	更衣室
	高綱中学校	H17.3	25× 1.20 15×1.45	更衣室
	菅野中学校	H18.3	25× 1.20 15×1.40	便所
	筑摩野中学校	H30.3	25×1.10 15.0×1.30	更衣室、便所、倉庫
	山辺中学校	S36.8	25×11.8×1.15	更衣室、便所 (H23 本体改修)
	開成中学校	H7.7	25× 1.30 15×1.40	更衣室、便所
	女鳥羽中学校	H3.9	25× 1.10 15×1.40	
	明善中学校	S54.8	25× 1.30 15×1.40	更衣室、便所 (H22 本体改修) (H成28 設備改修)
	信明中学校	S60.7	25× 1.10 15×1.40	更衣室、便所
	会田中学校			
	安曇中学校	H9.8	25×1.10 10.6×1.30 25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	大野川中学校	H8.8	25×1.10 14.3×1.30 25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	奈川中学校	S60.6	25× 1.00 0.50 10×1.20 10× 6×0.65	更衣室、便所
	梓川中学校	S37.7	25× 1.10 15×1.30	洗体槽 (H8 改修) 更衣室、便所
	波田中学校	S61.7	50× 1.00 17×1.20	更衣室、便所 (H28 本体改修) (R2 濾過機更新)
	鉢盛中学校	S42.8	25× 1.10 13×1.20	(S62 本体改修) 更衣室、便所

(注) 安曇小中学校、大野川小中学校、奈川小中学校はそれぞれ小学校と中学校で共用

(4) 柔剣道場設置状況 (中学校)

学校名	設置年月	柔剣道場面積	附帯施設	備 考
高綱中学校	H 5. 3	25m×14m=350 m ²	器具庫	
信明中学校	H 5. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鉢盛中学校	S56. 3	28 ×18 =504	器具庫 更衣室 便所	剣道場
筑摩野中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
明善中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鎌田中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
松島中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
丸ノ内中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
山辺中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
清水中学校	H 8. 12	25 ×14 =350	器具庫	
開成中学校	H10. 3	25 ×14 =350	器具庫	
女鳥羽中学校	H11. 2	25 ×14 =350	器具庫	
旭町中学校	H12. 3	25 ×14 =350	器具庫	
菅野中学校	H16. 3	27 ×18 =486	器具庫 便所	旧南体育館

(5) 松本市美ヶ原少年自然の家

所 在 地	松本市大字入山辺 8 9 6 1 番地 1 3 5 8			電 話	3 1 - 2 0 5 2			
建 築 年 度	平成 8 年 度							
開 設 期 間	4 月 2 5 日 ～ 1 0 月 3 1 日							
施 設 内 容	研修棟 研修室 4 室（和室 3 4 畳） 研修室 1 室（和室 7 . 5 畳） 厨房、浴室、ホール 屋外施設 炊飯棟、屋外食卓、キャンプファイヤー場							
使 用 料	大人（高校生以上）730 円／日 （中学生以下の宿泊・日帰り使用及び大人の日帰り使用は無料）							
利 用 状 況	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	小 人	2, 145	2, 030	－	527	439	1, 587	1, 224
	大 人	491	484	－	96	56	242	178
	合 計	2, 636	2, 514	－	623	495	1, 829	1, 402
	一般利用率	42. 5%	42. 5%	－	37. 5%	8. 6%	19. 0%	13. 0%

(注)1 一般利用率とは、市内小中学校（キャンプ）以外の利用者の割合

(注)2 令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊を原則として不可としました。

1 2 市立外の学校等

(1) 国立小中学校

(令和7年5月1日)

学校名	所在地	校長名	本務 教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
信州大学教育学部 附属松本小学校	桐 1-3-1	牧野 孝裕	18	423	12	37-2216
信州大学教育学部 附属松本中学校	桐 1-3-1	牧野 圭介	23	447	12	37-2212

(2) 県立養護学校等

(令和7年5月1日)

学校名	所在地	校長名	本務 教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
長野県松本盲学校	旭 2-11-66	小林 宏樹	35	24	13	32-1815
長野県松本ろう学校	寿豊丘 820	丸山 妙子	29	20	9	58-3094
長野県松本養護学校	今井 1535	永田 寛尚	157	274	67	59-2234
長野県寿台養護学校	寿豊丘 811-88	中原 直樹	112	159	46	86-0046

(注) 本務教員数は、校長、教頭及び教諭（養護教諭含む）講師（非常勤除く）の合計

(3) 私立小中学校等

(令和7年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
才教学園小学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	25	240	14	58-0311
才教学園中学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	10	99	6	58-0311
松本国際中学校	村井町南 3-6-18	上沼 隆光	10	110	4	88-0047
インターナショナル スクールオブ長野小学部	五常 6387 番地 1	栗林 梨恵	12	63	6	87-8418
松本秀峰中等教育学校	埋橋 2-1-1	Blett Maxwell	38	535	18	31-8311

(注) 教員数は、校長、教頭及び教諭、講師の合計

(4) 幼稚園

(令和7年5月1日)

幼稚園名	設置者別	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
信州大学教育学部 附属幼稚園	国立	桐 1-3-1	牧 野 孝 裕	11	73	4	37-2214
鈴蘭幼稚園	私立	県 1-4-23	古 川 千 尋	14	39	4	36-2094
聖テレジア幼稚園	私立	丸の内 9-32	白 木 信 一	11	57	3	33-8206
松本青い鳥幼稚園	私立	寿豊丘 606 番地 1	中 島 公 子	31	186	11	58-2887
松本いずみ幼稚園	私立	桐 1-4-7	田 所 賢 二	12	41	3	33-2553
計				79	396	25	

資料作成：保育課

(5) 認定こども園

(令和7年5月1日)

幼稚園名	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
幼保連携型 認定こども園深志	深志 2-4-27	海 野 暁 光	39	13	3	35-9187
幼保連携型 ささべ認定こども園	笹部 3-13-25	角 尾 豊 子	35	28	6	25-0150
幼保連携型 認定こども園ふたご	笹賀 4992-1	武 田 典 子	35	16	3	58-2196
幼保連携型 やよい認定こども園	南原 2-11-5	大 久 保 葉 子	35	12	4	27-3377
幼保連携型 認定こども園聖十字幼稚園	開智 1-6-25	石 井 良 信	26	43	6	32-4688
幼保連携型 信学会松本こども園	笹賀 3121	鈴 木 麻 衣 子	31	5	5	58-8028
幼保連携型 信学会やまびこの森こども園	小屋南 1-8-10	高 澤 智 子	40	10	7	58-1229
幼稚園型 認定なぎさこども園	渚 1-1-9	吉 澤 曹 典	5	9	3	25-0632
幼稚園型 認定こども園松本光明幼稚園	女鳥羽 1-9-16	西 片 紀 美 子	20	80	5	33-7763
幼稚園型 認定こども園松本中央幼稚園	蟻ヶ崎 4-4-10	岩 佐 静	18	46	6	36-0737
幼稚園型 認定こども園松本短大幼稚園	寿台 7-4-1	銭 坂 久 紀	25	38	7	58-6563

幼稚園型 認定こども園白百合幼稚園	村井町南 4-6-4	青木 知子	20	46	4	86-1084
幼稚園型 信学会松本南幼稚園	野溝木工 2-6-31	幾嶋 肇	50	235	13	28-4888
幼稚園型 信学会松本神映幼稚園	神林 3682	竹内 成子	26	121	6	26-7850
地方裁量型 松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	波田 10371-3	神澤 真江	11	14	1	070-4082-0852
地方裁量型 認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 南松本キャンパス	南松本 1-22	チョリチ イゴル	12	8	3	87-5971
地方裁量型 認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 島内キャンパス	島内 7779-1	リチーン ベルムデス	10	42	4	88-6562
計			438	766	86	

資料作成：保育課

(注) 園児数は、幼稚園部分の数値

(6) 高等学校

ア 県立

(令和7年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員 数	生徒数			電話 番号
				総数	男	女	
松本深志高等学校	蟻ヶ崎 3-8-1	倉田 慎司	53	928	487	441	32-0003
松本県ヶ丘高等学校	県 2-1-1	腰原 智達	72	973	466	507	32-1142
松本蟻ヶ崎高等学校	蟻ヶ崎 1-1-54	鳥谷越 浩子	45	838	371	467	32-0005
松本工業高等学校	筑摩 4-11-1	野本 裕之	64	514	499	15	25-1184
松本美須ヶ丘高等学校	美須ヶ 2-1	久保村 智	61	833	446	387	33-3690
松本筑摩高等学校 定時制午前部 定時制午後部 定時制夜間部 通 信 制	島立 2237	中島 秀明	(35) [20]	(210) [863]	(109) [515]	(101) [348]	47-1351
梓川高等学校	波田 10000-1	西林 昭隆	29	300	175	125	92-2119

イ 私立

(令和7年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員 数	生徒数			電話番号
				総数	男	女	
松商学園高等学校	県 3-6-1	長野 雅弘	67	1,342	616	726	33-1210
// 通信制			[7]	[35]	[12]	[23]	
松本国際高等学校	村井町南	小西 信久	47	604	346	258	88-0033
// 通信制	3-6-25		[21]	[932]	[434]	[498]	
エクセラン高等学校	里山辺 4202	西沢 宏	28	321	180	141	32-3701
松本第一高等学校	浅間温泉 1-4-17	塩野 英雄	39	611	332	279	46-0555
信濃むつみ高等学校	南松本 1-13-26	水野 尚哉	[16]	[541]	[255]	[286]	27-3700

(注) ()内は定時制、[]内は通信制

(7) 大学・短大

(令和7年5月1日)

名 称	所在地	学(部)長氏名	教員 数	職員 数	生 徒 数			電話 番号
					総数	男	女	
信州大学本部	旭 3-1-1	学 長 中村 宗一郎	9	219	—	—	—	35-4600
信州大学 人文学部		学部長 金井 直	35	9	747	276	471	
信州大学 経法学部		学部長 廣瀬 純夫	39	10	799	479	320	
信州大学 理学部		学部長 玉木 大	62	15	899	695	204	
信州大学 医学部		学部長 奥山 隆平	198	40	1,337	568	769	
松本大学	新村 2095-1	学 長 清水 一彦	84	63	1,859	1,076	783	48-7200
松本大学 松商短期大学部			12	19	362	118	244	
松本大学 大学院			21	0	17	9	8	
松本看護大学	笹賀 3118	学 長 原 寛美	27	9	275	64	211	58-4417
松本短期大学		学 長 木内 義勝	17	6	157	38	119	

(注) 1 信州大学本部は、事務局の数

(注) 2 信州大学医学部には、医学部附属病院の教職員を含まない

Ⅱ 学校給食と食育の推進（学校給食）

1 概 要

本市では、昭和7年に学校給食が開始されました。センター方式での学校給食は、昭和43年に鎌田に建設された給食センターからの提供に端を発し、以降、児童生徒数、給食内容の見直し及び施設の老朽化等により、平成13年に野溝西地籍に西部学校給食センター、平成21年に原地籍に東部学校給食センターに移転し、市内小・中学校を二分し配送しています。

また、平成17年以降合併により梓川学校給食センター、波田学校給食センター、四賀学校給食センターが加わり、市内5か所の学校給食センターから小学校26校（うち私学1校）、中学校16校に1日当たり約18,000食の安全・安心でおいしい給食を提供しています。（安曇・奈川地区の3校では、校内の調理室で調理した給食を提供しています。）

2 重点施策

(1) 学校給食センターの再整備事業

波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターは老朽化が著しく建替えの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から23年が経過し、老朽化が進行しています。

令和6年5月に策定した松本市学校給食センター再整備基本計画に基づき、（仮称）第一学校給食センターの建設、（仮称）第二学校給食センターの建設、東部学校給食センターの大規模改修を計画的に進めます。

(2) 食育の推進

「食に関する指導の全体計画」（毎年度改定）に沿って、計画的な食育に取り組みます。

栄養教諭による小学4年生における朝食指導の授業や学校訪問による、コミュニケーションを大切にした対面での指導に重点をおいた給食時間の食に関する指導を、栄養教諭や栄養士、調理員で積極的に行うとともに動画を活用した食育の取組みを進めます。

(3) 地産地消の推進

関係各所と連携を図り、主要野菜15品目の長野県産食材使用割合を上げるため、「松本の日」や「環境にやさしい給食の日」の取組みを推進します。

(4) 食物アレルギー対応食提供事業

「アレルギー対応食提供事業実施要綱」及び「食物アレルギー対応マニュアル」（令和4年度改訂）に沿って、医師の診断に基づき学校と共通理解のもとでアレルギー対応食を適切に提供しています。併せて児童生徒及び保護者、関係職員等へアレルギーに対する正しい理解を深める取組みを進めます。

(5) 学校給食費会計

会計処理の透明性、保護者の利便性の向上及び学校職員の事務負担軽減を目的に令和2年度から公会計化しました。物価高騰により令和5年度から3回の給食費改定を行いましたが、改定による増額分は公費で負担しています。また、保護者の利便性向上のため、コンビニ納付や電子決済に対応した支払方法等の活用により収納を行っています。

3 学校給食の実施状況

(1) 給食実施校と在籍者数（令和7年5月1日）

施設 区分	対象	学校数	学級数	児童 生徒数	教職 員数	計	栄養 士	調理員数	
								正規 ・ 2類	3類 ・ 4類
西部 学校給食センター	小学校	校 11	学級 215	人 4,766	人 417	人 5,183	人 6	人 47	人 16
	中学校	6	97	2,328	232	2,560			
東部 学校給食センター	小学校	11	213	4,576	424	5,000	5	46	15
	中学校	7	99	2,270	255	2,525			
梓川 学校給食センター	小学校	1	26	582	54	636	2	10	3
	中学校	1	18	423	45	468			
波田 学校給食センター	小学校	1	36	826	67	893	2	10	2
	中学校	1	16	412	41	453			
四賀 学校給食センター	小学校 (うち私立)	2 (1)	14 (6)	175 (63)	45 (24)	220 (87)	2	6	0
	中学校	1	5	61	21	82			
小 計		42	739	16,419	1,601	18,020	17	119	36
市立小・中(再掲)		41	733	16,356	1,577	17,933	17	119	36
私立小学部(再掲)		1	6	63	24	87	0	0	0
安曇小学校		1	6	44	17	61	1	0	民間 委託2
安曇中学校		1	3	17	10	27			
大野川小学校		1	4	22	18	40	1	2	0
大野川中学校		1	2	7	8	15			
奈川小学校		1	2	4	13	17	1	2	0
奈川中学校		1	2	7	10	17			
小 計		6	19	101	76	177	3	4	2
合 計		48	758	16,520	1,677	18,197	20	123	38
市立小・中(再掲)		47	752	16,457	1,653	18,110	20	123	38
私立小学部(再掲)		1	6	63	24	87	0	0	0

(2) 給食費及び給食日数（令和7年5月1日）

ア 学校給食センター

区分	対象	内 訳(円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
		主食費	副食費	牛乳費	日額		
西部・東部	小学校	39	169	72	280	54,320	194
	中学校	49	209	72	330	62,700	190
梓川	小学校	38	170	72	280	54,320	194
	中学校	47	211	72	330	64,020	194
波田	小学校	40	168	72	280	55,720	199
	中学校	51	207	72	330	64,350	195
四賀	小学校 (私立)	43 (43)	165 (209)	72 (72)	280 (324)	54,880 (62,532)	196 (193)
	中学校	52	206	72	330	65,670	199

イ 安曇・奈川地区

区分	内 訳 (円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
	主食費	副食費	牛乳費	日額		
安曇小学校	35	173	72	280	55,160	197
安曇中学校	38	220	72	330	65,010	197
大野川小学校	37	171	72	280	54,320	194
大野川中学校	41	217	72	330	64,020	194
奈川小学校	38	170	72	280	54,600	195
奈川中学校	43	215	72	330	64,350	195

※ 日額は公費補助後（減額後）の保護者負担額（補助額：小学校 44 円/日、中学校 57 円/日）。

ただし、私立学校は公費補助対象外（減額なし）。

※ パン・米飯・牛乳・給食原材料費は保護者負担、人件費・維持管理費（光熱水費を含む。）は市負担

※ 年間給食費（円）は、日額×給食日数（日）で算出

※ 5月～2月末の各月10回分を同額徴収し、3月末徴収分を年間給食費に合うよう調整額とする（年間11回で徴収し、4月末の徴収は行わない）。

(3) 給食内容

小学生から中学生にかけては体が一番成長する年代であり、一生のうちでも最も栄養量を必要とする時期です。このため、この成長期にある児童生徒の食事内容について、次の5つの点に重点をおき給食を実施しています。

- ・栄養についての配慮
- ・豊かで多様な献立の配慮
- ・ていねいな調理の工夫
- ・地産地消や季節を大切に食材の購入
- ・より安全で安心な食事の提供

ア 主食（令和7年4月1日）

(7) 学校給食センター

		西部	東部	梓川	波田	四賀
米飯	回数	週4回	週4回	週4回	週4回	週4回
	米重量	小学校1年 45g 2年 50g 3年 60g 4年 70g 5年 80g 6年 90g 中学校1年 90g 2年 95g 3年 100g	小学校1年 45g 2年 50g 3年 60g 4年 70g 5年 75g 6年 90g 中学校1年 85g 2年 95g 3年 100g	小学校1年 45g 2年 55g 3年 60g 4年 70g 5年 80g 6年 90g 中学校1年 90g 2年 95g 3年 100g	小学校1年 50g 2年 55g 3年 60g 4年 70g 5年 75g 6年 80g 中学校1年 95g 2年 100g 3年 105g	小学校1年 50g 2年 55g 3年 65g 4年 75g 5年 85g 6年 90g 中学校1年 95g 2年 100g 3年 100g
	内容	金芽米	金芽米	金芽米	金芽米	金芽米
	回数	週1回	週1回	週1回	週1回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 40g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 40g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g
	内容	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%
麺	回数	—	—	—	—	週0.5回
	小麦粉重量	—	—	—	—	小学校低学年80g 高学年90g 中学生 110g

(1) 安曇・奈川地区

		安曇小中学校	大野川小中学校	奈川小中学校
米飯	回数	週4回	週4回	週4回
	米重量	小学校低学年 55g 中学年 75g 高学年 90g 中学生 100g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 85g 中学生 100g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 90g 中学生 100g
	内容	金芽米	金芽米	金芽米
	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
パン	小麦粉重量	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学生 80g
	内容	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%
	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学生 200g (麺重量)	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学生 200g (麺重量)	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学生 200g (麺重量)

イ 副食

(ア) 地域食材を積極的に使用し、行事食、郷土食、季節感に配慮した献立により、食文化を大切に
にした献立の工夫を行っています。

(イ) 揚げ物、焼き物、蒸し物、炒め物、あえ物、煮物等の調理形態を考慮した献立を提供して
います。

(ウ) 栄養摂取の面で特に、ビタミン類、カルシウム、鉄、食物繊維の摂取に配慮しています。

ウ アレルギー対応食提供事業

(ア) 食物アレルギーをもつ児童生徒に対して平成11年1月から、個々の原因食物に応じたアレ
ルギー対応食を提供しています。

食物アレルギー対応食提供児童・生徒数

(令和7年5月1日)

西部学校給食センター	59人	安曇小中学校	0人
東部学校給食センター	44人	奈川小中学校	0人
梓川学校給食センター	11人	大野川小中学校	0人
波田学校給食センター	12人	西部及び東部センター、四賀センター（私立 学校）の小学校新1年生は7月から提供	
四賀学校給食センター	3人		

(イ) 「松本市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱」に基づき、学校・保護者・学校給食
課との事前協議を行い、教育委員会で審査の後、給食を提供しています。

(ウ) アレルギー専用調理室等において、除去すべき食材が混入しないよう細心の注意を払い調理
をします。

(エ) 専用の容器に盛りつけ、専用ケースで各学校へ配送しています。

(オ) 安全な給食提供のため、保護者・学校・学校給食課が密に連携して取り組みます。

4 施設設備の概要

(令和7年4月1日)

施設名称 (所在地)	敷地面積 (延床面積)	建物構造	工事費
西部学校給食センター (野溝西3丁目6番1号)	6,969.21㎡ (3,587.61㎡)	鉄骨造 2階建て	28億7,300万円 (用地費) 5億4,739万円 (工事請負費) 17億6,578万円 (備品購入費他) 4億7,173万円 (厨房除害施設) 8,715万円
東部学校給食センター (大字原7番地1)	7,705.90㎡ (4,062.46㎡)	鉄骨造 2階建て	26億3,038万円 (用地費) 3億7,197万円 (工事請負費) 20億6,246万円 (備品購入費他) 1億9,595万円
梓川学校給食センター (梓川小学校敷地内)	1,140.55㎡ (820.55㎡)	鉄骨造 平屋建て	2億 200万円
波田学校給食センター (波田小学校敷地内)	546.35㎡	鉄骨造 平屋建て	当初建設費 1,922万円 増改築費 9,513万円
四賀学校給食センター (四賀小学校敷地内)	393㎡	鉄骨造 平屋建て	2億4,192万円

5 栄養摂取基準（令和7年度）

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

成分項目	児童（6～7歳）	児童（8～9歳）	児童（10～11歳）	生徒（12～14歳）
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂 質（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム(食塩相当量)（g）	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
鉄（mg）	2	3	3.5	4.5
ビタミンA（μgRAE）	160	200	240	300
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	25	30	35
食物繊維（g）	4以上	4.5以上	5以上	7以上

6 学校給食センター再整備事業

西部学校給食センター、東部学校給食センター、波田学校給食センター、梓川学校給食センター、四賀学校給食センターの5つのセンターで約18,000食の給食を提供しています。

これらのセンターのうち、四賀を除く4つのセンターは建設から年数が経過し、老朽化が進んでいます。

(1) 松本市学校給食センター再整備基本方針（令和4年11月策定）

学校給食センター再整備に向けて、令和3年度から複数の再整備プラン案をもとに検討を重ね、市民説明会の意見等を反映したうえで再整備基本方針を策定しました。

ア センター方式での再整備 最新の設備・効率的な調理導線を備えた高機能センターを整備

(ア) 最大調理能力6,000食の高機能中規模センターを適地に2施設建設しリスク分散

(イ) パススルー方式のスチームコンベクションオープン等の高機能調理機を導入し効率的な調理を実施

(ウ) 東部センターを、新センターと同様の機能を持つ6,000食規模のセンターに大規模改修

(エ) 1か所目のセンターを建設後、波田学校給食センターと梓川学校給食センターを廃止

イ 質の高い学校給食の実現（波田・梓川学校給食センターの給食提供の質を維持）

(ア) 2本献立（2コース）を1,500食4ラインで調理することにより、調理時間を短縮

(イ) 調理時間の短縮により、調理前の手作り作業の時間を増やし、メニューの多様化（手捏ね、野菜の手切り、焼き物の味付け、手作りソース等）

(ウ) 調理食数を1,500食にすることにより、地元で採れた野菜・果物などの使用増

(エ) 栄養士増員により食育を充実、新入児童のアレルギー対応食の提供を7月から5月に前倒し

ウ 運営方法

昭和43年2月に最初の学校給食センターを開設して以来、児童生徒に安全・安心な給食を提供してきたこれまでの方針を継承し、今後も公設・公営を継続

(2) 松本市学校給食センター再整備基本計画（令和6年5月策定）

基本方針に基づき、再整備基本計画を策定しました。

ア 基本性能

(ア) 令和10年度の児童・生徒数の推計から、18,000食の提供食数が必要と想定

(イ) 効率的な調理動線や手作りを補助する高機能調理器具の導入等により、学校給食摂取基準を満たし、バラエティーに富んだ献立を実現

(ウ) 温室効果ガス排出量削減のための環境負荷低減機能や、ICTによる食育ができる施設機能を検討

(エ) 炊飯施設を設置し、主食の多様な献立や手作り調理の充実

イ 事業スケジュール等

(ア) （仮称）第一学校給食センター

令和10年4月の稼働を目指し、令和7年度は、用地購入の契約締結及び実施設計等を行い、令和8年度から令和9年度にかけて建築工事を行います。

概要は以下のとおりです。

場所	松本市梓川梓 713-2 他（梓川小学校西側隣接地）
敷地面積	8642.07 m ²
延べ面積	4156.14 m ² （1階床面積 2889.05 m ² 、2階床面積 1267.09 m ² ）

(イ) （仮称）第二学校給食センター

令和12年度以降の稼働を目指し、建設を行います。

(ウ) 東部学校給食センター

令和13年度以降の稼働を目指し、既存給食センターの大規模改修を行います。



公民館研究集会 基調講演
(生涯学習課)



ライブラリレーまつもと
(図書館)

第3編

生涯学習の推進 (社会教育)

I 生涯学習の推進

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市教育振興基本計画に掲げる、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向け、多世代の多様なニーズに応じた学習機会や施設等の充実を図り、誰もが豊かな人生を送り、活躍できる生涯学習社会を目指します。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「Ⅱ 公民館の学びを通じた地域づくり」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実と松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

- ア 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員がパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど144講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市の関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和6年度実績 497回 20,589人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

- イ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市ホームページにより情報提供を行っています。

(7) 発行回数

年3回（5月、9月、1月）

(1) 主な掲載内容

- ・生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報
- ・生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

ウ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識・経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

〔登録数〕（令和6年度末現在）

指導者 159名、グループ 388団体

エ 若者の居場所「フリースペース」開設

若者の居場所として、中央公民館2階フリースペースを開放するとともに、地区公民館では3地区（松南・四賀・梓川）に加えて、令和6年度から新設した7地区（庄内・第三・城東・白板・島内・芳川・寿）でも引き続き開放します。

(7) 利用者数（人）

	中央	松南	四賀	梓川	庄内	第三	城東	白板	島内	芳川	寿
R4	6,409	213	-	700	-	-	-	-	-	-	-
R5	12,649	674	-	2,220	-	-	-	-	-	-	-
R6	22,532	1,582	947	3,605	303	1,867	3	64	7	46	16

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持、ユニバーサルデザインの導入、エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和6年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会 教育 施設	Mウイング整備事業	中間改修第3期工事（全4期）を行いました。 個別施設計画に基づき、中間改修の実施設計を行いました。	155,265
	Mウイング中間改修 工事施設計		7,260

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をととして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1／2から2／3へ引き上げ、解体補助（補助率1／2、限度額200万円）を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和7年度）

区 分			補 助 率	限 度 額
建 物	新 築	未設置町会等	2／3	1,000 万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）
	改 築	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）	
	増 築	1／2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円	
	改 修	2／3	一般改修（500 万円）	
		2／3	福祉関連・耐震補強（500 万円）	
	既 設 置 建 物 取 得	1／2	800 万円	
	未 設 置 建 物 取 得	2／3	1,000 万円	
土 地	敷 地 取 得	2／3	1,000 万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1 回のみ	
借 地 ・ 借 家		1／2	5 万円	
解 体 除 却		1／2	200 万円	

※ ただし、2 館目以降の限度額は、上記の金額の 8 割とする

(1) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	解体	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
R4	0	1	0	97	1	0	0	12	1	33	2	147	81,275
R5	1	1	1	73	3	0	1	7	0	33	2	122	98,648
R6	0	2	0	105	3	0	0	9	0	33	3	155	108,366

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を行いました。

平成26・27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導のもと、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。

平成30年度から令和2年度まで講堂、令和2年度から5年度まで本館の耐震補強工事を実施し、令和6年度に耐震工事報告書を作成・刊行し、耐震化事業の記録及び成果を広く周知・公開しました。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。なお、令和7年度からは市長部局こども若者部若者参画課に移管されました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、若者が参加しやすい講座・イベントの実施

イ 若者に人気のある運動・文化系の講座「ヤングスクール」の実施

ウ 青少年の将来の選択肢を広げることを目的としたキャリアアップセミナーの実施

エ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所スペースとして「若者カフェ」の開設

オ ひきこもりの若者に対し、家族及び支援者、地域住民が気持ちを理解し、支援することを目的とした「ひきこもり支援研修会」の実施

カ 若者がまちづくりに参加するためのスキル養成と発表を行う「松本若者会議」の参加・協力

キ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

ク 若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業「若者お悩み相談室」の開設

ケ 二十歳の対象者で構成する実行委員会による、ハタチの記念式典の企画、運営の実施

青少年ホームの活動状況

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
R4	167	27.4	297	6,149	3,820	2,329
R5	185	27.7	295	6,275	3,610	2,665
R6	162	27.2	291	6,115	3,490	2,625

(5) 松本市ハタチの記念式典

二十歳の方々の門出を祝い励まし、故郷松本の良さを再認識することで、将来松本にUターンし活躍する若者を増やすことを目的に、毎年開催しています。平成29年度（平成30年松本市成人式）から、教育委員会が担当で取り組みました。また、令和7年度からは、市長部局こども若者部若者参画課に担当が移管されました。

ア 年度別参加者

年度	令和3年度 (令和4年成人式)	令和4年度 (ハタチの記念式典)	令和5年度 (ハタチの記念式典)	令和6年度 (ハタチの記念式典)
参加者	1,801人	1,740人	1,736人	1,705人

イ 成年年齢引き下げについて

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和5年1月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年4月2日からその年の4月1日までに20歳になる方を対象としています。

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

地名を冠した地域の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された本館と講堂は、昭和25年の松本高等学校廃止後も信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されました。全国的に旧制高等学校の建物が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものとされ、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。 現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)		
沿 革	大正 7 年 松本市に高等学校設置決定 大正 8 年 4 月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正 9 年 8 月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成 大正 11 年 9 月 講堂が建てられ全校舎落成 昭和 24 年 5 月 国立新制大学が発足、信州大学文理学部が設置される(松本高等学校は25年3月で廃止)。学部再編後は人文学部校舎となる 昭和 48 年 4 月 人文学部が旭キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和 52 年 3 月 松本市が建物及び敷地の一部を国から買い取り、文化財としての保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和 54 年 10 月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和 56 年 2 月 本館、講堂が長野県宝に指定される 平成 10～13 年 講堂 保存修理工事実施 平成 14～17 年 本館 保存修理工事実施 平成 19 年 6 月 本館、講堂が重要文化財に指定される 平成 30～令和2年 講堂 耐震補強工事実施 令和 2～5 年 本館 耐震補強工事実施		
文化財の種別	重要文化財	指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11 m ²	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (m ²)	備 考
ホ ー ル	1	300	331	
大会議室	4	60～90	454	
中会議室	8	30～45	526	
小会議室	5	15～25	181	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

※ 令和4・5年度は耐震補強工事に伴い、本館北棟と南棟一部に貸館の制限あり。また、令和5年度は講堂外壁塗装改修工事に伴い、8月～2月に講堂の貸館を制限。

年 度	利用者総数 (人)	利用総件数 (件)	減免団体利用件数 (減免団体数)(件)	使 用 料 (円)
R4	29,237	3,309	2,809 (218)	2,809,600
R5	29,237	3,335	2,741 (227)	2,540,730
R6	38,865	4,477	3,666 (159)	3,636,490

(2) 松本市教育文化センター

——宇宙や科学にふれて学べる空間—— 科学、天文、ＩＣＴ（プログラミング、機械制御）について楽しみながら学べる施設です。			
位 置	松本市大字里山辺２９３０番地１	電 話	３２－７６００
概 要	教育文化の中核施設として学校教育、社会教育相互に連携を図りながら児童生徒、市民に学習の場を提供しています。		
構 造	鉄筋コンクリート造３階建 (一部地下１階・塔屋)	建 物 延面積	4,135.45 ㎡
総工費	1,338,700 千円	開 館	昭和 58 年 10 月 1 日
休館日	月曜日（祝日の場合はその翌日）・12 月 29 日～翌 1 月 3 日		
管理運営	昭和 58 年 10 月 財団法人松本市教育文化振興財団へ管理運営を委託 平成 9 年 4 月 松本市が直営		

ア 施設内容

	区 分	部屋数	面積(㎡)	備 考
一階	山辺教育支援センター	6	212.87	相談室（2 室）、遊戯療法室、観察室、検査室、待合室
	オンライン教育支援センター	1	50.20	事務室(旧里山辺公民館事務室)
二階	教 育 館	5	189.05	中会議室（51 人収容）、小会議室（12 人×4 室）
	大 会 議 室	1	117.27	75 人収容
	小 会 議 室	1	87.00	12 人収容
	科 学 博 物 館	3	476.82	プラネタリウム（90 人収容）、科学展示室、天体観測室（塔屋 2 階）
三階	視 聴 覚 セ ン タ ー	7	765.53	視聴覚ホール（168 人収容）、研修室（42 人、8 人）、教材制作室（2 室）、科学スタジオ（1 室）

イ 使用料及び冷暖房料

室 名	区 分	午 前 (円)	午 後 (円)	夜 間 (円)	午前～午後 (円)	午後～夜間 (円)	全 日 (円)	収容人数 (人)
視 聴 覚 ホ ー ル	料 金	4,400	5,440	6,600	9,340	11,430	14,790	168
	冷暖房	3,240	3,240	3,240	6,480	6,480	9,720	
大会議室 206	料 金	1,670	1,880	2,200	3,370	3,870	5,170	75
	冷暖房	1,150	1,150	1,150	2,300	2,300	3,450	
中会議室 201	料 金	1,150	1,360	1,570	2,380	2,780	3,670	51
	冷暖房	830	830	830	1,660	1,660	2,490	
小会議室 200、202 ～205	料 金	310	410	520	680	880	1,110	12
	冷暖房	310	310	310	620	620	930	

※ 入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用する場合は、当該区分に定める額の 200/100 に相当する額とする

ウ 観覧料

(ア) プラネタリウム

(単位：円)

区 分	大人	小人：中学生以下	備 考
個 人	520	無料	投映日及び時間 ・土曜日、日曜日、祝日 10:00～、11:15～、13:30～、14:45～
団 体 (20 名以上)	410	無料	

(イ) 科学展示室は平成 27 年 4 月 1 日から無料

エ 利用実績

年度	区分	会 議 施 設 等		プラネタリウム		科 学 展 示 室	
		件 数 (件)	使 用 料 (円)	観 覧 者 数 (人)	観 覧 料 (円)	観 覧 者 数 (人)	観 覧 料 (円)
R4	有料	307	1,638,875	2,052	1,058,460	—	—
	無料	406	—	10,881	—	5,411	—
	計	713	1,638,875	12,933	1,058,460	5,411	—
	備考	延利用人数 20,932 人		延投映日数 208 日 一般投映 123 日 特別投映 85 日		延開館日数 308 日 ※教文学習等の昼休み展示室開放人数を除く。	
R5	有料	341	1,313,190	1,705	886,600	—	—
	無料	155	—	12,115	—	5,484	—
	計	496	1,313,190	13,820	886,600	5,484	—
	備考	延利用人数 18,727 人		延投映日数 224 日 一般投映 136 日 特別投映 86 日		延開館日数 310 日 ※教文学習等の昼休み展示室開放人数を除く。	
R6	有料	309	390,370	2,355	1,073,140	—	—
	無料	246	—	11,958	—	5,199	—
	計	555	390,370	14,313	1,073,140	5,199	—
	備考	延利用人数 18,803 人		延投映日数 208 日 一般投映 126 日 特別投映 82 日		延開館日数 307 日 ※教文学習等の昼休み展示室開放人数を除く。	

(3) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多くの文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の生涯学習活動や観光施設としてご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内 10 番 31 号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。 また、松本城近傍の立地条件を活かし、観光施設としての活用に向け検討を進めています。		
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	敷地面積	1,038.74 m ²
施設面積 (建物)	居 宅 122.60 m ² 茶 室 16.52 m ²	施設面積 (庭園)	茶 庭 約 95.75 m ² 日本庭園 約 216.00 m ²
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12 月 29 日～翌 1 月 3 日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成 19 年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成 23～28 年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成 29 年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託直営 令和 7 年～ 生涯学習施設以外の幅広い活用に向けた検討を進めるため、暫定的に直営による施設管理を実施		

ア 使用料及び器具使用料

(単位：円)

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
上座敷	500	700	900	1,100	1,400	1,800
下座敷	500	700	900	1,100	1,400	1,800
中の間	500	700	900	1,100	1,400	1,800
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1 台 1 回 410 円					

※入場料等を徴収して使用するなど、営利を目的としたご利用の場合

区 分	入場料徴収	営業目的	割増率
上座敷・下座敷 中の間・茶室	×	○	200/100
	○	×	200/100
	○	○	250/100

イ 利用実績

年度	開館日 (日)	利用日 (日)	利 用 内 訳 (件)				使用料 (円)
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
R4	313	204	9	137	109	255	289,240
R5	309	220	26	149	100	275	214,320
R6	309	233	22	135	96	253	151,720

(4) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇４８５５番地１００	電 話	９３－１１２２
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成 15 年 3 月 31 日	開 館	平成 15 年 4 月 1 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日
管理運営	- 平成 20 年度から指定管理者制度を導入 - 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額(円)
施設	多目的ホール	1 日 1 回	1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1 回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数（件）			利用者数（人）			使用料（円）
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R4	8	147	155	141	1,677	1,818	22,950
R5	14	203	217	172	2,596	2,768	18,720
R6	13	241	254	168	2,563	2,731	22,880

(5) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2121
概 要	旧奈川村時代に、村の活力低下や山村課題の解決のため、村の風土・文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456 m ²
施設面積	2,448.61 m ²	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

(単位：円)

区分	9：00～17：00 (1時間につき)	17：00～21：00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	3,300	3,840	33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※ 冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の130/100に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数（件）			利用者数（人）			使用料（円）
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R4	7	404	411	70	3,402	3,472	2,200
R5	6	681	687	60	3,719	3,779	2,640
R6	3	844	847	30	3,879	3,909	1,540

参加者募集！

岡田公民館

自然と歴史に親しむ講座

～岡田神社を知ろう～



今さらですが、岡田神社のこと、どのくらいご存じですか？

- ・いつできて、その後の時代はどうなってきたの？
- ・どうして参道が曲がっているの？
- ・源氏の末裔の岡田冠者親義や加賀美遠光は神社と関係があったの？ などこの機会に一緒に学んでみませんか？

岡田に引越してきたばかりで何も知らない／長年岡田に住んでいるけど詳しいことは知らない／これを機会に専門的な話を聞いてみたい

そんな方も大歓迎！ 中学生以上なら誰でも参加OKです!!
ぜひご参加ください！

【日 時】：令和7年6月21日(土) 午後1時30分から
【場 所】：岡田公民館(希望者は現地の見学もを行います)
【講 師】：大澤 道直さん(岡田歴史研究会 副会長)
【参加費】：無料
【持ち物】：筆記用具、飲み物、雨具 など
【申込み】：不要です。当日岡田公民館へお越しください。
【問合せ】：岡田公民館(松本市岡田町 517-1 Tel.46-2313)



自然と歴史に親しむ講座(岡田公民館)

令和7年2月1日 発行 島内公民館

～みんなおいでよ～

おはなしの会



島内公民館では、小さい頃から本に親しむように「おはなしの会」を開催しています。入園前のおともだちも大歓迎!!

☆日 時 2月8日(土) 午前10時から

☆会 場 島内公民館

☆内 容 絵本や紙芝居の読み聞かせ

☆申 込 申込みは不要ですので、会場へ直接お越しください!

＜問合せ先＞

島内公民館(Tel.47-0264)

島内公民館・図書視聴覚委員会 共催

おはなしの会(島内公民館)

令和7年度 波田公民館案内です!

発行・問合せ先 波田公民館 TEL92-2268 Fax92-7111

歴史散策講座「松代・更科で歴史さんぽ」

松代・千曲地域は、さまざまな歴史が深く刻まれている地域です。気軽に楽しく歩き、歴史散策を楽しみましょう。

日 時：7月3日(木) 8:20～16:00

集 合：波田公民館前 8:20出発

場 所：象山地下壕、山寺常山邸、

長野県立歴史館、森将軍古墳館、ほか

参加費：無料(昼食代各自)

定 員：20名

持ち物：歩きやすい靴(スニーカー等)、雨具

申 込：窓口またはお電話でお申し込みください

締 切：6月20日(金) ※定員になり次第終了

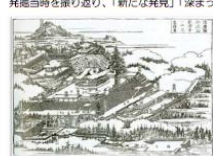


象山山麓に「歴史のすみち」(通称「おみち」)を散策しながら歩きます。

文化継承・歴史講座 若澤寺史跡保存会共催 「若澤寺発掘から20年 守り続ける地域の力」

～次代に繋ぐ波田の宝～

多くの地域住民の協力によって8年間にわたる発掘調査が終了してから、20年が経過しました。発掘当時の振り返り、「新たな発見」「深まった謎」を一緒に学んでみませんか？



日 時：7月11日(金) 13:30～15:00

場 所：波田公民館 大会議室

講 師：原 明芳氏(安曇野市豊科郷土博物館館長)

定 員：50名

申 込：窓口またはお電話でお申し込みください

7月26日(土)9:00～

現地見学会(定員20名)も予定しています！

詳細は7月号にてご案内します

令和7年度 波田文化祭 参加者・団体募集

活動の成果を発表したい！作品を展示したい！

など、どんなでも結構です！

開催日：10月25日(土)・26日(日)

会 場：波田公民館 締 切：6月20日(金)

参加を希望される方は、

① 団体名、代表者氏名

② 住所、電話番号

③ 展示内容

上記、波田文化祭実行委員会事務局(波田公民館)までご連絡ください。

※ 上記の講座等は天候や諸事情などにより、中止または内容が変更になる事があります。
※ お申し込み後やむを得ずキャンセルされる場合は、ご連絡いただきますようお願いいたします。
その際、講座によってはキャンセル料が発生することがあります。ご了承ください。

こちら波田公民館案内です！
(波田公民館)

回覧

飾り巻き寿司講座

見て楽しい、食べて美味しい
華やかな飾り巻き寿司の作り方を学ぶ講座です。
ワツと驚かれる模様と一緒に作っていきましょう。

日 時：令和6年3月27日(水) 午前10:00～12:00予定

場 所：寿台公民館 1階 料理実習室

内 容：飾り巻き寿司2本を作ります(桃の花・うぐいす)

講 師：草間 恵美子さん(M'S KITCHEN 飾り巻き寿司マスター・インストラクター)

参加費：1,200円(材料代として)

持ち物：エプロン、三角巾、マスク、ふきん、持ち帰り用のタッパー、
27cm以上角のまきす(ある方)

定 員：10名(先着順)

申込み：3月19日(火)までに右記申込フォーム
または寿台公民館(☎58-6561)へ

問合せ：寿台公民館
TEL 58-6561(平日8:30～17:15)
FAX 86-7964(いつでもOK!)

インターネット申込
専用フォーム

飾り巻き寿司講座(寿台公民館)

Ⅱ 公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりへ向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

一方地域では、地域連帯意識の希薄化や価値観の多様化、家庭機能の低下など、課題の増大化・複雑化に伴い、行政・地域だけで解決することが困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、「総合的な地域づくりの拠点」としての役割を担う体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ実践していく、「松本らしい地域づくり」をめざした公民館活動を展開します。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和7年度中央公民館主要事業計画

項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
	第41回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)	2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
	町内公民館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(6月) ・ブロック別研修会(7月～8月) ・ほか理事研修など(随時)
地域交流・まちづくり事業	聴覚障がい者と学ぶ成人学校	10月～2月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業
	手話教室	5月～2月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催
	第15回こいこい松本-松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会
	日本語講座	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	木曜午前日本語教室	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	松本みんなのにほんご教室	4月～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援

項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
	コミュニティ・スクール事業	通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域とともにある学校づくり」を目指す (市内全地区／35 地区で実施)
	松本市出前講座	通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
	第25回松本手まり時計まつり	5月	Mウイング公益施設及び利用団体がタイアップして実施
文化活動	芸術文化祭	4月 ～1月	第66回松本市芸術文化祭
	公民館活動発表会	5月	第47回松本市公民館活動発表会 (ステージ部門・展示部門)
	お城盆踊り	8月	第77回お城盆踊り
広報活動	公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
	資料集等の作成	通年	公民館活動資料
	人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

(2) 令和7年度各公民館共通事業

項目	実 施 内 容	主な事業内容
人 権 教 育	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸 術 文 化 活 動	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
ス ポ ー ツ 活 動	スポーツを通し、健康の保持、スポーツの向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民スポーツ大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	DVD・YouTube・パソコン等の活用、映画会等の開催
広 報 活 動	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図 書 活 動	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。 図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食 育 事 業	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中 央 公 民 館	中央1丁目18番1号 (32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転、新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (2-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館（事務室のみ）として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館（あがたの森公民館）として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東 部 公 民 館	女鳥羽2丁目1番25号 (36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城 北 公 民 館	開智2丁目3番39号 (38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大 手 公 民 館	大手3丁目8番1号 (39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城 東 公 民 館	元町3丁目7番1号 (34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田 川 公 民 館	渚3丁目2番7号 (27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
松本市ジェンダー平等センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10 年度		平成 10 年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
福祉ひろば	RC 2 F	平成 9 年度		平成 9 年度	
福祉ひろば	S 2 F	平成 19 年度		平成 19 年度	
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2 F	平成 8 年度		平成 8 年度	
福祉ひろば	RC 2 F	平成 11 年度		平成 23 年度	
同上	RC 2 F	平成 14 年度		平成 14 年度	
同上	RC 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3 F	平成 10 年度		平成 10 年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2 F	平成 26 年度		平成 26 年度	
	RC 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17 年度		平成 17 年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2 F	昭和 59 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3 F	平成 元年度	令和 5 年度	平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島 内 公 民 館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中 山 公 民 館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島 立 公 民 館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新 村 公 民 館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和 田 公 民 館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神 林 公 民 館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹 賀 公 民 館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳 川 公 民 館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿 公 民 館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿 台 公 民 館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡 田 公 民 館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入 山 辺 公 民 館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里 山 辺 公 民 館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 同上 昭和 34 年 4 月 教育文化センター内から移転 令和 4 年 4 月	1,107.37
今 井 公 民 館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内 田 公 民 館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本 郷 公 民 館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四 賀 公 民 館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安 曇 公 民 館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈 川 公 民 館	奈川 3301 番地 (0263-79-2121)	令和 7 年 2 月 奈川文化センター夢の森内に移転	
梓 川 公 民 館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波 田 公 民 館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 一公民館設置基準面積一

1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5,000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1 F	平成 9 年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	平成 13 年度		平成 13 年度	
出張所 体育館	RC 2 F	昭和 63 年度		平成 21 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	平成 8 年度		平成 25 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 62 年度	平成 30 年度	平成 30 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2 F	昭和 57 年度	平成 24 年度	平成 24 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 61 年度	平成 29 年度	平成 20 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2 F	平成 4 年度		平成 18 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	昭和 62 年度		平成 22 年度	
図書館	RC 2 F	平成 2 年度		平成 24 年度	
福祉ひろば	S 1 F	平成 21 年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	平成 元年度		平成 17 年度	
出張所	RC 2 F	昭和 54 年度	平成 16 年度	平成 16 年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	令和 4 年度		令和 4 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2 F	昭和 59 年度	平成 27 年度	平成 19 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2 F	昭和 61 年度	平成 28 年度	平成 28 年度	
支所 図書館	RC 2 F	平成 5 年度		平成 16 年度	
保健福祉センター	RC 3 F	平成 14 年度		平成 14 年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2 F	昭和 53 年度	平成 20 年度	平成 20 年度	基幹集落セン ター
	RC 3 F	平成 6 年度		平成 6 年度	
	RC 2 F	昭和 50 年度	平成 22 年度	平成 22 年度	
	SRC 2 F	昭和 50 年度		平成 9 年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		M ウイング文化センター	
	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
R4	4,378	103,338	3,991	96,825	387	6,513
R5	4,818	112,538	4,304	101,037	514	11,501
R6	4,865	157,108	4,349	147,672	516	9,436

(2) 中央公民館の活動状況

年度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
R4	事業 2	—	—	7	3	—	3	1
	人 183	—	—	1,679	213	—	146	16,532
R5	事業 2	—	1	7	3	—	1	1
	人 192	—	360	1,811	135	—	130	22,264
R6	事業 2	—	1	7	2	—	1	1
	人 58	—	398	2,694	75	—	137	23,662

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数（件）					利用人数（人）		
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数（貸館分）				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②	①=A+B	A	B	②	C	D	E
R4	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259
R5	50,410	44,444	555	43,889	5,966	18,829	958	3,826
R6	54,975	47,977	574	47,403	6,998	15,502	839	3,234

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
1	1	78	1	27	—	121
300	597	1,540	430	253	—	21,873
1	1	79	1	20	—	117
1,351	1,249	2,246	470	386	—	23,851
1	1	88	1	20	—	125
963	822	2,156	330	289	—	31,584

利用人数（人）								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の 利用人数 （貸館分）	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活動の 利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433
3,150	6,393	5,908	11,504	21,789	30,941	103,298	435,391	538,689
3,312	10,631	11,842	12,630	23,995	34,356	116,341	452,321	568,662

(4) 令和6年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数 (件)					利用人数 (人)		
	利 用 総 件 数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
						成人	女性	高齢者
	①+②	①= A + B	A	B	②	C	D	E
第一地区公民館	52	0	0	0	52	371	15	0
第二地区公民館	1,466	1,300	37	1,263	166	1,092	0	237
第三地区公民館	6,049	5,145	85	5,060	904	983	0	403
東 部 公 民 館	1,534	1,481	5	1,476	53	1,166	0	0
城 北 公 民 館	1,611	1,457	1	1,456	154	0	0	0
大 手 公 民 館	1,650	1,541	4	1,537	109	560	0	0
安原地区公民館	1,829	1,523	110	1,413	306	846	0	0
城 東 公 民 館	2,780	2,723	0	2,723	57	107	0	0
白板地区公民館	1,349	1,289	4	1,285	60	609	20	0
田 川 公 民 館	1,689	1,418	2	1,416	271	768	0	0
庄内地区公民館	2,702	2,468	16	2,452	234	144	0	0
鎌田地区公民館	2,621	2,526	34	2,492	95	1,770	0	0
松南地区公民館	4,523	4,055	115	3,940	468	0	0	0
島 内 公 民 館	1,923	1,791	0	1,791	132	544	0	101
中 山 公 民 館	726	577	3	574	149	647	587	880
島 立 公 民 館	1,100	1,000	33	967	100	0	0	142
新 村 公 民 館	642	534	1	533	90	140	18	36
和 田 公 民 館	423	372	4	368	51	743	50	0
神 林 公 民 館	647	601	0	601	46	0	0	15
笹 賀 公 民 館	1,860	1,720	4	1,716	140	1,723	0	0
芳 川 公 民 館	1,768	1,422	35	1,387	346	0	0	504
寿 公 民 館	747	682	14	668	65	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,452	1,376	2	1,374	76	278	0	0
松原地区公民館	1,948	1,824	0	1,824	124	135	0	30
岡 田 公 民 館	667	606	0	606	61	206	0	0
入 山 辺 公 民 館	951	861	2	859	90	142	0	0
里 山 辺 公 民 館	1,007	996	0	996	11	95	0	0
今 井 公 民 館	636	529	2	527	107	53	0	53
内 田 公 民 館	457	418	1	417	39	25	0	45
本 郷 公 民 館	2,823	2,780	23	2,757	43	122	0	0
四 賀 公 民 館	46	0	0	0	46	552	0	72
安 曇 公 民 館	181	119	0	119	62	481	0	0
奈 川 公 民 館	847	228	3	225	619	768	149	0
梓 川 公 民 館	2,185	2,038	26	2,012	147	165	0	513
波 田 公 民 館	2,102	577	8	569	1,525	267	0	203
合 計	54,975	47,977	574	47,403	6,998	15,502	839	3,234

利 用 人 数 (人)								
公民館活動利用人数							公民館活動 以外の利用 人数(貸館分)	利用 総数
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等			公民館活動 の利用人数		
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
0	148	0	0	0	85	619	0	619
0	0	0	104	704	498	2,635	10,516	13,060
47	2,509	0	39	2,256	1,065	7,302	41,198	48,500
0	351	0	93	175	0	1,785	10,229	12,014
0	0	489	0	0	2,489	2,978	13,262	16,240
56	110	66	50	85	634	1,561	14,925	16,486
0	0	0	780	545	1,839	4,010	12,287	16,297
92	223	0	6	34	359	821	20,299	21,120
0	65	0	0	79	442	1,215	10,131	11,346
0	333	0	1,334	674	1,348	4,457	12,686	17,143
278	785	526	0	1,564	589	3,886	23,021	26,907
0	835	0	48	0	36	2,689	23,800	26,489
30	7	309	71	0	4,023	4,440	40,364	44,804
940	176	684	240	7,800	622	11,107	19,020	30,127
0	358	60	100	25	135	2,792	3,782	6,574
105	145	16	653	445	769	2,275	9,306	11,581
0	122	0	217	983	635	2,151	5,660	7,811
0	364	0	145	160	0	1,462	4,712	6,174
0	0	53	165	54	401	688	6,990	7,678
777	300	0	58	117	87	3,062	20,565	23,627
680	161	22	542	253	2,633	4,795	13,575	18,370
0	0	86	0	209	1,764	2,059	6,154	8,213
0	54	14	171	94	73	684	9,418	10,102
0	825	2	108	491	168	1,759	13,951	15,710
116	58	0	38	382	2,309	3,109	6,143	9,252
0	295	0	552	512	604	2,105	11,441	13,546
0	38	0	270	78	276	757	13,730	14,487
0	210	223	158	241	986	1,924	6,714	8,638
18	93	66	172	657	138	1,214	3,948	5,162
0	63	1,095	99	81	249	1,709	22,344	24,053
0	448	4,308	204	291	5,500	11,375	0	11,375
0	96	0	5	46	82	710	1,296	2,006
0	615	0	16	31	27	1,606	2,303	3,909
37	46	790	0	108	158	1,817	27,325	29,142
136	798	3,033	6,192	4,821	3,333	18,783	11,317	30,100
3,312	10,631	11,842	12,630	23,995	34,356	116,341	452,321	568,662

Ⅲ 図書館運営の充実

1 概 要

図書館は、国民の知る権利を保障するため、知識、情報を求める市民に対して、公平に、自由に、資料を提供することを目的としています。

とりわけ、今日の超少子高齢型人口減少社会、高度情報化社会が進行する中で、多様化する市民の要望に応えられる資料を収集・整理・保存・提供するとともに、市民自らが学習する場としての機能を果たし、市の教育・文化の中核的施設となることが、図書館に課せられた使命です。

この役割を果たすために、資料の収集、貸出、調査相談支援（レファレンスサービス）、ビジネス支援、健康・医療支援、多文化サービスの提供など暮らしに役立つ資料・情報の収集・提供、予約サービス、児童向けサービスとしてブックスタート、セカンドブック・サードブック事業、おはなしの会の実施、身体の障がいや高齢などにより図書館に通えない方への宅配サービス、視覚障がいなどにより文字を読むことが困難な方へ朗読サービスの提供などを行っています。

全館での土日開館、中央図書館及び波田図書館での休日開館や電子図書館、村井駅2階・四賀公民館図書室へのサービスポイントの設置、パソコンコーナーの設置、インターネットや携帯電話からの予約を可能にするなど、多様化する市民ニーズに応え市民サービスの充実に努めています。また、連携事業として、信州大学医学部附属病院こまぐさ図書室、信州大学図書館との連携をはじめとし、多くの図書館と相互貸借を行っています。

2 沿 革

明治 24 年	5 月	松本小学校長寄藤好実氏が同校内に、「開智書籍館」と名付けて創設
明治 39 年	9 月	旧松本藩の書籍と松原栄氏等寄贈の資料充実により規則を制定。「開智図書館」と改称し市民に一般公開
大正 10 年	2 月	北深志葵の馬場武徳殿に書庫を増設して移転。「松本図書館」と改称し専任職員を配置
昭和 12 年	4 月	条例改正により「市立松本図書館」と改称し夜間開館を開始
昭和 26 年	4 月	図書館法の規定により条例、規則を大幅に改正し、参考事務、巡回文庫、視聴覚教育等の活動を開始
昭和 27 年	11 月	P T A 母親文庫を実施
昭和 43 年	1 月	開智 2 丁目に新築して開館
昭和 53 年	6 月	重度身がい者家庭配本事業（やまびこ文庫）を開始
平成 3 年	10 月	本館を現在地に移転改築、コンピュータシステムを導入し開館 松本市中央図書館に改名
平成 5 年	6 月	サンフランシスコ在住の日系二世中沢望東子氏寄贈による「中沢文庫」開設（英語の本約 2,000 冊）
	7 月	「ユタ日報」（寺沢畔夫・国子夫妻が、大正～平成までアメリカで発刊した日本語新聞）全号（11,876 号）受入れ
平成 7 年	1 月	中央図書館前に「普選実現運動発祥の地」記念碑建立。併せて「普選文庫」開設

	8 月	終戦50周年平和記念事業として中央図書館に「平和資料コーナー」を設置。「ユタ日報復刻版」全7巻刊行
	10 月	第一回「図書館まつり」開催
平成8年	10 月	所蔵漢籍中から角筆文献発見
平成13年	4 月	ブックスタート事業（乳児への絵本贈呈事業）開始
平成15年	9 月	「あがたの森図書館」リニューアルオープン（開架スペース46㎡拡大）
平成18年	6 月	松本市中央図書館初となるオンラインデータベース「信濃毎日新聞データベース」の提供を開始
	10 月	図書館サポーターを募集。整架、排架などの活動を実施
平成19年	5 月	インターネット予約開始
	11 月	図書館広域利用事業開始（松本広域圏内の住民又は広域圏内に通勤・通学していれば、広域圏内9市町村のどこの図書館でも利用可能）
平成20年	10 月	DVDの貸出を開始
平成21年	5 月	信州大学医学部附属病院こまくさ図書室との連携を開始（貸出、返却、予約資料の受渡し等が可能）
平成22年	7 月	信州大学附属図書館との連携を開始（覚書締結） 図書館資料返却、相互貸借の活用、共催事業の実施
平成23年	1 月	視覚障がい者用デジタル図書（デージー図書）貸出し開始
平成24年	4 月	図書館システムの更新、携帯電話からの予約開始
	12 月	図書館ホームページの開設
平成25年	1 月	山岳図書コーナーの充実（書架を増設し1,500冊から3,500冊に増加）
	4 月	「図書館だより」発行（以降毎月1回発行）
	10 月	学都松本子ども読書活動推進計画を策定
平成27年	1 月	国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始
平成28年	4 月	Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設
平成30年	3 月	アルプス公園「森の文庫」開設
平成30年	4 月	図書館システムの更新、中央図書館にセルフ貸出機設置 『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設
平成31年	2 月	第2次学都松本子ども読書活動推進計画を策定
	4 月	セカンドブック事業（3歳児への絵本贈呈事業）開始
令和元年	8 月	学都松本子ども読書活動推進委員会を設置
令和2年	7 月	松本市中央図書館あり方検討委員会を設置
令和3年	2 月	上記委員会から教育委員会に報告書を提出
令和4年	8 月	市町村と県による協働電子図書館（デジとしょ信州）へ参加
	10 月	松本市図書館未来プランを策定
令和5年	4 月	松本市図書館のX（旧 Twitter）アカウントを開設
	5 月	サードブック事業（小学校1年生のクラスへのブックセット設置事業） 開始
	10 月	「アクセシブルライブラリー」受付開始
令和6年	2 月	「ライブラリーレーまつもと」「暮らしに役立つ図書館講座」開始
	3 月	図書館利用登録等（新規、再発行、更新）の電子申請開始

- 4 月 資料延滞連絡メール送信サービスの開始
10 種類目となるオンラインデータベース「中日新聞・東京新聞記事データベース」の提供を開始
- 9 月 図書館システムの更新、「スマホ de カード」開始
- 10 月 村井駅サービスポイントを開設
- 11 月 四賀公民館図書室サービスポイントを開設

3 重点施策

(1) 資料の収集と整理・保存の効率的な管理

中央図書館の蔵書数は建設時想定の 60 万冊を超えていることから、将来に向けた学都松本らしい特色ある図書館のあり方を検討し、選書基準、分館からの移管基準の見直し明確化を図るとともに、令和 7 年度中に I C タグによる管理を実施し、引き続き資料収集の具体的な到達点の設定や除籍の適正量、基準の明確化及び地域資料のデジタル化の検討を行います。

(2) 松本市図書館未来プランに基づく事業の推進

令和 4 年 10 月に策定した松本市図書館未来プランに位置付けられた施策の柱及び具体的な取組みに沿って事業を推進し、基本理念「出会う つながる ガク都の広場」を具現化するための取組みを推進します。

(3) 子どもの読書活動の推進

松本市教育振興基本計画に基づき、子どもが読書に親しめる環境づくり、子どもの読書活動の普及、啓発及び子どもと本をつなぐ人材の育成、家庭・地域・団体・学校・施設等の連携体制づくりを進めます。

(4) 図書館からの情報発信

市民に図書館をより身近に感じていただき、図書館の利用促進を図るため、図書館からの情報発信を行っています。

- 平成 24 年 12 月 図書館ホームページの開設
- 平成 25 年 4 月 「図書館だより」を月 1 回発行
- 平成 26 年 4 月 FM まつもとの「まつもと日和」に月 1 回出演
- 平成 28 年 4 月 Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設
- 令和 5 年 4 月 X (旧 Twitter) アカウントを開設

(5) 図書館利用者サービスの充実

中央図書館では、夏期の土・日曜日及び休日の開館時間の延長を実施しているほか、平成 30 年 4 月から休日の翌日振替休館を廃止して利用者サービスの充実を図りました。本郷図書館でも、令和 4 年度は土・日曜日、令和 5 年度は平日及び土・日曜日の夏期の開館時間の延長を実施しました。

平成 30 年 4 月に更新した図書館システムの貸出履歴保存機能や読書マラソン機能などの新たな機能を活用して、利用者の読書活動の推進や利便性の向上を図りました。また、図書館ホームページのリニューアルに合わせて松本市図書館、松本市美術館コレクション、まつもと

の文化財、松本まるごと博物館収蔵品、全国遺跡報告総覧（松本市が発行した資料）、松本市文書館収蔵目録検索等を横断検索できる外部サイト『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設しました。

令和4年8月から県と市町村による協働図書館「デジとしょ信州」へ参加し、令和5年度10月から、視覚に障がいがある方のためのアクセシブルライブラリーの利用登録を開始しました。令和6年3月から図書館利用者カード新規登録、再発行、更新（有効期間の更新、登録内容の変更）、デジとしょ信州の利用登録について電子申請で受付を開始しました。

令和6年10月から村井駅2階待合・学習スペース及び村井駅サービスポイントを開設、令和6年11月から四賀公民館図書室にサービスポイントを開設し、予約資料の受け取りと返却を可能としました。

（下：村井駅サービスポイントチラシ、松本市図書館ホームページ「四賀公民館図書室内に図書館サービスポイントを新設しました」から引用）

**村井駅2階待合・学習スペースに
図書館サービスポイントを新設します！！**

図書館サービスポイントでは、こんなことができます。



POINT 1 予約資料の受取

窓口やパソコン、スマートフォンで予約した松本市内図書館で所蔵する資料（本、雑誌、CD、DVD）を受け取ることができます。

◆ 予約資料受取可能時間
平日：16：00～20：00、土・日：14：00～17：00

◆ サービスポイント休止日
月曜日・祝日・毎月第4金曜日・年末年始



POINT 2 資料の返却

松本市内の図書館で借りた本を返却出来ます。ブックポストは24H返却可能です。視聴覚資料（CD、DVD）は窓口へ直接ご返却ください。



2Fイメージ図

POINT 3 待合・学習スペース

サービスポイントは、2階の待合・学習スペースに併設しています。Wi-Fiも利用可能です。公共交通の待ち時間や勉強にもご利用ください。

◆ 2階待合・学習スペース
利用可能時間：9時～20時
学習席：33席（内コンセント付き13席）

◆ 閉場日 年末年始

松本市図書館
Matsumoto City Library

〒390-0861 松本市蟻ヶ崎2-4-40
電話：0263-32-0099 FAX:0263-37-1148

四賀公民館図書室に

松本市図書館サービスポイントができました！

- サービスポイントでできること
松本市図書館ホームページや窓口で予約した資料（図書、雑誌、CD、DVD）の受け取りと返却ができます。
これまで利用登録のない方も電子申請していただくと、市図書館に行かなくても本を取り寄せることができます！

※ 本の予約や利用者登録は公民館図書室窓口では受付できません。予約・利用者登録電子申請は右記QRから図書館HPへ。



- サービス利用時間・サービス休止日
四賀公民館図書室開館時間と同じ

【問い合わせ】

松本市中央図書館 松本市蟻ヶ崎 2-4-40 TEL32-0099 FAX37-1148



4 事業の内容

(1) 個人貸出

全館合わせて一人10点まで、そのうちCD、映像資料（ビデオテープ、DVD）は合わせて5点まで、2週間の貸出を行います。松本市図書館11館及びサービスポイントのどこでも貸出、返却ができます。

(2) 団体貸出

中央図書館にある団体貸出専用書架から地区公民館、保育園・幼稚園・小中学校、児童館・児童センター・児童育成クラブ、読書会等の、構成員が10名以上の団体に500冊以内で一般団体は6か月以内、児童対象の団体は3か月以内の貸出をします。

(3) 調査・相談（レファレンス）サービス

日常生活の中での疑問や本に関する質問などについて、図書館の資料を使って回答したり、調査研究のお手伝いをしています。令和6年度は11,610件の問い合わせがありました。

(4) 予約（リクエスト）サービス

館内に希望の資料が無いとき、他館からの回送、返却待ち予約を受付けています。また、館内に所蔵のない資料は、購入や国立国会図書館、県立・市町村図書館等からの相互貸借により資料を取り寄せて提供しています。インターネットによる資料検索予約システムの普及に伴い、令和6年度のweb予約件数は、222,900件で予約総件数の89.3%を占めています。

(5) 複写サービス

著作権法第31条に基づき、所蔵資料の複写サービスを行っています。また、中央図書館ではパソコンを4台設置して、国立国会図書館デジタル化資料及び信濃毎日新聞、朝日新聞、官報、法情報総合データサービス、ジャパンナレッジLib、理科年表、日経テレコン、ルーラル電子図書館、中日新聞・東京新聞、MieNaのデータ資料の閲覧・複写サービスを行っています。

(6) 児童サービス

ア おはなし会

各館で、定期的に子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせ、おはなし、紙芝居などによるおはなし会を行って、子どもたちや保護者に楽しい本の世界を紹介しています。令和6年度は、11館合計で233回(出前講座40回を含む)のおはなし会を行いました。

イ ブックススタート事業

乳児を持つ親が赤ちゃんと一緒に楽しいひと時を持っていただくことを目的として、10か月健診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「いっしょによもうね・こんにちはえほん」（0～3歳対象）を配布しています。令和6年度は、1,379人に配布しました。

ウ セカンドブック事業

ブックススタートのフォローとして、親子で絵本を楽しむ時間のきっかけづくりを目的として、3歳児健診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「なかよしえほん」（3～5歳対象）を配布しています。令和6年度は、1,693人に配布しました。

エ サードブック事業

小学校での学習が始まる時期に、友達と一緒に楽しみながら多くの知識を得て文化を理解することを目的として、松本市内の小学校 1 年生の教室にブックセット「わくわくブック」を設置しています。令和 5 年 5 月から開始し、令和 6 年度にかけて市立 28 校へ 53 セット、国立 1 校へ 2 セット、私立 2 校へ 2 セット設置しました。

(7) 障害者サービス

ア やまびこ文庫

心身の障がいや高齢等で図書館へ来館するのが難しい方を対象に、図書館の本、CD、カセットテープ、点字図書、デージー図書等を、毎月 1 回、自宅や入居施設に配達しています。

令和 6 年度は、45 人に 2,932 冊の宅配を行いました。

イ 対面朗読

視覚障がい者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、中央図書館の対面朗読室や自宅にて、利用者の要望に応じて、ボランティア団体「朗読ふれあいの会」が対面朗読をしています。

令和 6 年度は、学校等を含む 8 カ所で 98 回の対面朗読を行いました。

ウ デジタル録音図書（デージー図書）貸出

視覚障がい者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）から借り受けたデージー図書を、郵送により貸出しています。また、デージー化されていない図書は、ボランティア団体「長野県赤十字音訳奉仕団」がデージー図書を製作しています。

(8) 講演会・講座の開催

読み聞かせ等の各種講座や講演会、リサイクル本の提供、クリスマス会など、読書普及のための様々な催しを各館で行っています。令和 6 年度は、11 館合計で 306 回行いました。

(9) 信州大学医学部附属病院こまくさ図書室との連携

松本市図書館の分館機能を有する図書室として、入院・通院患者や一般利用者に、貸出、返却、予約資料の受け渡し等を行っています。

(10) 公民館図書室との連携

平成 23 年度から図書館資料を四賀地区、奈川地区の公民館図書室で返却ができるサービスを行っています。令和 6 年度は、奈川公民館図書室で 46 冊の利用がありました。なお、四賀公民館図書室に令和 6 年度 11 月からサービスポイントを開設し、返却に加え予約資料の受け取りができるサービスを行っています。

(11) 図書館サポーター制度

市民との協働による図書館づくりの一環として平成 18 年 10 月に始めた図書館サポーター制度は、館内の書架整理（返却された本を書架に戻す作業や書棚の整頓）や利用案内等を行っていただくとともに、市民目線からの図書館への意見をいただくなど、図書館サービスを支える活動を行っています。

(12) 雑誌スポンサー制度

中央図書館の図書資料（雑誌）を広告媒体として活用することにより、民間事業者の情報発信の場を提供するとともに、図書資料の充実を図ることを目的として、平成27年4月から雑誌スポンサー制度を導入しています。令和6年度は、5社（6誌）の協力がありました。

5 施設の概要

(1) 中央図書館

旧開智学校をうつしだすガラスばりの中央図書館			
位 置	松本市蟻ヶ崎2丁目4番40号	電 話	32-0099
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	建築面積	1,932.25㎡
延床面積	4,831.64㎡	開 館	平成3年10月1日
開 館 時 間	平日：9時30分～19時 土・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日（以降「休日」という）： 9時30分～17時		
休 館 日	月曜日（休日のときは開館し、翌日振替休館。翌日も休日の場合は振替休館なし）、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日にあたるときは前日）、 特別整理期間／年間15日以内		

(2) 南部図書館

カリヨンのひびくなんなんひろばの南部図書館			
位 置	松本市芳野4番1号	電 話	26-1083
構 造	鉄筋コンクリート造3階建の内	面 積	530.9㎡
開 館	昭和62年4月 図書室 平成2年5月 分館		
開館時間	平日・土曜日：10時～22時 日曜日：10時～17時		
休 館 日	火曜日、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）、特別整理期間／年間15日以内		

(3) あがたの森図書館

ヒマラヤ杉とけやきの森に囲まれた木造のあがたの森図書館			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1761
構 造	木造2階建の内	面 積	198.31㎡
開 館	昭和54年10月1日		
開館時間	平日：10時～19時 土・日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）、特別整理期間／年間15日以内		

(4) 鎌田図書館

風見鶏の見守る中、子どもたちの元気な声のひびく鎌田図書館			
位 置	松本市両島 5 番 5 0 号	電 話	2 6 - 0 3 4 1
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建の内	面 積	245.68 m ²
開 館	昭和 59 年 6 月 図書室 平成 2 年 4 月 分館		
開館時間	平日：10 時～18 時、土・日曜日：10 時～17 時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日、毎月第 4 金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び 当日）、特別整理期間／年間 15 日以内		

(5) 寿台図書館

山のふもとの、小さい白い土蔵造りの寿台図書館			
位 置	松本市寿豊丘 6 4 9 番地 1	電 話	5 8 - 7 1 6 7
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建の内	面 積	216 m ²
開 館	平成 3 年 4 月 図書室 平成 5 年 4 月 分館		
開館時間	火～日曜日：10 時～17 時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日、毎月第 4 金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び 当日）、特別整理期間／年間 15 日以内		

(6) 本郷図書館

桜並木に囲まれた、かわら屋根の本郷図書館			
位 置	松本市浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号	電 話	4 6 - 1 2 6 2
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建の内	面 積	220.80 m ²
開 館	平成 6 年 4 月 図書室 平成 11 年 4 月 分館		
開館時間	火～日曜日：10 時～17 時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日、毎月第 4 金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び 当日）、特別整理期間／年間 15 日以内		

(7) 中山文庫

のどかな山間に、レトロなバスがシンボルの中山文庫			
位 置	松本市大字中山 3 5 3 3 番地 1	電 話	5 8 - 5 6 6 6
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 1 階建	面 積	669.88 m ²
開 館	平成 13 年 4 月		
開館時間	火～日曜日：10 時～17 時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日、毎月第 4 金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び 当日）、特別整理期間／年間 15 日以内		

(8) 島内図書館

北アルプスを望む、田園地帯に文化薫る島内図書館			
位 置	松本市大字島内4970番地1	電 話	48-2711
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	面 積	470.1 m ²
開 館	平成13年5月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）、特別整理期間／年間15日以内		

(9) 空港図書館

空の玄関、信州まつもと空港に隣接し、緑豊かな松林の中の空港図書館			
位 置	松本市大字今井4237番地1	電 話	86-8460
構 造	鉄骨造平屋建	面 積	408.25 m ²
開 館	平成14年4月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）、特別整理期間／年間15日以内		

(10) 波田図書館

緑豊かな河岸段丘に、子どもの笑顔があふれだす波田図書館			
位 置	松本市波田10106番地1	電 話	92-7503
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建の内	面 積	1,106 m ²
開 館	平成7年4月（旧波田町立図書館として開館） 平成22年3月31日 合併により松本市「波田図書館」となる		
開館時間	4月～11月 火～金曜日：10時～19時、土・日曜日・休日：10時～17時 12月～3月 火～日曜日・休日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日の翌日（当該日が土曜日、日曜日又は休日に当たる時は、当該日以後の休館日を除いた最初の平日）、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日にあたる時は前日）、 特別整理期間／年間15日以内		

(11) 梓川図書館

大きなガラス窓と、太陽光発電設備を備えた梓川図書館			
位 置	松本市梓川倭562番地1	電 話	76-2070
構 造	鉄骨造2階建	面 積	595.35 m ²
開 館	平成24年5月11日		
開館時間	火～日曜日：10時～18時		
休 館 日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）、特別整理期間／年間15日以内		

(12) 村井駅サービスポイント

村井駅2階で予約資料の受け取りと返却のサービスを提供			
位 置	松本市村井町南1丁目36-14（村井駅舎2階）	電 話	32-0099(中央図書館)
構 造	鉄骨造3階建の内	面 積	待合・学習スペース 84.71 m ² 事務室 27.21 m ²
開 設	令和6年10月26日		
サービス提供時間	平日：16時～20時 土日：14時～17時		
サービス休止日	月曜日（当日が休日に当たるときは当日及び翌日）、休日、 12月29日～翌年1月3日、毎月第4金曜日（当日が休日に当たるときは前日及び当日）		

(13) 四賀公民館図書室サービスポイント

四賀公民館図書室内で予約資料の受け取りと返却のサービスを提供			
位 置	松本市会田1001番地1	電 話	32-0099(中央図書館)
構 造	鉄筋コンクリート造3階建の内	面 積	170 m ²
開 設	令和6年11月6日		
サービス提供時間	平日：10時～18時 土曜日・日曜日・休日：10時～17時		
サービス休止日	月曜日（当日が休日に当たるときは翌日）、 12月29日～翌年1月3日		

6 松本市図書館利用状況

	開館日数（日）			登録者数（人）※			蔵書数（冊）		
	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6
中 央 図 書 館	286	285	284	21,653	23,946	20,994	700,897	713,300	706,179
対前年比%	—	—	—	98	111	88	101	102	99
南 部 図 書 館	279	268	273	8,555	9,419	8,219	77,711	77,678	77,637
対前年比%	—	—	—	97	110	87	103	100	100
あがたの森図書館	276	267	271	3,112	3,344	2,860	27,905	25,788	25,329
対前年比%	—	—	—	96	107	86	102	92	98
鎌 田 図 書 館	279	278	271	2,120	2,322	2,007	34,060	34,437	34,559
対前年比%	—	—	—	98	110	86	102	101	100
寿 台 図 書 館	279	278	271	2,132	2,323	2,023	30,050	30,014	30,183
対前年比%	—	—	—	94	109	87	101	100	101
本 郷 図 書 館	279	278	271	2,104	2,335	2,157	36,928	38,081	38,785
対前年比%	—	—	—	101	111	92	101	103	102
中 山 文 庫	277	278	271	812	883	772	170,017	171,310	171,569
対前年比%	—	—	—	96	109	87	101	101	100
島 内 図 書 館	278	277	271	2,018	2,247	2,044	39,971	38,798	37,537
対前年比%	—	—	—	97	111	91	99	97	97
空 港 図 書 館	278	277	271	3,384	3,711	3,163	48,154	49,024	49,505
対前年比%	—	—	—	96	110	85	102	102	101
波 田 図 書 館	277	278	273	3,663	4,024	3,457	102,821	102,735	102,024
対前年比%	—	—	—	96	110	86	101	100	99
梓 川 図 書 館	278	277	271	2,124	2,361	2,029	56,037	57,244	57,531
対前年比%	—	—	—	95	111	86	101	102	101
村井駅サービスポイント			118						
対前年比%			—						
四賀サービスポイント			124						
対前年比%			—						
合 計	—	—	—	51,677	56,915	49,725	1,324,551	1,338,409	1,330,838
対前年比%	—	—	—	97	110	87	101	101	99

※有効期限切れ2年以上の登録者のデータを削除しています。

貸出数（冊）			予約（冊）			調査相談（件）		
R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6
574,314 100	586,765 102	597,605 102	52,830 101	54,342 103	55,540 102	3,285 87	4,390 134	4,083 93
244,245 97	234,549 96	243,571 104	45,333 98	44,003 97	45,226 103	629 134	449 71	1,039 231
77,019 86	70,061 91	74,906 107	22,238 97	23,175 104	23,922 103	1,337 93	870 65	953 110
79,697 102	77,049 97	72,789 94	18,573 118	17,687 95	17,099 97	212 60	190 90	245 129
68,244 96	67,666 99	71,384 105	17,083 99	16,608 97	18,202 110	650 86	463 71	710 153
97,956 104	95,657 98	92,132 96	16,057 106	16,469 103	16,923 103	543 75	1,291 238	2,276 176
47,940 98	44,037 92	39,895 91	8,138 112	7,961 98	7,242 91	424 85	434 102	398 92
65,690 93	71,391 109	76,717 107	15,267 94	15,924 104	16,636 104	629 91	497 79	808 163
93,758 92	88,865 95	84,261 95	17,036 103	16,420 96	16,084 98	842 92	581 69	262 45
92,833 95	91,521 99	89,675 98	12,106 94	12,143 100	13,741 113	381 91	416 109	333 80
82,304 97	73,177 89	69,494 95	14,954 100	15,246 102	15,112 99	283 165	304 107	503 165
		3,378 —			3,590 —			
		271 —			264 —			
1,524,000 97	1,500,738 98	1,516,078 101	239,615 101	239,978 100	249,581 104	9,215 90	9,885 107	11,610 117

市町村と県による協働電子図書館

	登録者数（人）	蔵書数（点）	貸出数（点）
令和４年度（８月～）	746	21,195	4,781
令和５年度	1084	27,963	4,913
令和６年度	1874	25,050	7,615

※蔵書数（点）は県内全体の数

臨時閉館

令和３、４年度	あがたの森図書館	あがたの森文化会館耐震対策工事に伴う移転のため	3/25～4/6
令和４年度	波田図書館	L E D照明更新工事のため	6/20～6/24
令和５年度	全館	図書館システムサーバ更新のため	9/22～9/26
	南部図書館	松南地区公民館改修工事に伴う休館のため	9/18～10/3
	あがたの森図書館	あがたの森文化会館耐震対策工事終了に伴う移転のため	3/15～3/29
令和６年度	全館	図書館システム更新のため	9/12～9/25

７ 団体貸出等利用状況（中央図書館）

	R 4		R 5		R 6	
団体区分	年間利用冊数	施設団体数	年間利用冊数	施設団体数	年間利用冊数	施設団体数
読書会	冊 345	団体 1	冊 312	団体 1	冊 362	団体 1
高齢者施設	1,441	5	1,746	5	1,544	5
児童施設	9,980	24	9,091	24	9,075	21
学 校	827	5	935	4	1,568	7
地区公民館	10,313	13	8,725	13	8,435	14
市施設等	2,881	4	2,439	4	1,998	3
計	25,787	52	23,248	51	22,982	51
障がい者等家庭配本	冊 3,344	人 57	冊 2,666	人 44	冊 2,932	人 45

第4編

歴史・文化遺産の保護と活用

（文化財、博物館、松本城）



針塚古墳現地学習（文化財課）



博物館オープニングイベント 須々岐水神社木遣り
（博物館）

I 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進

1 概 要

松本市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、多くの有形文化財が存在しています。また、地域に伝わる伝統的行事や技術など無形の文化財も、先人たちの努力によって今日まで引き継がれてきました。このような歴史や文化を守り、継承していくため、有形・無形または指定・未指定の文化財を総合的に把握し、文化財を活かしたまちづくりを市民が主体的に取り組みながら、積極的な整備と活用を目指します。

2 沿 革

昭和 31 年 4 月	松本市文化財保護条例を制定
昭和 33 年 3 月	松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則を制定
昭和 36 年 1 月	筑摩神社拝殿ほか 6 件を松本市重要文化財等に指定（初めての市指定文化財）
昭和 51 年 2 月	弘法山古墳が史跡指定
昭和 57 年 7 月	松本市文化財保護事業補助金交付要綱を制定
平成 9 年 2 月	針塚古墳が長野県史跡指定
平成 22 年 2 月	特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画を策定
4 月	殿村遺跡史跡整備事業を開始
平成 23 年 6 月	松本市歴史的風致維持向上計画を国が認定
平成 25 年 4 月	松本市歴史文化基本構想策定事業を開始
平成 26 年 4 月	松本市文化財保護事業補助金交付要綱を一部改正
平成 29 年 2 月	小笠原氏城跡が史跡指定
3 月	特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画（改訂版）を策定
平成 30 年 2 月	松本市歴史文化基本構想を策定
11 月	まつもと文化遺産認定制度を施行
平成 31 年 2 月	松本市文化財保存活用地域計画を策定
	史跡小笠原氏城跡に林城跡小城が追加指定
4 月	松本市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を創設
令和 元年 7 月	松本市文化財保存活用地域計画を国が認定
9 月	旧開智学校校舎が国宝指定
令和 2 年 2 月	特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を策定
3 月	同天然記念物に指定地域が追加
5 月	特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を国が認定
令和 4 年 3 月	史跡小笠原氏城跡保存活用計画を策定
令和 6 年 3 月	史跡小笠原氏城跡整備基本計画を策定
令和 7 年 4 月	文化観光部へ文化財課移管

3 事業の内容

(1) 文化財の保存・管理 [文化財保護法、松本市文化財保護条例]

ア 文化財の指定等

- (ア) 国指定文化財 指定はありませんでした。
- (イ) 県指定文化財 指定はありませんでした。
- (ウ) 市指定文化財
 - ・ 廣澤寺蔵 元版五燈会元

- ・師岡総本家伝来松本城中絵図（水野氏時代松本城下町絵図）
- ・元禄期松本城下絵図
- (エ) 国登録有形文化財
 - ・旧犬飼呉服店店舗兼主屋・土蔵
 - ・旧横内医院
 - ・宮海道堰堤
- (オ) 市登録文化財 登録はありませんでした。
- イ 市所有文化財の保存整備

市が所有する文化財を適正に保存・管理するため、破損・腐朽箇所の修理、補修や活用のための整備等を実施しています。

令和6年度は、以下の整備等を実施しました。

 - ・史跡弘法山古墳の遊歩道階段補修と桜剪定
 - ・県宝橋倉家住宅の建具修繕
 - ・市特別史跡源智の井戸囲い石補正
 - ・市特別史跡及び天然記念物槻井泉神社の湧水とケヤキの橋修繕
- ウ 文化財に関する調査

文化財的価値を把握し、指定等の必要性を検討するため、文化財審議委員会の委員等とともに、市内にある文化財の調査を実施しています。

令和6年度は、「石川家関連文書」、「殿野入春日社の鳥指舞」などの調査を実施しました。

(2) まつもと文化遺産活用事業

まつもと文化遺産保存活用協議会を1回開催し、新たに「虚空蔵山と善光寺街道～祈りの道～」をまつもと文化遺産に認定し、合計9件となりました。また、令和4年度にSNSでロゴ案投票を募り協議会で検討、作成したロゴマークの活用を推進し、2件の認定団体の活動に補助金を交付しました。

(3) 埋蔵文化財保護事業 [文化財保護法]

ア 発掘調査

文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の状況を確認するための試掘調査や、各種開発により破壊される埋蔵文化財を記録保存するための発掘調査を行いました。

(ア) 補助事業 2件（松本城南外堀跡7次・西外堀跡6次）

松本城南・西外堀整備事業に伴い、松本城南外堀跡において堀の形状や深度を確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、前年同様に、堀の範囲を示す木杭列が見つかりました。

(イ) 受託事業 1件（平田北遺跡7次）

(ウ) 市単独事業 4件3遺跡（島内山田遺跡4次、北部古窯址群6次・7次）

イ 整理作業・報告書作成

出土遺物等の室内整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行しました。

(ア) 市単独事業 5件4遺跡（小池遺跡1・3次、本郷高田遺跡1次・柳田3次・県町16次）

ウ 発掘報告会と速報展の開催

令和6年に実施した発掘調査の成果について、報告会と速報展を開催したほか、動画による配信を行いました。あがたの森文化会館で開催した報告会は148名が参加、松本市立考古博物館で開催した速報展の開催期間中の入場者数は1,106人でした。動画は5年度の報告会の内容の6本を配信し配信開始から2か月で延べ2,237回の再生回数がありました。

エ 試掘等の市内遺跡確認調査

年度	試掘確認調査	工事立会調査
令和4年度	31件	316件
令和5年度	31件	304件
令和6年度	28件	337件

オ 文化財保護法に基づく届出書処理事務

年度	92条届出(調査)	93条届出(民間工事)	94条通知(公共事業)
令和4年度	3件	377件	24件
令和5年度	5件	339件	32件
令和6年度	5件	373件	24件

(4) 殿村遺跡史跡整備事業

史跡指定を目標に、文化庁が示す「指定相当の埋蔵文化財」リストへの掲載に向けた、遺跡の価値付けについてさらなる検討を行いました。

(5) 小笠原氏城館群史跡整備事業

史跡小笠原氏城跡（井川城跡、林城跡（大城、小城））の今後の具体的な整備内容を定めた整備基本計画をもとに、支障木伐採や石垣三次元測量などの整備事業を行いました。また、林城跡（大城）の主体部の遺構状況を把握するため、発掘調査を実施しました。

(6) 史跡弘法山古墳再整備事業

ア 史跡弘法山古墳発掘調査の実施

墳丘の規模や形状を明らかにするため、昭和49年以来となる発掘調査を令和2年度から5年度に実施し、墳丘裾部等を確認し一連の調査を終了しました。また、令和7年度の発掘調査報告書刊行に向け、令和2年度から5年度の発掘調査成果の整理及び昭和49年の発掘調査成果の再検討を実施しました。

イ 周辺古墳群発掘調査の実施

東海大学との協働事業として、史跡弘法山古墳周辺の古墳について令和元年度から5年度に調査を実施しました。また、発掘調査報告書刊行に向け、調査成果の整理を実施しました。

ウ 史跡弘法山古墳発掘50周年記念事業の実施

令和6年度は、弘法山古墳の初めての発掘調査が実施された昭和49年から50周年にあたることから、講演会及び企画展を実施しました。講演会はMウイングで開催し、参加者は125人でした。また、企画展は松本市立考古博物館で開催し、令和6年度の開催期間の考古博物館の観覧者数は1,106人でした（令和7年5月まで開催）。

(7) 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

ア 公開エリアの環境整備の実施

観察路などを整備した噴湯丘や石灰華の公開エリアで、保存や観察に支障のある下草を刈り払うとともに、コケや落ち葉などを除去しました。

イ 活用のための情報発信

引き続き観光案内所で球状石灰石の展示及び各旅館等へ説明リーフレットの配置を継続したほか、市の公式 Youtube チャンネル掲載の開設動画について、白骨温泉各旅館の客室に QR コードを掲示してもらうなど、さらなる情報発信に努めました。

ウ 見学会の開催及び学校学習支援

市民や地元小学生などを対象にした現地見学会・体験学習会を実施したほか、各団体の見学会等において現地にて説明を行うことで、文化財への理解を深め、活用に向けた機運を高めました（延べ7回開催・124名参加）。

(8) 文化財保護のための補助事業

〔松本市文化財保護条例、松本市補助金交付規則、松本市文化財保護事業補助金交付要綱〕

ア 文化財保護事業補助金交付制度概要

貴重な文化財を後世に引き継ぐため、文化財所有者等の負担を軽減する措置として、松本市文化財保護事業補助金交付制度を昭和57年に制定しました。

令和元年度には、松本市文化財保護事業補助金交付要綱の改正を行い、市登録文化財等の修理等事業に対する補助制度を新たに創設しました。

対象事業	補助対象経費	補助額
1 文化財保護法（昭和25年法律第214号。以下「法」という。）の規定による国の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から国及び県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の6以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
2 文化財保護条例（昭和50年長野県条例第44号）の規定による県の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
3 松本市文化財保護条例（昭和51年条例第41号。以下「条例」という。）の規定による指定文化財・選定保存技術の管理及び保護のために行う事業	(1) 修理事業 指定文化財の保存のために 行う修理及び環境整備事業に 要する経費のうち、市長が認 めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。
	(2) 管理事業 指定文化財の保護のために 行う防災上の工事及び修理に 要する経費のうち、市長が認 めた経費	
	(3) 伝承事業 指定文化財の伝承者の養成 及び公開のために必要な事業 に要する経費	市長が別に定める額
	(4) 保存事業 選定保存技術の伝承者の養成 及び技術の練磨のために必要 な事業に要する経費	
	(5) 松本城下町の舞台の保存 のために行う修理事業に要す る経費のうち、市長が認めた 経費 (6) 戸田家廟園、水野家廟所、 御殿山小笠原家廟所及び広沢 寺小笠原家墓所の保存のため に行う修理事業に要する経費 のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が700万円を超えるときは700万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。

4 法の規定による登録有形文化財（松本市近代遺産登録要綱（平成29年告示第82号）の規定により松本市近代遺産として登録された建造物に限る。）の管理及び保存のために行う事業	(1) 修理事業 登録有形文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費 (2) 管理事業 登録有形文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。
5 条例の規定による登録文化財の管理及び保存のために行う事業	(1) 修理事業 登録文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費 (2) 管理事業 登録文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。
6 文化財に関係のある地区史又は旧村史等の発行の事業	当該事業に要する経費で調査費及び印刷費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の3以内の額とし、その額が80万円を超えるときは、80万円とする。
7 国、県若しくは市が指定した文化財又は市が認定したまつもと文化遺産に対し、保存、活用及び教育普及を目的として活動する団体が行う事業で、地域づくりに資する事業として市長が認めたもの	当該事業に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の8以内（委託に係る経費は、10分の5以内）の額とし、その額が5万円を超えるときは5万円とする。ただし、史跡等の管理に係る原材料費、消耗品及び燃料費については、5万円の範囲内で実費相当額を加算することができる。

イ 令和6年度の補助金交付事業

(ア) 修理事業・管理事業

以下の5件の事業について、合計 4,601,000円を交付しました。

- ・ 県宝里山辺お船祭のお船（兎川寺）修理事業
- ・ 県天然記念物梓川のもみ整備事業
- ・ 市重要文化財南方諏訪社本殿屋根葺替事業
- ・ 市天然記念物古池氏屋敷林整備事業
- ・ 市重要文化財西善寺彈誓上人立像保存事業

(イ) 保存・活用等事業（団体活動補助）

以下の10件の事業について、合計 644,000円を交付しました。

- ・ 小笠原氏城跡（林城跡）保存管理事業
- ・ 針塚古墳保存管理事業
- ・ 若澤寺跡保存管理事業
- ・ 平瀬城跡保存管理事業
- ・ 餌差町十王堂管理事業
- ・ 内田のササラ踊り保存伝承事業
- ・ 島立堀米の裸祭り保存伝承事業
- ・ 島内の鳥居火保存伝承事業
- ・ 奈川獅子保存伝承事業
- ・ 両島のお八日念仏と足半保存伝承事業

(ウ) まつもと文化遺産保護事業

以下の2件の認定事業について、合計 63,000円を交付しました。

- ・松本城下北の要 武家のまちと商家のまち
- ・貞享騒動の記憶

4 松本市内の指定・登録等文化財

(1) 指定・登録等件数の概要 (令和7年5月1日現在)

(単位：件)

指定等区分・種別		指定別	国	県	市	合計
有形文化財	建造物		11	5	26	42
	絵画・彫刻・工芸品		7	11	52	70
	書跡・典籍・古文書		2	0	10	12
	考古資料		0	3	11	14
	歴史資料		0	1	33	34
無形文化財			0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財		3	0	5	8
	無形民俗文化財		0	1	25	26
記念物	史跡		3	4	19	26
	名勝		1	2	10	13
	天然記念物		2	9	40	51
小計			29	36	231	296
登録有形文化財			78	－	7	85
選択無形民俗文化財			2	1	－	3
合計			109	37	238	384

※ 重要美術品2件を国の有形文化財に含めています。

※ 件数は、同一の物件につき、2つの区分に重複して指定が行われている場合（例えば史跡及び天然記念物という指定の場合など）、それぞれの区分につき1件として数えたものです。

Ⅱ 博物館事業の推進

1 概 要

本格的な生涯学習時代を迎え、博物館がその拠点としての重要性をますます高めるなかで、松本市立博物館は令和5年に移転開館しました。その設立は明治39年にさかのぼり、100年余にわたり「学都松本」の屋台骨を支えてきました。現在は松本市域を対象とした資料を収集し、歴史・民俗・自然・産業等に関連した資料を中心に展示しています。

松本市域全体を博物館と考える「松本まると博物館構想」のもと、中核施設である本館と15分館が下記の事業を実施します。

- (1) 市域の歴史・民俗・自然・産業等に関する市民の学習意欲に応えるため、15館が各施設の特徴を活かして、様々な資料の収集・保管、調査研究をし、その成果を活用していきます。
- (2) 市民の生涯学習活動を支援するため、展示（常設展示・特別展示）、刊行物の編集・発行、講座・講演会・体験学習会等を開催します。
- (3) 「地域づくり」「ひとづくり」に資するための様々な事業を市民協働により実施します。

2 沿 革

明治39年	9月 21日	松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀（記）念館と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊
昭和 6年	6月 1日	松本市の管理に移管
昭和12年	9月	松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実
昭和13年	9月 17日	松本記念館として有料開館、観覧料10銭（松本城10銭、共通15銭）
昭和22年	1月 28日	松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称
昭和23年	2月 11日	地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示
昭和27年	7月 21日	県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転
昭和29年	4月 1日	中山村との合併にともない中山考古館（昭和6年開館）を分館に位置付け
昭和30年	4月 22日	七夕人形コレクション45点が重要民俗資料（昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ）に指定
昭和34年	5月 6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料に指定
	12月 18日	孔雀文磬（仏具）1面が国の重要文化財に指定
昭和36年	3月 23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和40年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が教育博物館として開館
昭和41年	4月 1日	財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後松本市立博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
昭和43年	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館が解散され、新財団へ移行
昭和61年	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け（8月2日開館）
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	松本市旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け

平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け（6月5日開館）
	7月10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け
平成15年	4月25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まると博物館友の会が発足
	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月28日	松本市旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学習館・ 梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定
	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	6月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置付け
	12月21日	工女宿宝来屋、市の重要文化財に指定
平成22年	4月29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築しオープン
平成25年	4月27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	11月28日	旧松本区裁判所庁舎、国の重要文化財に指定
平成31年	4月27日	旧山辺学校校舎がリニューアルオープン、分館に位置付け
令和元年	9月10日	旧昭和興業製糸場、国の登録有形文化財に登録
	30日	旧開智学校校舎が国宝に指定
令和 2年	3月 6日	松本市基幹博物館建築工事着工
令和 3年	4月 1日	移転新築のため、松本市立博物館が臨時休館
	6月 1日	耐震対策工事のため、国宝旧開智学校校舎が臨時休館
令和 4年	7月15日	松本市基幹博物館建築工事竣工
	11月14日	松本市基幹博物館展示製作業務完了
令和 5年	10月 7日	松本市立博物館（基幹博物館）開館
令和 6年	10月29日	旧松本市立博物館及び重要有形民俗文化財収蔵庫解体工事着工
	11月 9日	国宝旧開智学校校舎、耐震対策工事・防災設備整備工事が終了し再開館
令和 7年	4月 1日	市長部局文化観光部へ博物館移管

3 事業の内容

博物館法第2条（定義）及び第3条（博物館の事業）、松本まると博物館構想等に基づき、次の事業を行います。

(1) 博物館施設の管理運営

博物館本館および15分館の管理運営を行います。

(2) 博物館資料の収集・保管・調査研究及び展示（常設展・企画展・特別展）

松本市域を含む旧松本藩領の地域の成り立ちや、文化・環境などを学習するうえで必要な博物館事業を実施します。

(3) 「学都松本」の創造に向けた、市民をはじめとする利用者の学習支援

ア 各種講座・講演会・体験学習講座の実施

イ 館ニュース「あなたと博物館」ほか刊行物の編集、発行

ウ 小・中学生親子、転入世帯を対象とした博物館パスポートの発行と利用喚起

エ 教育機関・各種団体への学習会講師の派遣

(4) 児童・生徒・学生の学習支援

ア 博物館実習及び職場体験学習の学生・生徒の受入と指導

イ 学びのきっかけづくりとなるアウトリーチ活動の実施

(5) 市民団体・地域との協働、連携

博物館関係団体主催で、日頃の活動内容や成果を発表する講座、ワークショップ等を開催します。また市民ガイドと連携し、常設展及び街の回遊性へつながるガイドの促進に務めます。

4 活動の状況

(1) 資料受入状況（令和6年度）

（単位：点）

種 別	総 記	考 古	歴 史	民 俗	美 術	その他	合 計
購 入	0	0	0	0	0	0	0
寄 贈	258	0	1,869	526	3	0	2,656
製 作	0	0	0	0	0	0	0
採 集	0	0	0	0	0	0	0
移 管	0	0	0	2	0	0	2
合 計	258	0	1,869	528	3	0	2,658
総 数	9,596	23,155	27,006	39,897	5,722	24,398	129,774

(2) 特別展開催状況（令和6年度）

ア 松本市立博物館（本館）

(ア) 春企画展 収蔵品展「戸田家臣団—松本藩最後の武士団—」

・令和6年4月20日（土）～令和6年6月17日（月）

・観覧者数8,452人（有料5,438人 無料3,014人）

・満足度86%

(イ) 夏特別展「生物多様性と松本 すぐとなりにあるワンダーランド」

・令和6年7月6日（土）～令和6年9月2日（月）

・観覧者数9,148人（有料5,555人 無料3,593人）

・満足度88%

(ウ) 秋特別展 国立科学博物館巡回展「和食—日本の自然、人々の知恵—」

・令和6年10月5日（土）～令和6年12月8日（日）

・観覧者数14,470人（有料9,682人 無料4,788人）

・満足度90%

- (エ) 「年越し新春刀剣展～我が家の名刀・刀装具～」
 - ・令和6年12月20日（金）～令和7年1月20日（月）
 - ・観覧者数10,681人（無料）
- (オ) 冬特別展「春を待つ涅槃図」
 - ・令和7年2月1日（土）～令和7年3月3日（月）
 - ・観覧者数5,250人（有料2,998人 無料2,229人）
 - ・満足度89%
- イ 松本市立考古博物館
 - (ア) 「発掘された松本2024」速報展
 - ・令和7年2月8日（土）～令和7年3月30日（日）（5月6日まで延長）
- ウ 松本市はかり資料館
 - (ア) 工芸の五月参加企画「中町と民芸」
 - ・令和6年4月29日（祝）～令和6年5月31日（金）
 - (イ) 企画展「今昔はかり展」
 - ・令和6年10月30日（水）～令和6年12月26日（木）
- エ 旧制高等学校記念館
 - (ア) 企画展「追悼 柚木沙弥郎展」
 - ・令和6年5月16日（木）～令和6年6月9日（日）
 - (イ) 企画展「松高生と松本のまち」
 - ・令和6年8月10日（土）～令和6年12月22日（日）
 - (ウ) 企画展「小谷隆一 生誕百年回顧展」
 - ・令和7年2月1日（土）～令和7年3月23日（日）
- オ 窪田空穂記念館
 - (ア) セタ展「松本のセタ・2024 星に願いを」
 - ・令和6年7月7日（日）～令和6年8月7日（水）
 - (イ) 企画展「空穂と源氏物語－古典文学の世界」と最新収蔵資料公開展
 - ・令和6年9月6日（金）～令和6年10月27日（日）
 - (ウ) 作品展「松本の子どもの短歌・2024」
 - ・令和7年3月7日（土）～令和7年4月13日（日）
- カ 重要文化財馬場家住宅
 - (ア) 季節展示「端午の節句」
 - ・令和6年4月28日（日）～令和6年6月2日（日）
 - (イ) 季節展示「七夕人形が揺れる縁側」
 - ・令和6年7月6日（土）～令和6年8月12日（月）
 - (ウ) 季節展示「ひなまつり」
 - ・令和7年2月23日（日）～令和7年4月6日（日）
- キ 松本市歴史の里
 - (ア) 建築講座「松本のたてもの2024 ー続・文化住宅と暮らしー」
 - ・令和6年9月14日（土）～令和6年12月1日（日）
- ク 松本市時計博物館
 - (ア) 夏季特別展「美しき古時計とクラフト時計の世界」
 - ・令和6年7月27日（土）～令和6年9月8日（日）

※ 料金設定がない特別展の場合は、観覧者数の把握はない。

5 松本市立博物館（本館）

(1) 施設の概要

松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。松本の今にふれ、未来を思う。 ——まるごと松本を知る旅のスタート地点です。			
位 置	松本市大手 3 丁目 2 番 21 号	電 話	32-0133
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 3 階	延床面積	7,775 m ²
開 館	令和 5 年 10 月 7 日	障害者用設備	スロープ、多目的トイレ、 エレベーター、身障者用駐車場

(2) 部門別面積

(単位：m²)

部 門	総 面 積	比 率	内 訳		
展 示	1,747	22.47%	常設展示室 902	特別展示室 616	
			子ども向け展示室 101	前室 1～4 78	
			導入展示 50		
収 集 ・ 保 存	1,481	19.05%	一般収蔵庫 1 (2 階) 692	収蔵庫前室 1 (2 階) 38	
			一般収蔵庫 2 (3 階) 269	収蔵庫前室 2 (3 階) 49	
			一時保管庫 28	トラックヤード 72	
			荷解室 59	荷物用エレベーター 84	
			展示準備室 1 (2 階) 77	展示準備室 2 (3 階) 78	
			展示パネル収納庫 35		
学 習 支 援	372	4.78%	講堂 159	交流学習室 111	
			図書・情報室 102		
調 査 ・ 研 究	121	1.56%	開架書庫 62	撮影室 47	熟覧室 12
交 流 ・ 情 報 交 換	142	1.83%	市民交流スペース 79		
			会議室 1 32	会議室 3 3	
集 客 ・ 観 光	144	1.85%	ミュージアムショップ 69		
			ドリンクコーナー 54	授乳室 1 14	
			授乳スペース 7		
施 設 管 理	2,551	32.81%	事務室 1 117	事務室 2 36	館長室 25
			行政書庫 34	会議室 2 50	
			委託業者控室 1～2 22	警備中央監視室 29	
			MR1～5 (1 階) 125	MR6～7 (2 階) 389	
			MR8～10 (3 階) 286	電気室 89	
			ピラーボックス置場 2	屋外機置場 55	
			ボンベ室 26	非常用発電機置場 71	
			施設管理者用共用部 645	サーバー室 7	
			金庫 2	ゴミ置場 7	
			掃除用具・洗濯室 7	その他諸室 527	
共用スペース	1,217	15.65%	WC、HWC 178	エレベーター 29	
			ロッカー室 12	エントランスホール 1、2 430	
			廊下、ロビー、パノラミックラウンジ、風除室、階段、吹抜階段 568		
合 計	7,775	100.00%			

6 松本市立博物館（分館）

(1) 国宝旧開智学校校舎

「其身を修め智を開き才芸を長ずる」。近代教育の生き証人、白亜の擬洋風建築校舎——文明開化の息吹きと、教育にかけた人びとの熱意が伝わります。			
位 置	松本市開智 2 丁目 4 番 12 号	電 話	32-5725
概 要	開智学校は明治 9 年（1876）に竣工した、日本で最も古い小学校校舎のひとつです。初等教育を基本としていましたが、小学校にとどまらず、今の学校制度の幼稚園、中学校、高等学校、大学に当たる学校や、博物館などの生涯学習施設がここに設けられました。 立石清重が設計した校舎は、擬洋風学校建築の代表的遺構として令和元年 9 月、新たに国宝に指定されました。また、所蔵する資料は、江戸末期から平成にわたる教育の歩みを示す教科書や学校管理文書など約 11 万点が収められ、うち、建築関係の資料 63 点は国宝附指定になっています。		
構 造	木造 2 階建、棧瓦葺、寄棟、大壁造 中央部八角塔屋附	延床面積	1,283.58 m ²

ア 沿 革

明治 6 年 5 月 6 日 松本藩学（廃藩置県後は筑摩県学）を継承し、開智学校として開校
 明治 9 年 4 月 22 日 旧本町 1 丁目の女鳥羽川沿いに擬洋風校舎を新築、開校。計画は地元住民、設計・施工は松本の大工棟梁立石清重 工費約 1 万 1 千円
 昭和 24 年 5 月 28 日 市立開智小学校本館が重要美術品に指定
 昭和 36 年 3 月 23 日 市立開智小学校本館が学校建築として初めて重要文化財に指定
 昭和 38 年 3 月 31 日 女鳥羽川河川改修工事のため閉校
 5 月 28 日 重要文化財旧校舎の移築復元工事起工（昭和 39 年 8 月 31 日竣工）
 昭和 40 年 4 月 1 日 教育博物館として一般公開開始
 昭和 62 年 10 月 6 日 愛媛県西予市の重要文化財開明学校と姉妹館提携を締結
 平成 10 年 2 月 28 日 『史料開智学校』全 2 1 巻刊行完結（昭和 61 年 3 月着手）
 平成 17 年 11 月 5 日 静岡県松崎町の重要文化財旧岩科学校と姉妹館提携を締結
 令和元年 9 月 30 日 近代学校建築として初めて国宝に指定される
 令和 3 年 6 月 1 日 耐震対策工事に着手し臨時休館
 令和 6 年 11 月 9 日 耐震対策工事・防災設備整備工事が終了し再開館

イ 収蔵資料（建築および教育関係資料等）

国宝附指定文書（明治 7 年～同 10 年）56 冊、図面 7 葉。その他建築関係資料、江戸末期から平成にわたる教育行政、学校管理、教育課程資料、学校日誌、教案、成績物、卒業証書、教科書教材教具など約 110,000 点

(2) 松本民芸館

「美しいものが美しい」——物をして美を語らしめた丸山太郎の思い、名もなき職人の手仕事にふれる癒しの空間です。			
位 置	松本市大字里山辺 1313 番地 1	電 話	33-1569
概 要	陶磁器、木工品、編組品、染織物など「庶民が使用した日常の生活用品」である民芸品を約 6,800 点所蔵し、常設展示・企画展示を合わせて約 1,000 点を展示しています。また、民芸に関する講演会や体験講座も開催しています。		
構 造	木造 2 階建瓦葺土蔵造	延床面積	432.82 m ²
開 館	昭和 58 年 4 月 1 日		

沿 革

昭和 37 年 11 月 3 日 丸山太郎氏創館

昭和 58 年 2 月 1 日 市へ建物と資料を寄贈

平成 15 年 4 月 25 日 リニューアルオープン

(3) 長野県宝旧山辺学校校舎

「山辺に残る村の学び舎」 ——八角塔のある和風校舎は教育にかける村人の心意気を今に伝えます。			
位 置	松本市大字里山辺 2932 番地 3	電 話	32-7602
概 要	昭和 3 年まで利用された校舎内で、山辺学校の建築資料や歴史を中心に、校舎を活かす展示を行っています。2 階では、山辺地区の人々が営んできた暮らしや産業についても展示し、第二次世界大戦中に市内で唯一爆撃を受けた山辺地区ならではの展示として、平和学習の展示スペースも設けています。		
構 造	木造 2 階建	延床面積	623.77 m ²
開 館	昭和 58 年 10 月	障害者用設備	多目的トイレ

沿 革

明治 18 年 山辺学校校舎が村費と村人の寄附によって建築される

明治 19 年 4 月 1 日 山辺学校開校

昭和 3 年 役場庁舎や公民館としての校舎利用開始

昭和 57 年 10 月 全面解体復元工事開始（昭和 58 年 8 月終了）

昭和 58 年 10 月 1 日 山辺学校歴史民俗資料館として開館

昭和 60 年 11 月 21 日 長野県宝に指定

平成 27 年 11 月 耐震工事開始（平成 31 年 3 月終了）

平成 31 年 4 月 27 日 旧山辺学校校舎としてリニューアルオープン

(4) 松本市立考古博物館

考古学は現在を生きる学問 ——モノを通して松本の大地に刻まれた先人の暮らしに出会えます。			
位 置	松本市大字中山 3738 番地 1	電 話	86-4710
概 要	大正 5 年（1916）旧中山村時代に、村内からの考古資料を収蔵・公開する施設としての小学校内の一室から始まります。現在は松本市内の遺跡から出土・採集された考古資料及び松本市教育委員会で実施した埋蔵文化財発掘調査によって出土した考古資料を展示・保存しています。資料総数は約 41,000 点に及びます。平成 15 年度に改修工事を行い、展示内容に体験コーナーを取り入れたものへ更新するとともに、体験学習室を新設しました。また、近接する史跡弘法山古墳のコーナーを設け、出土資料の公開をしています。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	1,036.58 m ²
開 館	昭和 61 年 8 月 2 日	障害者用設備	スロープ

沿 革

大正 5 年 12 月 1 日 中山尋常高等小学校内に考古室が開設

昭和 6 年 6 月 1 日 考古室から中山考古館となる。縄文時代、古墳時代の資料約 5,000 点を収蔵

昭和 27 年 8 月 20 日 博物館法による登録博物館に登録

昭和 29 年 4 月 1 日 中山村は松本市に合併、それに伴い松本市立博物館の分館となる

昭和 32 年 3 月 中山考古館開館準備のため休館
 昭和 32 年 7 月 4 日 中山小学校横に中山考古館として開館
 昭和 61 年 3 月 分館中山考古館を廃止
 8 月 2 日 松本市立考古博物館開館
 平成 16 年 4 月 17 日 リニューアルオープン

(5) 松本市はかり資料館

物差しで測る、天びんで計る、枡で量る。 ——懐かしい昭和の時代がよみがえる、土蔵造りの資料館です。			
位 置	松本市中央 3 丁目 4 番 21 号	電 話	36-1191
概 要	松本市はかり資料館の前身は、明治 35 年（1902）創業の「竹内度量衡店」で、平成元年（1989）に、はかりの歴史や魅力を伝える資料館として開館しました。現在、約 1,300 点を収蔵し、両替天秤・繭の雌雄選別器など 120 点を展示。附属施設の立石清重が設計施工した擬洋風建築の旧三松屋蔵座敷も公開しています。		
構 造	木造瓦葺 2 棟 土蔵造	延床面積	330.8 m ²
開 館	平成元年 8 月 4 日		

ア 沿 革

令和 6 年 旧竹内度量衡店店舗兼主屋西棟、東棟、蔵座敷が市登録文化財に指定

イ 附属施設

名 称	建 築 年	移 築 年	そ の 他
旧三松屋蔵座敷	明治 27 年	平成 23 年	設計施工 立石清重

(6) 松本市旧司祭館

長野県内では現存する最古の西洋館 ——ここからわが国初の日仏辞典、セスラン神父の『和佛大辞典』の編さんが始まりました。			
位 置	松本市開智 2 丁目 6 番 24 号	電 話	32-5725
概 要	明治 22 年に建築された西洋館。県内最古の宣教師館として保存を図るとともに、広く市民の教育文化の向上に資するため、平成 2 年から 3 年にかけて松本城北側の武家屋敷跡から現在地へ移築復元しました。 平成 6 年 3 月 31 日に市重要文化財に、平成 17 年 3 月 28 日には長野県宝に指定されています。		
構 造	木造瓦葺 2 階建	延床面積	202.73 m ²
開 館	平成 3 年 12 月 1 日		

(7) 旧制高等学校記念館

自治と自由と真理の探究 ——未来への憧憬と焦燥、悩める若人の青春群像の舞台です。			
位 置	松本市県 3 丁目 1 番 1 号	電 話	35-6226
概 要	旧松本高等学校及び全国の旧制高等学校に関する資料を収集、保存、展示するとともに、その精神を後世に残し、教育文化の向上に役立てるため、調査研究を行っています。平成 24 年度には常設展示及び空調設備等の改修工事を行い、平成 25 年 4 月 27 日にリニューアルオープンしました。		
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建	延床面積	1,190.48 m ²
開 館	平成 5 年 7 月 10 日	障害者用設備	エレベーター、多目的トイレ

(8) 窪田空穂記念館

この家と共に古りつつ高野槇二百とせの深みどりかも ——歌人・国文学者、窪田空穂のふるさと文学の香り漂う空間です。			
位 置	松本市大字和田 1715 番地 1	電 話	48-3440
概 要	郷土が生んだ歌人、国文学者窪田空穂を偲び、永くその業績を讃えるため、 誕生地である和田に開館しました。空穂の作品や日本古典文学・短歌に関する 資料を展示・紹介しています。		
構 造	木造一部 2 階建 他収蔵庫	延床面積	752.94 m ²
開 館	平成 5 年 6 月 5 日	障害者用設備	多目的トイレ

附属施設

名 称	建 築 年	そ の 他
窪田空穂生家	明治 8 年	本棟造

(9) 重要文化財馬場家住宅

どこか懐かしく、どこか新鮮。 ——本棟造りの建物と豊かな自然環境が織りなす小宇宙、「やまふところの古屋敷」です。			
位 置	松本市大字内田 357 番地 6	電 話	85-5070
概 要	江戸時代末期から明治初期に建築された馬場家住宅は、松本市の南部、内田地区に位置し、主屋は、松本地方の民家建築として特徴のある本棟造です。また、建造物ばかりでなく往時をしのべる屋敷林、土塁等も保存され、古屋敷という屋号を持つ家格にふさわしい雰囲気があります。現在広大な屋敷地は、おおよそ西半分を松本市が寄贈をうけて管理し、東半分を個人が管理しています。平成 8 年 12 月 10 日に主屋等 6 棟の建造物と敷地が重要文化財に指定されました。		
敷地面積	12,297.24 m ²	開 館	平成 9 年 4 月 8 日

重要文化財に指定された物件

名 称	建築年代	延床面積	所有区分
主 屋	嘉永 4 年 (1851)	310.30 m ²	松本市
表門及び左右長屋	安政 6 年 (1859)	72.94 m ²	松本市
中 門	安政 6 年 (1859)	4.52 m ²	松本市
文 庫 蔵	弘化 2 年 (1845)	70.03 m ²	松本市
隠 居 屋	元治元年 (1864)	97.20 m ²	馬場氏
奥 蔵	元治元年 (1864)	115.60 m ²	馬場氏
土 地	面積 12,297.24 m ²		松本市・馬場氏

(10) 松本市歴史の里

たてもの野外博物館！ —— ^{くれきの} 樽木野に移築された懐かしい建物が、信州松本の近代の歩みと文化を教えてください。			
位 置	松本市大字島立 2196 番地 1	電 話	47-4515
概 要	平成 29 年に国の重要文化財に指定された旧松本区裁判所庁舎を中心とした複合施設として、平成 13 年 11 月に（財）日本司法博物館から松本市に移管され、平成 19 年 4 月 28 日にリニューアルオープンしました。信州の近代をテーマに、旧松本区裁判所庁舎のほか、工女宿宝来屋、木下尚江生家、旧松本少年刑務所独居舎房、旧昭和興業製糸場の建造物を移築・保存し、公開しています。		
構 造	木造 2 階建 他	延床面積	2,104.84 m ²
開 館	平成 14 年 4 月 1 日	障害者用設備	多目的トイレ、スロープ

ア 沿 革

昭和 57 年 3 月 （財）日本司法博物館が旧長野地方裁判所松本支部庁舎を移築し、日本司法博物館として開館

平成 14 年 4 月 歴史の里として開館

イ 附属施設一覧

名 称	建築年	旧所在地	移 築 年	文化財指定
旧松本区裁判所庁舎	明治 41 年	松本市丸の内	昭和 57 年	重要文化財 庁舎（門及び資料 2 点） 平成 29 年 11 月 28 日
工女宿宝来屋	江戸後期	松本市奈川川浦	昭和 58 年	市重要文化財 平成 21 年 12 月 22 日
木下尚江生家	江戸後期	松本市北深志	昭和 58 年	
旧松本少年刑務所 独居舎房	昭和 28 年	松本市桐	平成 6 年	
旧昭和興業製糸場	昭和 9 年	諏訪郡下諏訪町	平成 8 年	登録有形文化財 令和元年 9 月 10 日

(11) 松本市時計博物館

廻る歯車が奏でる時のしらべ、ここで無限の時に会う。 ——大切な人と、大切なときを！			
位 置	松本市中央 1 丁目 21 番 15 号	電 話	36-0969
概 要	松本まると博物館構想のもとで、はじめて建設されたテーマ拠点施設。 昭和 49 年に寄贈された本田コレクションを中心に、常時約 110 点の時計をできる限り動いた状態で展示しています。		
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階建	延床面積	1,046.37 m ²
開 館	平成 14 年 9 月 1 日	障害者用設備	エレベーター、身障者用トイレ

(12) 松本市山と自然博物館

北アルプスの 3,000m 峰を抱く松本に織りなす美しい四季 ——自然と人とのかかわりを学び、黎明期に活躍した岳人の足跡を伝えます。			
位 置	松本市大字蟻ヶ崎 2455 番地 1	電 話	38-0012
概 要	山岳資料や昆虫・植物資料の展示の他、自然史系博物館として身近な自然と人との関わりを学習する講座・教室を開催しています。		
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上 2 階 地下 1 階、塔屋 5 階	延床面積	1,243.75 m ²
開 館	平成 19 年 5 月 3 日	障害者用設備	スロープ、エレベーター、車いす、身障者用トイレ

(13) 松本市高橋家住宅

松本城下に残る数少ない武家住宅 ——石置き屋根の風情あるたたずまいが武家の暮らしをしのばせます。			
位 置	松本市開智 2 丁目 9 番 10 号	電 話	33-1818
概 要	現存する武家住宅としては、長野県内でもっとも古い建物のひとつとされ、昭和 44 年に松本市重要文化財に指定されました。平成 16 年に建物が松本市に寄附され、復元修理を行った後、平成 21 年 5 月に博物館施設として生まれ変わりました。		
構 造	木造平屋建て	延床面積	118.56 m ²
開 館	平成 21 年 5 月 2 日		

(14) 松本市四賀化石館

太古との邂逅 ——いにしえの海を泳いだ、世界最古のマッコウクジラに時を越えて出会えます。			
位 置	松本市七嵐 85 番地 1	電 話	64-3900
概 要	昭和 61 年に地元の小学校 5 年生が発見した、シガマッコウクジラの全身骨格化石の展示を中心に、信州の大地のおいたちを語る化石や岩石を多数展示しています。小学校の理科「大地のつくりと変化」の学習に最適であるとして、毎年、市内外から約 2,500 名の 6 年生が来館します。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	759.57 m ²
開 館	平成元年 4 月 20 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

(15) 松本市安曇資料館

上高地、乗鞍、梓川溪谷、大野川・稲核・嶋々・大野田の入四か村 ——「杣の村」から「発電・観光の村」へ、安曇の歩みが凝縮されています。			
位 置	松本市安曇 3480 番地 2	電 話	94-2134
概 要	安曇の地に生きる人びとの暮らしや、それをとりまく自然、歴史に関連した資料を展示している施設です。		
構 造	鉄骨造地上 2 階地下 1 階	延床面積	591.48 m ²
開 館	昭和 56 年 11 月 27 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

7 施設利用案内（令和7年4月1日）

(1) 松本市立博物館（本館） ※ 一般は18歳以上

施設名	観覧料 (単位：円)						観覧時間	休 館 日 (別途臨時休館あり)
	個人			団体 (20 名以上)				
	一般	大学生	高校生以下	一般	大学生	高校生以下		
常設展示	500	250	—	400	200	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
子ども体験ひろば 2 階	—	—	—	—	—	—		
1 階	—	—	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 9 時まで	第 3 火曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで

(2) 分館 ※ 一般は高校生以上

施設名	観覧料（単位：円）				観覧時間	休 館 日 （別途臨時休館あり）	
	個人		団体（20 名以上）				
	一般	小中 学生	一般	小中学 生			
国宝旧開智学校校舎	電子 600 紙 700	300	540	270	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	第 3 火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本民芸館	500	—	450	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
旧山辺学校校舎	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	休日等を除く日 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市立考古博物館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	休日等を除く日 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市はかり資料館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市旧司祭館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	第 3 火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
旧制高等学校記念館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
窪田空穂記念館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	休日等を除く日 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
重要文化財馬場家住宅	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市歴史の里	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市時計博物館	500	200	450	180	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市山と自然博物館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市高橋家住宅	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	休日等を除く日
						12 月から 2 月まで	月曜日から土曜日まで 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市四賀化石館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	3 月から 11 月まで	火曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
						12 月から 2 月まで	休日等を除く日 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市安曇資料館	—	—	—	—	午前 9 時から 午後 5 時まで	5 月 1 日から 11 月 30 日までの休日等を除く日 12 月 1 日から 4 月 30 日まで	

8 施設観覧者数等

施設名	年度	有料 観覧者数 人	無料 観覧者数 人	観覧者総数 人	観覧料収入 円	備 考
松本市立博物館	4年度	0	0	0	0	
	5年度	36,269	32,404	68,673	30,529,500	
	6年度	54,714	26,379	81,093	37,423,600	
国宝旧開智学校校舎	4年度	0	0	0	0	耐震対策工事・防災設備整備工事が終了し令和6年11月9日再開館
	5年度	0	0	0	0	
	6年度	32,444	4,076	36,520	12,179,900	
松本民芸館	4年度	10,266	1,697	11,963	3,092,480	
	5年度	9,147	1,410	10,557	2,769,020	
	6年度	8,437	1,390	9,827	2,563,220	
旧山辺学校校舎	4年度	805	4,816	5,621	156,200	
	5年度	731	3,808	4,539	144,950	
	6年度	564	4,420	4,984	112,300	
松本市立考古博物館	4年度	2,071	3,577	5,648	410,400	
	5年度	2,079	1,944	4,023	411,500	
	6年度	2,377	1,743	4,120	473,000	
松本市はかり資料館	4年度	2,494	2,287	4,781	486,850	
	5年度	4,090	4,632	8,722	790,500	
	6年度	4,953	4,648	9,601	959,150	
旧制高等学校記念館	4年度	2,713	5,411	8,124	799,230	
	5年度	2,746	7,108	9,854	794,720	
	6年度	2,924	6,578	9,502	865,410	
窪田空穂記念館	4年度	246	1,694	1,940	74,060	
	5年度	286	1,668	1,954	81,400	
	6年度	207	1,366	1,573	63,840	
重要文化財馬場家住宅	4年度	1,244	2,754	3,998	368,040	
	5年度	1,064	2,431	3,495	323,790	
	6年度	1,126	2,451	3,577	347,300	
松本市歴史の里	4年度	3,560	5,198	8,758	1,334,900	
	5年度	4,130	4,836	8,966	1,548,900	
	6年度	5,202	4,697	9,899	1,926,120	
松本市時計博物館	4年度	20,054	3,863	23,917	5,831,240	空調設備更新工事のため、令和6年1月10日（水）～2月29日（木）まで臨時休館
	5年度	23,037	3,148	26,185	6,791,700	
	6年度	27,801	4,089	31,890	8,228,280	
松本市山と自然博物館	4年度	1,751	35,287	37,038	542,370	無料観覧者数は展望台及び2階無料展示エリアのみの観覧者数を含む。
	5年度	1,960	36,139	38,099	603,090	
	6年度	2,320	30,864	33,184	703,360	
松本市高橋家住宅	4年度	-	2,596	2,596	-	
	5年度	-	2,204	2,204	-	
	6年度	-	2,372	2,372	-	
松本市四賀化石館	4年度	4,175	4,917	9,092	1,021,510	
	5年度	4,296	4,262	8,558	1,020,490	
	6年度	3,730	4,337	8,067	898,680	
松本市安曇資料館	4年度	-	517	517	-	
	5年度	-	804	804	-	
	6年度	-	957	957	-	

Ⅲ 松本城の保存・整備と活用

1 概 要

文化財保護法に基づき、国宝松本城天守及び史跡松本城を保存管理するとともに、その活用を図り文化の創造に役立てています。

2 沿 革

永正元年（1504）	島立右近が深志城を築くと伝えられる
天文19年（1550）	武田晴信が深志城を占領、鋤立てをする
天正10年（1582）	織田勢に攻められて武田氏敗退、機を見て小笠原貞慶が入城し松本城と改名する
天正18年（1590）	豊臣秀吉の世となり小笠原秀政は古河へ移封、代わって石川数正入封
文禄3年（1593） ～4年（1594）頃	石川数正、康長父子により天守が築造される
寛永11年（1634）頃	松平直政により月見櫓、辰巳附櫓が付設される （築城以来、石川、小笠原、戸田、松平、堀田、水野、戸田と6家 23代にわたり城主が代わる）
明治4年（1871）	廃藩置県により松本県（7月）、筑摩県（11月）となる 松本城の櫓、太鼓門などが取り壊される
明治5年（1872）	天守など払下げとなるが、後に市川量造らにより買い戻される
明治36年（1903）	天守の修理（明治の大修理）が行われる（完了は大正2年）
昭和5年（1930）	本丸と二の丸（一部）が国の史跡に指定される
昭和11年（1936）4月	天守など5棟が国宝（国宝保存法）に指定される
昭和25年（1950）	天守の解体復元工事（昭和の大修理）が国の直轄事業として行われる
昭和27年（1952）3月	天守など5棟が国宝（文化財保護法）に指定される
昭和30年（1955）	解体復元落成祭を行う
昭和35年（1960）	黒門枳形一の門が復興される
昭和45年（1970）	総堀の一部が国の史跡に追加指定される
昭和54年（1979）	二の丸御殿跡の発掘調査と史跡整備に着手（昭和60年完成）
昭和61年（1986）6月	黒門枳形二の門（高麗門）と袖堀復元に着手（平成2年1月完成）
平成8年（1996）3月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事起工式を行う
平成11年（1999）3月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事落成式を行う
平成17年（2005）	解体復元50周年を迎える
平成19年（2007）2月	西総堀土塁跡（土居尻）が国の史跡に追加指定される
平成22年（2010）3月	史跡松本城西総堀土塁跡の整備が完成する
平成25年（2013）3月	南・西外堀の一部が国の史跡に追加指定される （以降、平成29年度まで継続して追加指定）
平成29年（2017）10月	東総堀水切土手が国の史跡に追加指定される

3 事業の内容

(1) 史跡松本城の整備

史跡松本城の整備は昭和51年度に策定した16項目からなる「松本城中央公園整備計画」を基に進め、困難な4項目を残し終了しました。その後、平成11年9月「史跡松本城整備研究会」の調査研究と指導・助言を仰ぎ、18項目に厳選した「松本城およびその周辺整備計画」を策定しました。

平成28年9月、史跡松本城の保存・活用・整備等に関する今後の基本方針、方法を定めた「史跡松本城保存活用計画」を策定しました。この計画で示された方針に基づき、史跡松本城の整備と活用の推進を図るため、「史跡松本城整備基本計画」を令和6年3月に策定したことから、今後はこの計画に基づき順次事業を進めます。

ア 南・西外堀復元事業

(ア) 事業概要

松本城南・西外堀の復元は、幕末期の史実に基づいた南・西外堀の復元を進めるものです。平成29年度に実施した土壌汚染調査の結果、事業用地の一部に自然由来と推定される土壌汚染が確認され、平成30年度に事業方針を堀復元から平面整備へと変更しましたが、「水をたたえた堀」の実現に向けて調査・研究を進めています。なお、令和6年度末での用地取得率は、100%になりました。

(イ) 経過

昭和51年度	「松本城中央公園整備計画」で外堀復元の基本方針を決定
平成11年度	「松本城およびその周辺整備計画」を策定
平成18年度	文化庁の指導により発掘を実施
平成20年度	関係地権者に個別意向調査を実施
平成21年度	史跡範囲を決めるための測量調査を実施
平成22年度	地元説明会を5回開催し、南・西外堀復元計画及び内環状北線（先線）の整備計画の素案を提示
平成23年度	地元の相談窓口として松本城周辺整備課を設置 権利関係者等に対して権利調査及び意向調査を実施 地元説明会で権利調査及び意向調査結果を報告 用地測量を実施 「松本城南・西外堀復元に係る事業計画」を策定
平成24年度	松本城周辺整備課を本部体制にして城下町整備本部を設置 ブロック別説明会の開催 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成25年度	ブロック別説明会を開催し、用地買収単価等について説明 事業用地取得に着手 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成26～ 29年度	事業用地の取得、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定（民有地部分の追加指定が平成29年度に完了）
平成28年度	史跡松本城保存活用計画を策定
平成30年度	事業方針を堀復元から平面整備へと変更し、権利関係者及び地元へ説明
令和2年度	市議会6月定例会において、市長が「水をたたえたお堀」復元のための調査・研究を進める考えを表明
令和3年度	新たに設置されたお城まちなみ創造本部が南・西外堀復元事業を主管

- 令和4年度 文化庁に「水をたたえた堀」を復元整備することを協議し、了承
市議会総務委員協議会へ取組状況を報告
- 令和5年度 史跡松本城整備基本計画を策定
基礎資料を得るための発掘調査を実施し、往時の堀形状を確認
- 令和6年度 堀の範囲及び堀形状を確認するための発掘調査を実施

(ウ) 今後の取組み

幕末期の堀の範囲・形状を把握するための発掘調査は文化財課が、「水をたたえた堀の復元」に向けた調査研究及び史跡整備のための国・県との協議・調整は松本城整備課が、それぞれ担当して事業を進めます。なお、事業推進にあたっては、計画段階から市民への丁寧な説明を行い、市民の声に耳を傾けながら、事業への理解と協力が得られるよう、慎重な対応により進めていきます。

イ 国宝松本城天守耐震対策事業

(ア) 事業概要

国宝松本城天守の地震時の安全性を確保するため、国の「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に基づき、平成26～28年度の3か年で実施した松本城天守（5棟）の耐震診断結果を基に耐震構造補強内容を検討のうえ、耐震対策工事基本計画を策定し、耐震補強工事を実施するものです。

(イ) 経過

- 平成26～28年度 国宝松本城天守耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明
- 平成29年度 国宝松本城天守耐震対策基本計画策定に着手、当面の安全対策として天守内への入場制限や警備員配置と避難誘導計画の策定に着手
- 令和元年度 耐震に係る石垣の取扱いについては、国の指針を待たず、松本市独自の調査方法による検討に着手
- 令和2～3年度 天守の耐震補強内容検討に必要な基礎データを取得するための天守台内部地盤及び石垣等の調査実施および調査結果の集約・解析
- 令和4年度 石垣の耐震対策補強案を検討
- 令和5年度 耐震工法について、有識者会議、および文化庁との協議を実施
- 令和6年度 耐震補強（案）検討のため、天守台等発掘調査を実施

(ウ) 今後の取組み

これまでの取組成果を基に、天守と石垣の一体的な耐震補強案の作成を進め、国宝松本城天守耐震対策専門委員会及び史跡松本城整備委員会で検討を行い、耐震対策基本設計に着手します。

ウ 国宝松本城天守防災対策事業

(ア) 事業概要

フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県の首里城の火災を受け、松本城天守耐震対策工事への影響を考慮しながら、既存防災設備の見直し・更新、新たな防災設備の設置を計画的に行い、防災に対する取組みを強化するものです。

(イ) 経過

- 令和2年度 防災設備の更新・新設に係る実施設計を実施
- 令和3年度 自動火災報知設備やスプリンクラー等自動消火設備、屋内外消火設備等の更新・新設と、設備設置に伴う発掘調査の実施
- 令和4年度 スプリンクラーに接続するポンプ室や貯水槽などの送水設備新設や、電気配管、配水管の敷設、受電設備の改修を実施

令和５年度 昭和３０年頃に設置した既設ポンプ室と既設配管の改修を実施
令和６年度 既存防火水槽内部の防水改修工事等を実施し、工事報告書を刊行

(ウ) 今後の取組み

建物の解体を伴わない防災設備の更新・新設事業を実施しました。天守の躯体にかかわるものや、解体を伴う関連工事は、天守耐震対策工事にあわせ実施します。

エ 黒門・太鼓門耐震対策事業

(ア) 事業概要

地震時の来場者の安全確保を目的に、平成３０年度に実施した耐震診断結果を基に、文化庁や有識者と相談・協議を行いながら、黒門・太鼓門の建造物利用に影響が生じないような補強内容を検討したうえで、耐震対策を行うものです。

なお、耐震補強工事は大地震動時の被害が大きい太鼓門から先行して実施し、黒門は、天守耐震対策工事の実施時期と調整しながら、太鼓門耐震補強工事完了後、来場者等に不都合が生じないよう事業を進めます。

(イ) 経過

平成３０年度 松本城黒門・太鼓門の耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明

令和２年度 黒門・太鼓門耐震対策基本計画を策定

令和３年度 太鼓門の実施設計実施

令和４年度 太鼓門の一の門、二の門の耐震補強工事を実施

令和５

～６年度 太鼓門の袖壁の耐震補強、漆喰補修工事を実施

(ウ) 今後の取組み

太鼓門耐震対策工事は、令和７年度に袖壁の漆喰補修工事を実施し、事業終了となります。黒門耐震対策工事は、門台の石垣修理を含めた対策を検討します。

オ 堀浄化対策事業

(ア) 事業概要

松本城の堀（内堀、外堀、総堀）の堆積物除去（浚渫）や水質の浄化により、歴史的な景観及び快適な公園環境の維持向上を図るものです。

(イ) 経過

平成２５年度 松本城天守南西側の内堀の浚渫工事

平成３０～ 堀の堆積物・水量・水質等の基礎データを取得するための松本城堀総合
令和２年度 調査を実施

令和２年度 松本城の堀に適した浚渫工法確認のための実証実験（３工法・約９００
㎡）を実施

令和３年度 令和２年度に実施した実証実験の結果等をもとに、松本城の堀に適した
堆積物除去（浚渫）の工法を選定

令和４年度 全面的な堀浚渫のための実施設計を実施

令和５年度 内堀東部の３，４８０㎡を浚渫

令和６年度 内堀南西部（８，２６５㎡）の浚渫に着手

(ウ) 今後の取組み

令和１１年度の堀浚渫事業の完了を目指します。令和６年度及び７年度は、内堀南西部を一体的な工区とし、深度（上層と下層）で分けて実施しています。

(2) 松本城歴史資料保存事業・学びと研究事業

松本城を後世に残し伝えるために必要な資料を収集したうえで、調査・研究及び保存を進めます。また、それらの成果を活用しながら、松本城を身近に感じてもらうために「松本城の歴史・夏休み子ども勉強会」「松本城講座 城と鉄砲」「学校・企業への出前講座」などの学びの機会を提供します。

(3) 国宝松本城の公開と活用

松本城天守等の公開と通常管理及び松本城公園の管理、各種行事の開催は、松本城管理課が担当しています。

ア 松本城天守の公開

松本市を代表する文化財・文化観光施設として、市民及び観光客に松本城天守及び本丸庭園を公開しています。来場者の利便性向上、繁忙期の待ち時間の解消・短縮を図るため、令和6年7月から入場電子チケットの販売を開始し、令和7年4月からの松本城観覧料改定にあわせて関連施設（旧開智学校、市立博物館、美術館）との共通券の販売を開始しました。また、松本城整備課が行う各種整備事業に協力し、来場者の安全管理に努めています。

イ 各種行事開催

観光誘客と市民のお城への愛着の醸成や文化財の活用として、国宝松本城夜桜会、国宝松本城薪能、国宝松本城古式砲術演武等の各種行事を開催しています。「松本城を世界遺産に推進実行委員会」が令和3年度に「松本城の日」を11月10日と決定したことにより、11月3日から11月10日までの期間を「国宝松本城Week」として、様々な関連イベントを実施しています。

ウ 国宝松本城おもてなし隊事業

松本城における甲冑・和服等による、写真撮影サービス等来場者への「記憶に残る松本城体験」の提供、周辺案内等による松本城を基点とした回遊性創出のきっかけ作りを行うための「国宝松本城おもてなし隊事業」に取り組んでいます。

エ 松本城観光ガイド環境整備支援について

松本城の観光案内ボランティア2団体（松本城案内グループ、アルプス善意通訳協会）について円滑な活動をサポートするため、観光ガイド案内所の設置、従事者のユニフォーム整備、研修等環境整備支援を行っています。

オ ホームページやSNSを活用した情報発信について

松本城公式ホームページやInstagram等のSNSを活用して国内外への情報発信を進めています。令和4年度末からは、本丸庭園内と黒門にライブカメラ2台を設置し、お城の魅力や現在の混雑状況をYouTubeでリアルタイムに発信しています。

4 指 定

区分	指定年月日	名 称 及 び 規 模	摘 要			所有者
国 宝	(国宝保存法) 昭和 11. 4. 20	天 守 5重6階本瓦葺木造	高 さ	床 面 積	延床面積	国
		乾小天守 3重4階本瓦葺木造	29.4m	267.1 m ²	1,050.5 m ²	
		渡 櫓 2重2階（一部地階）	16.8m	74.7 m ²	199.2 m ²	
	(文化財保護法) 昭和 27. 3. 29	本瓦葺木造	12.0m	39.6 m ²	79.2 m ²	
		辰巳附櫓 2重2階本瓦葺木造	14.7m	28.9 m ²	57.8 m ²	
		月 見 櫓 1重1階（一部地階）	11.1m	35.5 m ²	71.1 m ²	
本瓦葺木造		(合計)	(合計)			
		445.8 m ²	1,457.8 m ²			
史 跡	(史跡名勝天然 記念物保存法) 昭和 5.11.19	本 丸 跡 地 園地	面 積			国
	(文化財保護法) 昭和 25. 8. 29	二の丸跡地 園地（含松本城公園）	18,307.00 m ²			長野県他 松本市他 松本市他 松本市 松本市他
		堀 跡 地 内堀、外堀	30,038.18 m ²			
	追 加 昭和 45. 1. 17	堀 跡 地 総 堀	26,923.58 m ²			
		西総堀土塁跡地	8,307.56 m ²			
	平成 19. 2. 6 平成 25. 3. 27 平成 26. 3. 18 平成 27. 3. 10 平成 28. 3. 1 平成 29.10.13	堀 跡 地 南・西外堀	679.48 m ²			
			9,419.80 m ²			
			計			
			93,675.60 m ²			
位置		松本市丸の内4番1号他				

5 観 覧 料

文化財保護法に基づき、管理保護に万全を期するとともに、国宝松本城及び史跡松本城本丸庭園を有料公開しています。

（令和7年4月1日改定）

観覧料（円）	区 分	一 般	小・中学生	備 考
個 人	電子チケット	1,200	400	・ 団体扱いは20人以上 ・ 未就学児は無料 ・ 電子チケットは日時指定券 （購入後の変更及びキャンセル はできません）
	紙券（当日券）	1,300	400	
団 体	電子チケット	1,080	360	
	紙券（当日券）			
松本市民	70歳以上の松本市民は無料で入場できます。 69歳以下の松本市民は本丸庭園内は無料、天守入場には観覧料が必要です。			

※公開期間：年中無休（12月29日から31日を除く）

※開場時間：午前8時30分から午後5時まで（春季及び夏季時間延長あり）

6 観覧状況等

(1) 年次別・各種別観覧状況

年 度	総 数		料 金(円)			
	料 金(円)	観覧者(人)	個 人		団 体	
			一 般	小・中学生	一 般	小・中学生
R2	137,755,440	266,625	121,496,020	4,905,060	8,387,304	2,967,056
3	215,049,959	343,872	189,112,000	9,089,400	10,481,959	6,366,600
4	402,716,060	626,951	350,248,500	16,636,200	31,599,050	4,232,310
5	511,226,480	787,685	427,588,700	18,356,700	62,048,910	3,232,170
6	565,116,440	864,828	470,594,900	18,659,500	73,076,150	2,785,890

年 度	入 場 者 数 内 訳(人)			
	個 人		団 体	
	一 般	小・中学生	一 般	小・中学生
R2	218,443	21,047	11,631	15,504
3	270,160	30,298	18,507	24,907
4	500,355	55,454	54,500	16,642
5	610,841	61,189	103,044	12,611
6	671,023	62,031	120,912	10,862

(2) 駐車場利用状況

年 度	普通車・大型車・二輪車	
	件数(台)	料金(円)
R2	83,125	29,518,480
3	100,128	33,850,580
4	145,004	49,742,920
5	154,434	54,759,520
6	144,969	53,110,000

資料編



I 教育委員会関係委員会名簿

II ホームページ・SNS

III 定期刊行物

I 教育委員会関係委員名簿

1 松本市教育委員会事務点検評価委員会

根拠法令等 松本市教育委員会事務点検評価委員会設置要綱

活動内容 松本市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	荒 井 英 治 郎	松本市教育顧問 信州大学教職支援センター准教授
学校教育関係者	三 輪 千 子	前波田小学校長
社会教育関係者	白 木 好 雄	前松本市町内公民館長会長 前松本市社会教育委員会議長

(任期2年：令和8年3月31日まで)

2 社会教育委員

根拠法令等 松本市社会教育委員条例

活動内容 社会教育に関する研究、調査、審議を行い、教育委員会への助言及び意見を述べる。

議長◎ 副議長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育関係者	馬 場 英 晃	松本市校長会（大野川小・中学校長）
	鳥 谷 越 浩 子	中信地区高等学校校長会（松本蟻ヶ崎高等学校長）
社会教育関係者	○ 百 瀬 一 美	前安曇公民館長
	栗 田 せ っ こ	博物館市民学芸員
	中 村 良 子	松本市女性団体連絡協議会
家庭教育関係者	百 瀬 清 子	松本市子ども会育成連合会
	中 村 勇 一	松本市PTA連合会
学識経験者	新 井 喜 代 加	松本大学大学院健康科学研究科准教授
公募による市民	◎ 後 藤 將 史	公募
	塩 崎 正	公募
	松 山 紘 子	公募

(任期2年：令和8年3月31日まで)

3 松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会

根拠法令等 松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会設置要綱

活 動 内 容 将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保に向け、学校部活動から地域クラブ活動への移行を検討する。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
有識者	◎ 新井 喜代加	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授
学校関係者	中 川 満 英	松本市校長会（梓川中学校長）
	丸 山 剛 生	松本市校長会（信明中学校長）
	大久保 秀樹	松本市PTA連合会
	池 田 紫 乃	
スポーツ・文化関係者	○ 横 内 俊 哉	松本市スポーツ協会事務局長
	柄 沢 深	株式会社松本山雅
	青 山 織 人	松本市芸術文化振興財団理事長
教育委員会が必要と認める者	小 嶋 和 好	鎌田地区公民館長

（任期：地域クラブ活動への移行が完了するまで）

4 松本市教育文化センター運営委員会

根拠法令等 松本市教育文化センター条例、松本市教育文化センター運営委員会規則

活 動 内 容 教育文化センターの運営を円滑に行う。

委員長◎

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育関係者の代表	重 盛 究	教育文化センター専門委員会代表
	玉 水 智 香 子	松本市教育会長
	小 松 幹	松本市校長会（島内小学校）
社会教育関係者の代表	手 島 学	里山辺公民館長
	畠 山 真 佐 子	児童文学者
	安 江 百 加	ラボメンバーズ、高校生
学識経験者	◎ 澤 柿 教 淳	松本大学教育学部学校教育学科教授
	佐 藤 和 紀	信州大学教育学部准教授
	三 和 秀 平	信州大学教育学部准教授

（任期2年：令和7年9月30日まで）

5 松本市教育支援委員会

根拠法令等 松本市教育支援委員会設置条例

活 動 内 容 個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒について専門的な調査、審議を行い、就学に関する相談、判断をはじめ、早期からの教育相談を含めた一貫した支援を行う。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	◎ 洞 沢 佳 久	元寿台養護学校長
	○ 永 田 寛 尚	松本養護学校長
	小 林 宏 樹	松本盲学校長
	山 本 純 子	並柳小学校長
	中 山 由加里	山辺小学校長
医師	石 田 修 一	城西病院（小児科医）
	佐 藤 圭 司	佐藤耳鼻咽喉科医院（耳鼻科医）
	宮 城 真 志	まつもと内科・心療内科クリニック（精神科医）
教育職員	倉 澤 輝 巳	寿台養護学校教諭
	古 瀬 英 之	松本盲学校教諭
	西 川 澄	波田小学校教諭
	末 益 奈 緒 美	鉢盛中学校教諭
児童福祉施設職員	大 蔭 涼 司	相談支援センター ライフアシスト
	松 本 久 憲	松本市保育課
	山 崎 ひ と み	松本市子ども発達支援課長

（任期2年：令和8年5月31日まで）

6 松本市立特別支援学校設立準備委員会

根拠法令等 松本市立特別支援学校設立準備委員会設置要綱

活 動 内 容 市立特別支援学校の設置に向け、機能や小中学校との連携等について検討する。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
教育関係者	◎ 庄 司 和 史	信州大学 特任教授
	○ 樋 口 一 宗	松本大学教育学部 教授
	中 原 直 樹	長野県寿台養護学校長
	永 田 寛 尚	長野県松本養護学校長
	田 原 和 幸	松本市校長会特別支援教育研究会（源池小学校長）
	重 盛 究	松本市校長会特別支援教育研究会（会田中学校長）
	渡 邊 和 幸	長野県教育委員会特別支援教育課
医療関係者	本 田 秀 夫	信州大学医学部 教授
福祉関係者	宮 内 か つ ら	長野県発達障がい情報・支援センター副センター長
	山 崎 ひ と み	松本市インクルーシブセンター長
	横 内 宏 行	松本市こども発達支援課 教育相談員
保護者	柳 澤 智 子	寿台養護学校PTA
	黒 柳 加 代 子	松本養護学校PTA

（任期：市立特別支援学校設立の日まで）

7 松本市学校給食センター運営委員会

根拠法令等 松本市学校給食センター条例、松本市学校給食センター運営委員会規則

活動内容 学校給食に関する重要な事項を審議する。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校長	濱 中 浩	高綱中学校長
	安 藤 隆 子	今井小学校長
	染 川 あ ゆ み	岡田小学校長
P T A関係者	市 川 一 彦	松本市P T A連合会会長
	尾 崎 里 子	本郷小学校P T A会長
	鬼 頭 奈 菜 子	梓川小学校つながり委員会委員長
	瀧 澤 輝 佳	会田中学校P T A会長
	山 口 み ず ほ	信明中学校P T A会長
	藤 村 哲	波田中学校P T A会長
松本市保健所	小 松 仁	松本市保健所長
学校医	小 林 克 彦	松本市医師会理事
	百 瀬 誠 多	松本市歯科医師会理事
学校薬剤師	高 田 弘 子	松本薬剤師会理事
有識者	中 嶋 恒 子	前県学校栄養教諭

(任期2年：令和9年5月末まで)

8 松本市学校給食食品等選定委員会

根拠法令等 松本市学校給食食品等選定委員会設置要綱

活動内容 市立小中学校における、安全で良質な学校給食食品を確保し、円滑な運営を図る。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校長	五 明 佳 代	筑摩小学校長
	○ 濱 中 浩	高綱中学校長
P T A関係	池 田 紫 乃	松本市P T A連合会副会長
松本市保健所関係者	松 尾 奈 美	松本市保健所健康予防課管理栄養士
学校給食課長	◎ 布 山 明 彦	学校給食課長
教育委員会が必要と認めるもの	成 瀬 祐 子	松本大学人間健康学部健康栄養学科准教授
	寺 田 紀 子	芳川小学校 栄養教諭
	東 方 映 里 奈	岡田小学校 栄養教諭
	荻 上 裕 子	波田小学校 栄養教諭
	百 瀬 速 宏	西部学校給食センター係長（調理員）
	白 澤 政 彦	東部学校給食センター係長（調理員）

(任期1年：令和8年6月18日まで)

9 松本市公民館運営審議会

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則

活 動 内 容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。

(令和7年8月現在で委員長、副委員長は未定)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	安 藤 隆 子	今井小学校長
	馬 場 英 晃	大野川小・中学校長
社会教育	吉 川 篤 明	長野県専修学校各種学校連合会松本支部長
	山 岡 京 子	愛らんど島内会長、島内公民館文化委員
	原 薫	株式会社柳沢林業代表取締役
	中 田 安 子	元第三地区公民館長
	興 千 津 子	松本市町内公民館館長会事務局長
	中 島 麻 衣	松本大学地域づくり考房「ゆめ」
	宮 木 慧 美	一般社団法人K O K O代表理事
	米 田 美 優	信州大学生、公民館報全市版編集委員
	山 口 茂	公民館報全市版編集委員長
	渡 辺 直 子	特定非営利活動法人S O H O未来塾
家庭教育	矢 野 麻 美	松本市P T A連合会顧問
	高 山 未 央	ママフェスまつもと
有識者	大 蔵 真由美	松本大学教育学部准教授
	前 田 豊	信州大学人文学部准教授
公募者	松 山 紘 子	公募

(任期2年：令和9年7月31日まで)

10 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会

根拠法令等 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会設置要綱

活 動 内 容 教育委員会の求めに応じ、文化会館の管理運営に関すること、重要文化財旧松本高等学校の保存活用に関すること及び保存活用計画の進行管理に関することに意見を述べる。

委員長◎ 委員長職務代理○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
同窓会役員	可 知 偉 行	信州大学文理学部同窓会 会長
利用団体の 代表者	丸 山 修 二	松本交響楽団 理事長
	小 幡 周 子	創作人形教室 代表
	杉 山 貴	男声合唱団クール・ビア 代表
有識者	○ 梅干野 成央	松本市文化財審議委員会 委員（建築史）
	◎ 渡 邊 泰	元塩尻市文化財課 課長（文化財建造物の保存・活用）

(任期2年：令和8年3月31日まで)

1 1 松本市図書館協議会

根拠法令等 松本市図書館条例、松本市図書館協議会規則

活動内容 図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる。

会長◎ 会長職務代理○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委員	濱 中 浩	松本市校長会（高綱中学校長）
	中 村 良 子	松本市社会教育委員
	馬 場 安紀子	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
	越 高 令 子	学都松本子ども読書活動推進委員会
	○ 鈴 木 美 奈	朗読ふれあいの会
	◎ 伊 東 直 登	元塩尻市立図書館長、長野県図書館協会会長
	住 吉 冬 子	松本視覚障害者福祉協会
	梅 谷 真 美	公募

（任期2年：令和7年8月22日まで）

1 2 学都松本子ども読書活動推進委員会

根拠法令等 学都松本子ども読書活動推進委員会設置要綱

活動内容 学都松本子ども読書活動推進事業の効果的な実施及び継続的な推進を行う。

（令和7年8月現在で会長、副会長は未定）

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	木 船 暁 美	田川小学校長
	川 船 美 保	波田小学校司書
社会教育	栗 田 せつこ	松本市社会教育委員
	荻 原 しほみ	田川公民館長
子ども読書活動を 推進する者	馬 場 安紀子	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
	田 口 由 佳	あがた保育園長
有識者	豊 嶋 さおり	おはなしの会 すがのつくる代表
	越 高 令 子	ちいさいおうち書店
公募	玉 井 敏 敬	公募

（任期2年：令和9年8月31日まで）

Ⅱ ホームページ・SNS

1 ホームページ

教育に関して独自のホームページを開設しているものを紹介します。

(1) 松本市教育委員会

ア 「松本市教育委員会」 <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/kyoiku/>

イ 開設年月 令和4年6月

ウ 主な内容

令和4年6月、松本市ホームページの更新に伴い、松本市教育委員会のサイトを新設しました。

松本市の教育行政全般に関する情報発信を行っています。また、松本市の教育行政の動向や話題を「教育長通信」として、定期的に発信しています。



(2) 中央図書館

ア 「松本市図書館」 <https://www.lib.city.matsumoto.lg.jp/>

イ 開設年月 平成24年12月（平成30年4月リニューアル）

ウ 主な内容

図書館イベントの情報発信や利用案内の周知のほか、蔵書検索等を行うものです。パスワード登録することで資料の予約、利用状況の確認、My本棚などの機能を利用することができます。また、美術館、博物館、国立国会図書館などの松本市の地域資料横断検索「まつサーチ」にリンクしています。



2 SNS

教育に関して情報発信しているSNSについて紹介します。

(1) Facebook

概 要	担当課
松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～ 図書館利用情報、各種イベント情報 図書館所蔵の資料に関する情報 その他図書館に関する周知事項 等	中央図書館

(2) X (旧 Twitter)

概 要	担当課
松本市教育文化センター 教育文化センター各種事業の紹介 教育文化センターの施設・周辺環境・関連団体の紹介	松本市教育文化センター
中央図書館 図書館利用情報、各種イベント情報 図書館所蔵の資料に関する情報 その他図書館に関する周知事項 等	中央図書館

(3) YouTube

概 要	担当課
松本市教育委員会公式チャンネル 松本市教育委員会各課の教育動画や施設の紹介動画 ・発掘された松本	教育政策課
松本市公民館チャンネル 松本市内各公民館の活動紹介動画	生涯学習課・中央公民館

(4) LINE 公式アカウント

概 要	担当課
松本市図書館 LINE 公式アカウント (機能) 本の検索、開館カレンダー確認、デジとしょ 信州へのアクセス、イベント情報の発信	中央図書館

Ⅲ 定期刊行物

教育に関する定期刊行物を紹介します。

1 教育政策課

「松本市教育研修センターだより」

松本市教育研修センターだより

No.38 令和7年5月30日

教職員の学びをつなぎ、学校力UP!!

松本市主催の教職員研修は、今年で3年目を迎えました。研修センターでは、「**点を線に、線を面にする**」という思いから、共通の言語で語り合える仲間づくりを大切にしています。昨年度は、ICT研修を各学校の研究主任、ICT担当の先生方に受講いただきました。今年度は、校長マネジメント研修、教頭マネジメント研修、教務主任研修を同日に設定し、信州大学の佐藤先生にご講演いただきました。松本市のDX推進を、学校の核となる先生方が共に学ぶことで、チームとしての学校力向上を期待し、研修を企画しています。

また、昨年度に引き続き実施する継続研修では、より深い理解と知識を習得し、日々の授業づくりや校内研修に活かせるよう工夫しています。「探究的な学びを支える教師とは？」と、長野短期大学長の村上先生からは多くの実践例を通して探究的な学びの本質をご提示いただきました。さらに、研究主任研修では、小金井市立南小学校教諭の村上聡恵先生をお招きし、校内研修のワークショップを実施しました。他にも、松本の歴史を学ぶ松本城研修や、国語や算数の授業づくりセミナーなど、多くの研修が行われました。

対話と協働で創る職場と授業

研究主任研修（5月2日実施）

今年度も、村上聡恵先生を講師にお招きしました。本研修では、「研究」を単なる「ものごと」ではなく、職員が前向きに楽しく取り組める「職場づくり」としての研究のあり方がテーマとなりました。特に、職員間の対話を促進し、新たな気づきやアイデアを生み出す有効な手段として紹介された「ラウンドスタディ」の手法は、参加された先生方も楽しみながら体験していました。村上先生は、「研究の意味とは？」という問いに対し、「新しいこと、まだやったことのないこと、その人たちができない何かを、みんなで創れる楽しさ、面白さがある」と語られました。研究主任の先生方はこれまでの取組みやこの研修での経験から、村上先生の言葉の実感を得ていたようでした。

【参加者の声】

- ・研究というと、どちらかといえば難しければならないと感じていますが、いいことももちろん、ちょっといいづらいようなことにも重きを、みんなが話しやすい環境になるよう、先生方が負担と感じないような研究になるよう考えていきたいです。
- ・研究主任の仕事というのは、先生方の「こうやってみたい」「やってみたいこうだった」「次こうしてみよう」を引き出すことなんだと、今日感じることができました。そう思ったら、一気にこの立場は面白いと思えるし、肩の荷が下る気がしました。

(1) 発行回数

月1回

(2) ページ数

2ページ

(3) 主な内容

教育研修センター主催の研修に関する情報や研修レポート、研修参加者の声などを掲載しています。

各学校及び市内外の教育機関に配信するとともに、市公式ホームページにも掲載しています。

(4) 創刊年月 令和4年5月

(5) 通算40号（令和7年7月現在）

「学びの風便り～リーディングスクール通信」

学びの風便り

リーディングスクール通信43 R7.5.30

発行：松本市教育委員会 教育研修センター

学びの改革のあゆみ 旭町小学校・岡田小学校

旭町小学校 「ゆる研」と小中連携で育むWell-beingな学び

今年度からリーディングスクールとなった旭町小学校、旭町小学校では、先生方の「やりたい研究」「ゆる研」に加え、この5月には旭町中学校との連携を深める新たな一歩を踏み出しました。

みんなでつながり、楽しみながら、ゆるく深く掘っていく

旭町小学校では、先生方が「やりたい」という思いを持ち寄り、グループで研究を進める過程「ゆる研」が行われています。今年度も4月の「ゆる研」では、ユニークな自己紹介や、模造紙・付箋を使った熱心なトークで大いに盛り上がり、先生方のやる気が満ち溢れていました。この「ゆる研」は、学校の研究テーマである「問い・問いの課題を大切に、対話とトライ＆エラーを重ねながら、学びたくらしをデザインする子どもと教師」を、先生自身が実践する場でもあります。目指すは、子どもと教師双方のWell-being（ウェルビーイング）な学びとくらしの実現です。

新たな挑戦！小中学校合同ワークショップ

5月9日には旭町中学校との合同研修が開催されました。これはリーディングスクール事業の一環として、小中学校の教員が顔見知りになり、9年間を見通した子どもたちの育ちを共に考えるための大切なキックオフ企画です。

この研修の目標は、「小中の先生方が気軽に話せる雰囲気を作り、両校のハードルを下げる」として、また、リーディングスクール事業を「やらされる」のではなく「チャンス」に捉え、挑戦に前向きな教師たちをもってもらうことや、先生方一人ひとりが自身の教育実践における小さな一歩（プチチャレンジ）を見つけることも大切な目標となりました。

当日は、まず両校の研究主任から、事業や小中連携の目的（分断されている学びをつなぎ、9年間の育ちをまえる等）が説明されました。その後、アイスブレイクを経て、4人程度のグループで、自身の小中学校時代の「楽しかった思い出」を語り合いました。さらに、共有された体験を踏まえ、「どんな子どもが育ったら幸せか？」という理想の姿を考え、最後にその理想に近づいたための「自分でききそうな小さな一歩（プチチャレンジ）」を考え、書き出し語り合いました。

「ゆる研」と「小中連携」がつながる未来

旭町小学校の「ゆる研」で育まれる先生方の主体性と探究心、そして、中学校との合同研修で芽生えた新たなつながりと共感。これらの取り組みは、先生方一人一人のWell-beingを高めるだけでなく、学校間・校種間の垣根を越え、子どもたちの9年間の学びと育ちを豊かにデザインしていく大きな力となることでしょう。「対話」と「トライ＆エラー」を大切に、旭町地区の先生方の挑戦が盛りまりました。

(1) 発行回数

月2回程度

(2) ページ数

2ページ

(3) 主な内容

新たな学びに挑戦している松本市の小中学校（リーディングスクール・パイオニアスクール）の取組を掲載しています。

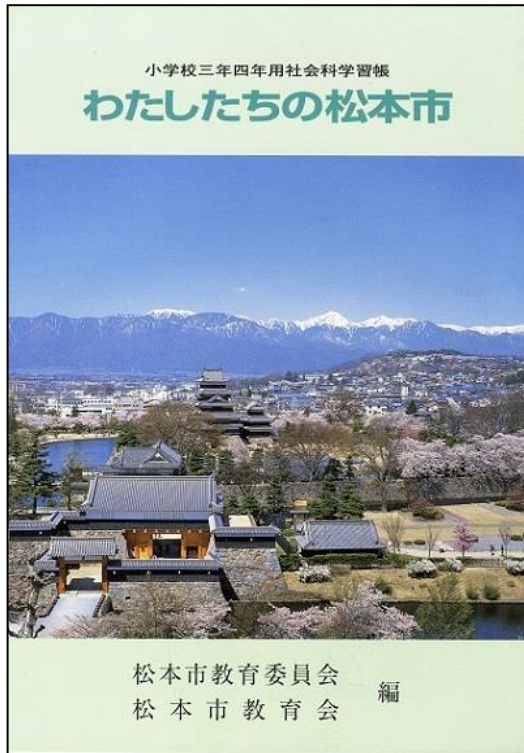
各学校及び市内外の教育機関に配信するとともに、市公式ホームページにも掲載しています。

(4) 創刊年月 令和5年5月

(5) 通算46号（令和7年7月現在）

2 学校教育課

「わたしたちの松本市」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 138ページ (B5版)
- (3) 編集 松本市教育会 社会科資料委員会
- (4) 主な内容
小学校3・4年生が松本のまちについて学ぶ副読本です。(主に社会科の授業で使用)
児童が松本のまちについて自分で調べる手助けとなるよう、写真や地図、グラフなどを使って、松本市での暮らしや郷土に伝わる願いなどをわかりやすく掲載しています。
この副読本は、昭和35年に源池小学校で3年生の副読本として発刊されました。その後、副読本の普及にともない、松本市教育会が編集し教育委員会が発行し、市内3・4年生全員に無償配布されています
- (5) 創刊年月 昭和35年
- (6) 通算65号(令和7年5月現在)

3 生涯学習課・中央公民館

「公民館報まつもと」



- (1) 発行回数
年6回、奇数月末
- (2) ページ数
全6ページ
全市版4ページ、地区版(35地区)2ページ
- (3) 編集等
35地区の350名を超える公民館報編集委員が、市民の目線で、市民の考えや意見をより多く取り入れて、編集しています。市内全戸配布
- (4) 主な内容
公民館や地域の問題を中心に、市民の自由な発想と構想で、公民館が発行する情報紙です。
- (5) 創刊年月
昭和35年3月(全市版)

「学びの森いんふおめーしょん」



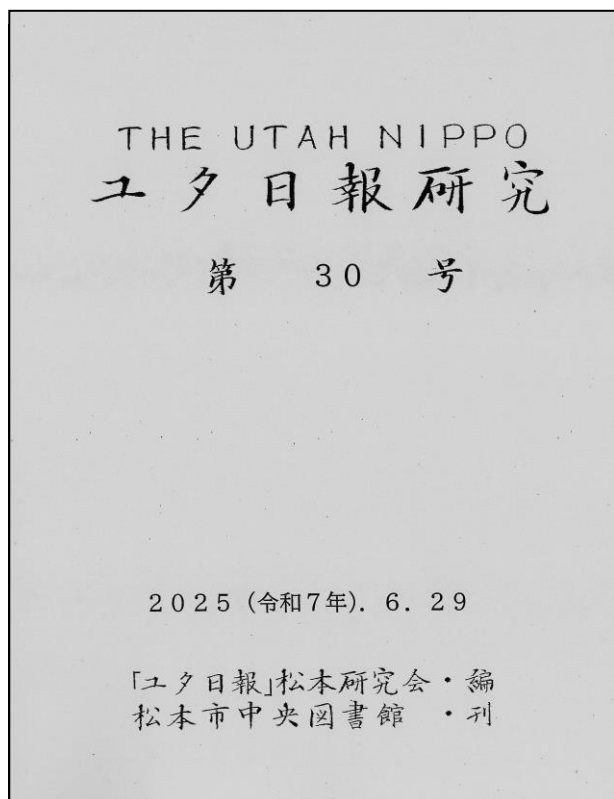
- (1) 発行回数
年3回(5月、9月、1月)
- (2) ページ数
6ページ
- (3) 編集等
生涯学習支援登録制度の登録団体及び行政等から生涯学習に関する情報を募集し、掲載しています。隣組回覧
- (4) 主な内容
生涯学習関連のイベント情報、会員募集情報、新規登録団体・新規登録指導者情報
- (5) 創刊年月
平成7年8月
- (6) 通算111号(令和7年5月現在)

4 中央図書館
「松本市図書館だより」



- (1) 発行回数 毎月
- (2) ページ数 2ページ
- (3) 主な内容
・休館日カレンダー
・特集
・イベント情報
・新刊紹介 など
- (4) 創刊年月 平成25年4月
- (5) 通算145号(令和7年7月号)

「ユタ日報研究」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 約300ページ
- (3) 編集：ユタ日報松本研究会
発行：中央図書館
- (4) 由来など

「ユタ日報」とは、信州からアメリカに移民した寺沢夫妻によって発刊された邦字新聞。

1914（大正3）年から77年間、通算11,876号という歴史を有します。1992年松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会の尽力で、寺沢家遺族より、「ユタ日報」全号と最終号の版組みなどの資料が松本市に寄贈され、中央図書館で保存・活用することになりました。

「ユタ日報研究」は、市民レベルで国際交流について研究するため、「ユタ日報」松本研究会が寄稿などにより編集しているものです。

- (5) 創刊年月 平成6年6月
- (6) 通算30号（令和7年8月現在）

5 年報など

- (1) 生涯学習課・中央公民館
「松本市の公民館」（年1回発行）
各公民館の利用状況、事業報告などを掲載
- (2) 中央図書館
「図書館概要」（年1回発行）
図書館の利用実績、貸出状況、事業報告などを掲載

松本市教育要覧

(令和7年度)

令和7年8月発行

編集 松本市教育委員会

発行 松本市教育委員会

松本市大手3丁目8番13号
